

2.2 環境の概要

2.2.1 公害の防止に係るもの

(1) 大気汚染

① 大気質の現況

発電所計画地点及びその近傍における大気質の現況は、当社が調査した結果によれば、次のとおりである。

イ. 調査期間

平成7年4月1日～平成8年3月31日

ロ. 調査場所

発電所計画地点及びその近傍（四代）の2調査点で行った（第2.2.1.1-1図）。

ハ. 調査方法

二酸化硫黄は溶液導電率法、窒素酸化物はザルツマン試薬を用いる吸光光度法、浮遊粒子状物質はベータ線吸収法によって行った。

ニ. 調査結果

調査結果の概要は、次のとおりである（第2.2.1.1-1～3表）。

(イ) 二酸化硫黄

発電所計画地点、四代における二酸化硫黄の日平均値の2%除外値はそれぞれ0.009ppm、0.010ppmで、1時間値の最高値はそれぞれ0.028ppm、0.023ppmであり、2調査点とも環境基準に適合している。

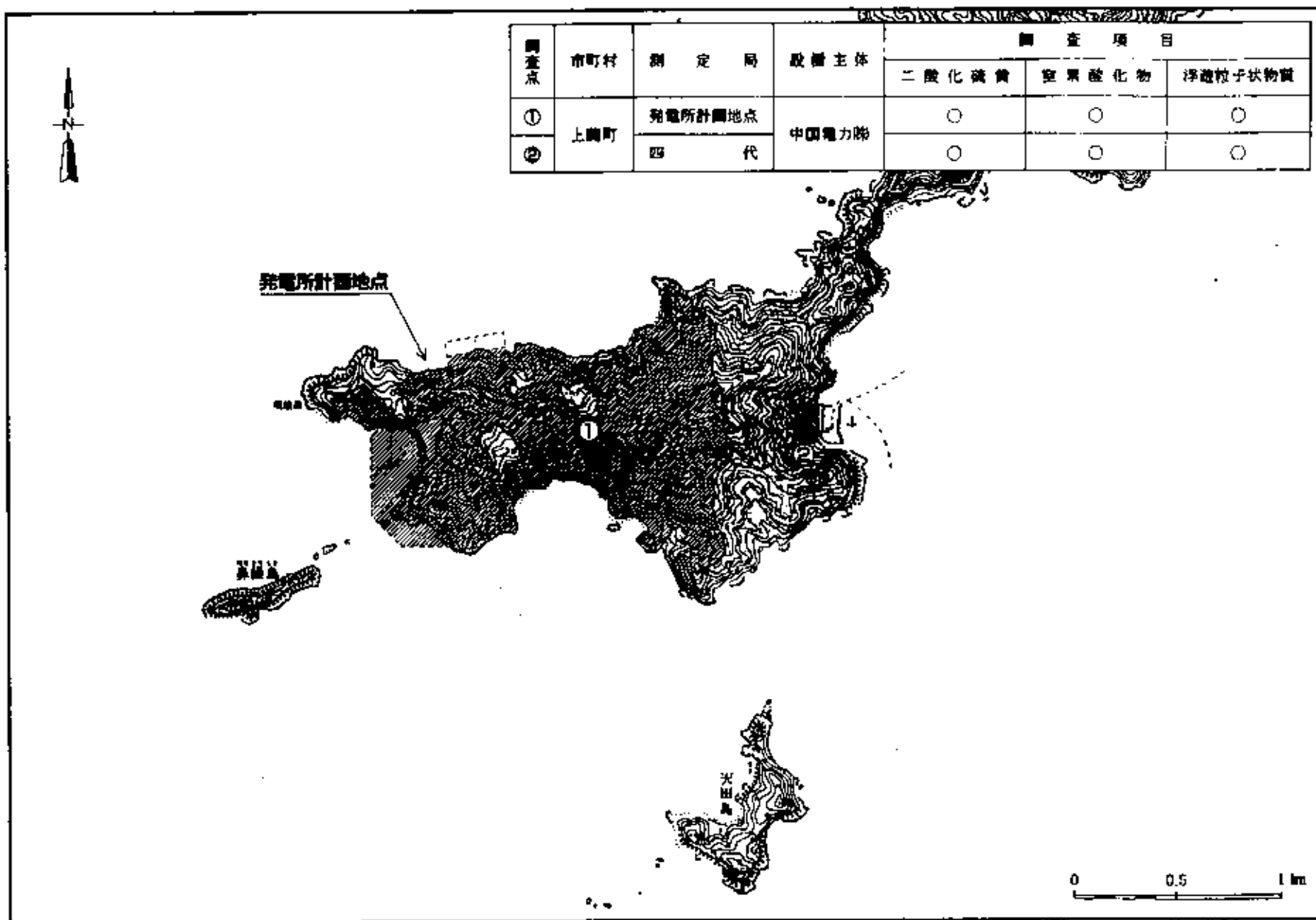
(ロ) 窒素酸化物

発電所計画地点、四代における二酸化窒素の日平均値の年間98%値はそれぞれ0.017ppm、0.021ppmであり、2調査点とも環境基準に適合している。

(ハ) 浮遊粒子状物質

発電所計画地点、四代における浮遊粒子状物質の日平均値の2%除外値はそれぞれ0.061ng/m³、0.069ng/m³で、1時間値の最高値はそれぞれ0.125ng/m³、0.181ng/m³であり、2調査点とも環境基準に適合している。

第2.2.1.1-1図 大気質調査点位圖



第2.2.1.1-1表 二酸化硫黄の環境濃度

調査者：中国電力㈱
 調査期間：平成 7年 4月 1日～平成 8年 3月31日
 調査方法：溶液導電率法

都道府県	市町村	調査点	測定局	設置主体	用途地域	年度	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値 (ppm)	日平均値の2%除外値 (ppm)	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無 (有×・無○)	環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)
										(時間)	(%)	(日)	(%)				
山口県	上関町	①	発電所計画地点	中国電力㈱	未	7	362	8,707	0.005	0	0	0	0	0.028	0.009	○	0
		②	四代			7	362	8,714	0.005	0	0	0	0	0.023	0.010	○	0

注：用途地域は、「都市計画法」(昭和43年、法律第100号)第8条に定める地域の用途区分であって、「未」は未指定又は無指定地域を示す。

第2.2.1.1-2表 窒素酸化物の環境濃度

調査者：中国電力㈱
 調査期間：平成 7年 4月 1日～平成 8年 3月31日
 調査方法：ザルツマン試薬を用いる吸光光度法

都道府県	市町村	調査点	測定局	設置主体	用途地域	年度	一酸化窒素 (NO)					二酸化窒素 (NO ₂)								窒素酸化物 (NO+NO ₂)													
							有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	日平均値の年間98%値 (ppm)	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	日平均値の年間98%値 (ppm)	年平均値 NO ₂ (ppm)				
																(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)												
山口県	上関町	①	発電所計画地点	中国電力㈱	未	7	358	8,644	0.001	0.045	0.004	358	8,646	0.007	0.046	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.017	0	358	8,644	0.008	0.057	0.021	83.0
		②	四代			7	363	8,722	0.002	0.058	0.007	363	8,722	0.007	0.046	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.021	0	363	8,722	0.009	0.058	0.026	79.0

注：用途地域は、「都市計画法」(昭和43年、法律第100号)第8条に定める地域の用途区分であって、「未」は未指定又は無指定地域を示す。

第2.2.1.1-3表 浮遊粒子状物質の環境濃度

調査者：中国電力㈱

調査期間：平成 7年 4月 1日～平成 8年 3月31日

調査方法：ベータ線吸収法

都道府県	市町村	調査点	測定局	設置主体	用途地域	年 度	有効測定 日 数	測定時間	年平均値	1時間値が 0.20mg/m ³ を 超えた時間数と その割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日数と その割合		1時間値の 最高値	日平均値の 2%除外値	日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日が 2日以上連続 したことの 有 無	環境基準の 長期的評価 による 日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日数
							(日)	(時間)	(mg/m ³)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(mg/m ³)	(mg/m ³)	(有×・無○)	(日)
山口県	上関町	①	発電所 計画地点	中国電力㈱	未	7	362	8,707	0.025	0	0	0	0	0.125	0.061	○	0
		②	四 代	中国電力㈱	未	7	364	8,740	0.028	0	0	1	0.3	0.181	0.069	○	0

注：用途地域は、「都市計画法」（昭和43年、法律第100号）第8条に定める地域の用途区分であって、「未」は未指定又は無指定地域を示す。

(2) 水質汚濁

① 水質

調査海域及び発電所計画地点に面する前面海域における水質の現況は、当社が中電環境テクノス(株)に委託した調査の結果によれば、次のとおりである。

なお、平成18、19年の調査は、埋立工事の実施に鑑み、海域における環境の状況について平成7、8年の調査結果を使用することの妥当性を確認するため、埋立予定海域周辺において状況を確認したものである。

イ、調査海域の水質

(イ) 調査期日

年 \ 時期	春季	夏季	秋季	冬季
平成7・8年	平成7年 4月16日	平成7年 7月28日	平成7年 10月24日	平成8年 1月20日
平成18・19年	平成18年 4月14日	平成18年 7月25日	平成18年 10月20日	平成19年 1月19日

(ロ) 調査場所

平成7・8年は、調査海域における29調査点で行った(第2.2.1.2-1図)。

平成18・19年は、発電所計画地点に面する前面海域における5調査点で行った(第2.2.1.2-2図)。

採水層は、表層(海面下0.5m)、中層(海面下5m)及び下層(海面下20m、ただし水深20m以浅の場所では海底上1m)の3層である。

(ハ) 調査方法

バンドーン採水器(採水量: 6ℓ)を用いて採水し、第2.2.1.2-1表に示す方法により分析を行った。

(ニ) 調査結果

調査結果の概要は、次のとおりである(第2.2.1.2-2～5表)。

a. 平成7・8年

(a) 水素イオン濃度(pH)

水素イオン濃度は、8.1～8.3の範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(b) 化学的酸素要求量(COD)

化学的酸素要求量は、酸性法では1.2～1.9mg/ℓの範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。アルカリ性法では0.5～1.1mg/ℓの

範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(c) 溶存酸素量 (DO)

溶存酸素量は、6.8~9.4mg/l、酸素飽和度は95~112%の範囲にある。季節別には春季及び冬季にやや高く、秋季にやや低くなっている。層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(d) n-ヘキサン抽出物質 (油分等)

n-ヘキサン抽出物質 (油分等) は、すべて定量限界値 (0.5mg/l) 未満である。

(e) 塩分

塩分は、32.59~34.25の範囲にある。季節別には春季にやや高く、夏季にやや低くなっている。層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(f) 透明度

透明度は、5.4~15.0mの範囲にある。季節別には秋季にやや低くなっている。調査点別にはほとんど差はみられない。

(g) アンモニア態窒素 (NH₄-N)

アンモニア態窒素は、定量限界値 (0.003mg/l) 未満~0.042mg/lの範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(h) 亜硝酸態窒素 (NO₂-N)

亜硝酸態窒素は、定量限界値 (0.001mg/l) 未満~0.013mg/lの範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(i) 硝酸態窒素 (NO₃-N)

硝酸態窒素は、定量限界値 (0.002mg/l) 未満~0.016mg/lの範囲にある。季節別には冬季にやや高くなっている。層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(j) 全窒素 (T-N)

全窒素は、0.10~0.19mg/lの範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(k) リン酸態りん (PO₄-P)

リン酸態りんは、定量限界値 (0.002mg/l) 未満~0.015mg/lの範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(l) 全りん (T-P)

全りんは、0.011~0.026mg/lの範囲にある。季節別、層別及び調査点別には

ほとんど差はみられない。

(m) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質は、定量限界値 (1 mg/ℓ) 未満～3 mg/ℓの範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(n) 水 温

水温は、12.0～24.7℃の範囲にある。季節別には夏季及び秋季にやや高く、春季及び冬季にやや低くなっている。層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

b. 平成18・19年

(a) 水素イオン濃度 (pH)

水素イオン濃度は、8.0～8.2の範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(b) 化学的酸素要求量 (COD)

化学的酸素要求量は、酸性法では1.2～1.8 mg/ℓの範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。アルカリ性法では0.5～0.9 mg/ℓの範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(c) 溶存酸素量 (DO)

溶存酸素量は、6.6～9.0 mg/ℓ、酸素飽和度は91～110%の範囲にある。季節別には春季にやや高く、秋季にやや低くなっている。層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(d) n-ヘキサン抽出物質 (油分等)

n-ヘキサン抽出物質 (油分等) は、すべて定量限界値 (0.5 mg/ℓ) 未満である。

(e) 塩 分

塩分は、31.22～33.73の範囲にある。季節別には春季にやや高く、夏季にやや低くなっている。層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(f) 透明度

透明度は、8.0～14.0 mの範囲にある。季節別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(g) アンモニア態窒素 (NH₄-N)

アンモニア態窒素は、定量限界値 (0.003 mg/ℓ) 未満～0.027 mg/ℓの範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(h) 亜硝酸態窒素 ($\text{NO}_2\text{-N}$)

亜硝酸態窒素は、定量限界値 ($0.001\text{mg}/\ell$) 未満 $\sim 0.011\text{mg}/\ell$ の範囲にある。季節別には春季にやや低くなっている。層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(i) 硝酸態窒素 ($\text{NO}_3\text{-N}$)

硝酸態窒素は、定量限界値 ($0.002\text{mg}/\ell$) 未満 $\sim 0.046\text{mg}/\ell$ の範囲にある。季節別には冬季にやや高くなっている。層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(j) 全窒素 (T-N)

全窒素は、 $0.09\sim 0.16\text{mg}/\ell$ の範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(k) リン酸態りん ($\text{PO}_4\text{-P}$)

リン酸態りんは、定量限界値 ($0.002\text{mg}/\ell$) 未満 $\sim 0.014\text{mg}/\ell$ の範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

(l) 全りん (T-P)

全りんは、 $0.012\sim 0.024\text{mg}/\ell$ の範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

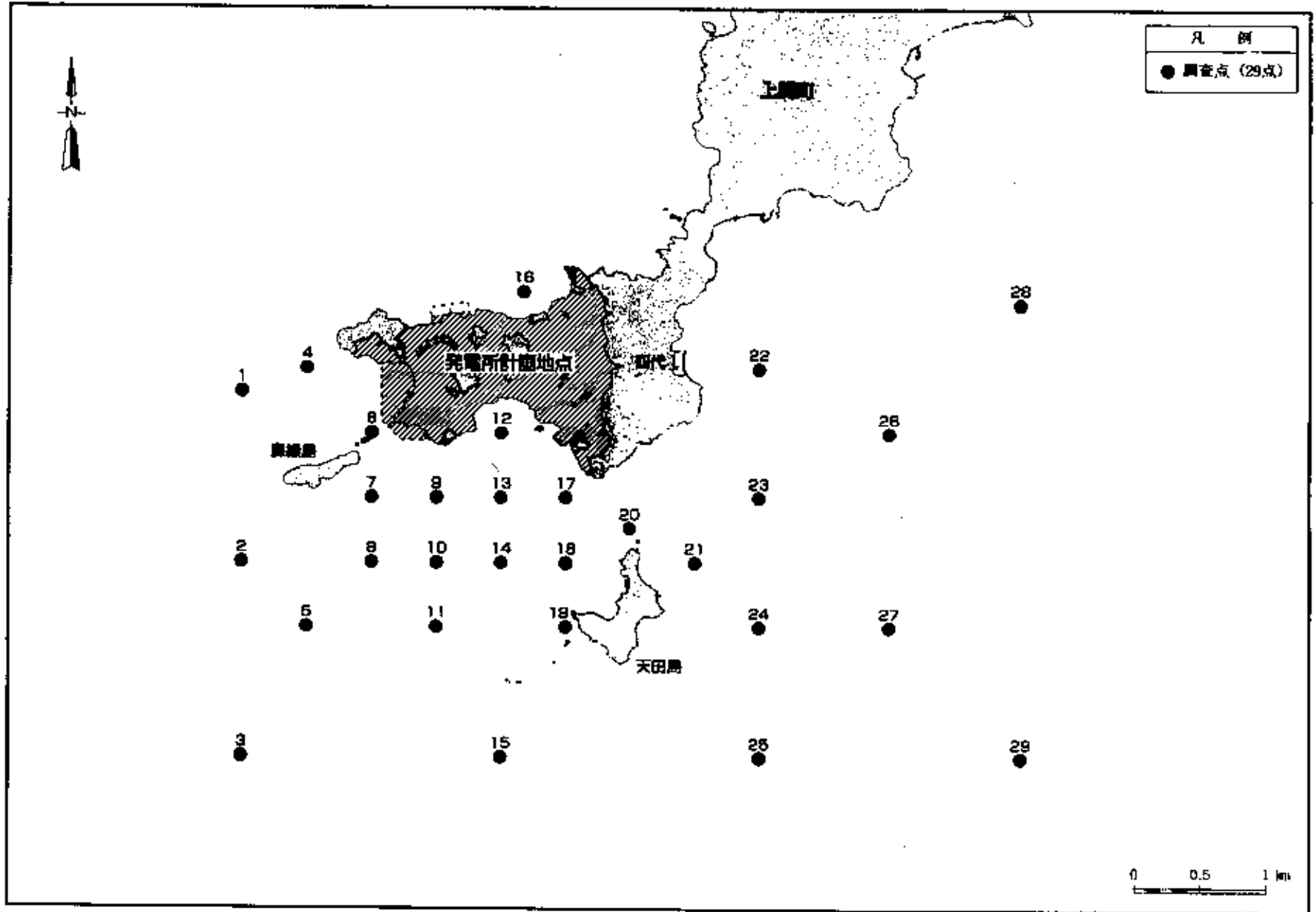
(m) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質は、定量限界値 ($1\text{mg}/\ell$) 未満 $\sim 3\text{mg}/\ell$ の範囲にある。季節別、層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

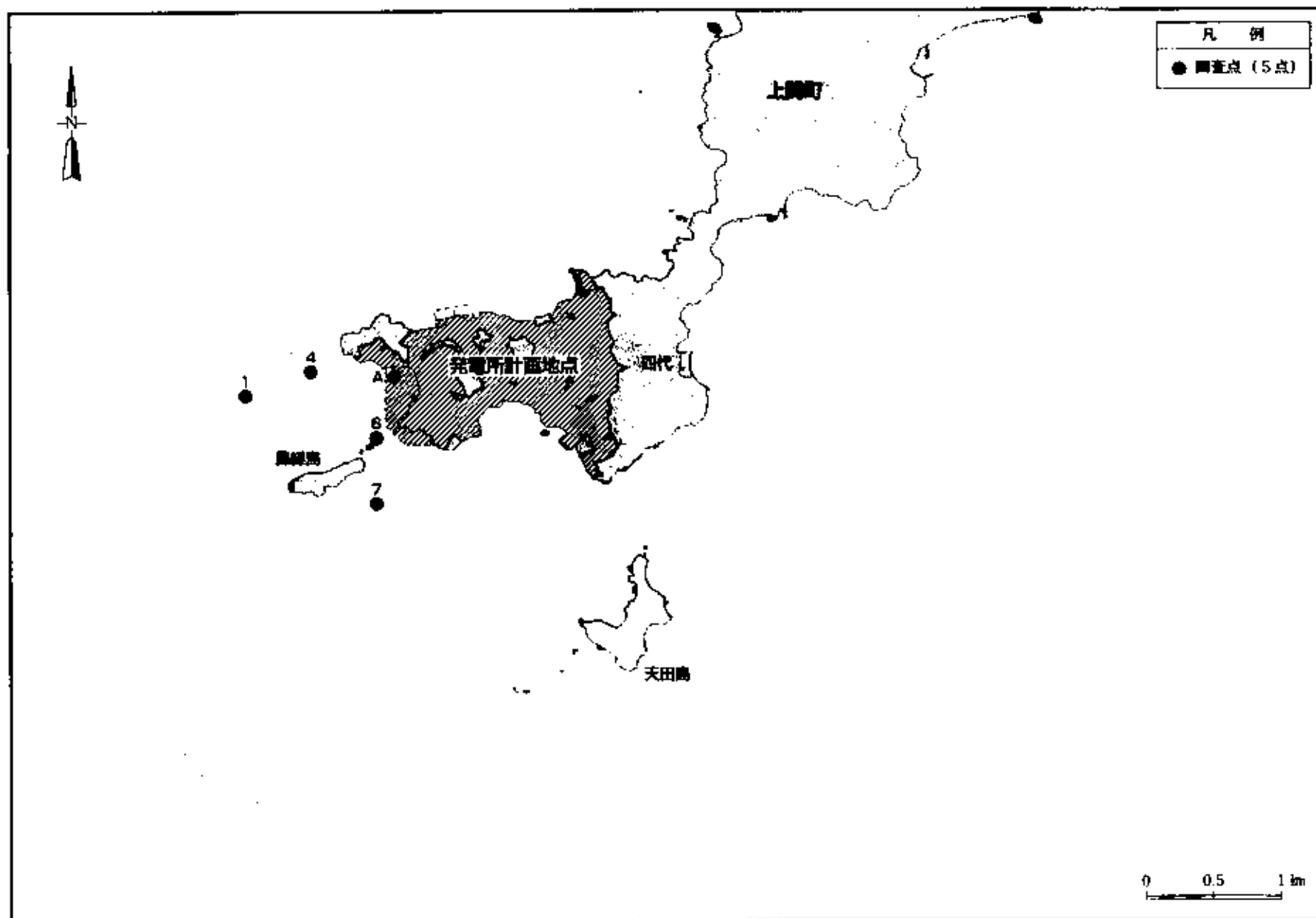
(n) 水温

水温は、 $11.6\sim 23.1^\circ\text{C}$ の範囲にある。季節別には夏季及び秋季にやや高く、春季にやや低くなっている。層別及び調査点別にはほとんど差はみられない。

第2.2.1.2-1図 水質調査点位置 (平成7・8年)



第2.2.1.2-2図 水質調査点位置 (平成18・19年)



第2.2.1.2-1表 水質分析方法

項 目		分 析 方 法	定 量 限 界 値	単 位
水素イオン濃度 (pH)		JIS K 0102 12.1 (1993) 又は (1998) ガラス電極法	-	-
化学的酸素 要求量 (COD)	酸 性 法	JIS K 0102 17 (1993) 又は (1998) 100℃ における過マンガン酸カリウムによる酸素消費量	0.5	mg/l
	アルカリ性法	昭和46年 環境庁告示第59号 別表2.2 備考2 アルカリ性過マンガン酸カリウムによる酸素消費量	0.5	mg/l
溶存酸素量 (DO)	酸 素 量	JIS K 0102 32.1 (1993) 又は (1998) ウインクラー・アシ化ナトリウム変法	0.5	mg/l
	飽 和 度	海洋観測指針 8.3.3 (1990) Weissの式より算出	-	%
n-ヘキサン抽出物質 (油分等)		昭和46年 環境庁告示第59号 付表9 n-ヘキサン抽出法	0.5	mg/l
塩 分		海洋観測指針 8.2.5 (1990) サリノメーター法	-	-
透 明 度		海洋観測指針 4.1 (1990) 透明度板による測定	-	m
アンモニア態窒素 (NH ₄ -N)		海洋観測指針 8.8.2 4) (1990) インドフェノール青吸光光度法	0.003	mg/l
亜硝酸態窒素 (NO ₂ -N)		海洋観測指針 8.8.2 5) (1990) スルファニルアミド・エチレンジアミン吸光光度法	0.001	mg/l
硝酸態窒素 (NO ₃ -N)		海洋観測指針 8.8.2 6) (1990) 銅・カドミウムカラム還元後スルファニルアミド ・エチレンジアミン吸光光度法	0.002	mg/l
全 窒 素 (T-N)		JIS K 0102 45.4 (1993) 又は (1998) 銅・カドミウムカラム還元後スルファニルアミド・ エチレンジアミン吸光光度法	0.05	mg/l
りん酸態りん (PO ₄ -P)		海洋観測指針 8.8.2 2) (1990) モリブデン青吸光光度法	0.002	mg/l
全 り ん (T-P)		JIS K 0102 46.3.1 (1993) 又は (1998) ベルオキソ二硫酸カリウム分解法	0.003	mg/l
浮遊物質 (SS)		昭和46年 環境庁告示第59号 付表8 グラスファイバーフィルターペーパー法	1	mg/l
水 温		海洋観測指針 2.1.1 (1990) 電気抵抗温度計による測定	-	℃

第2.2.1.2-2表(1)

水質調査結果(平成7・8年)

調査者：中国電力㈱〔中電環境テクノス㈱に委託〕

項目	単位	調査期日 区分 採水層	春 季 (平成7年4月16日)			夏 季 (平成7年7月28日)			秋 季 (平成7年10月24日)			冬 季 (平成8年1月20日)			年 間		
			最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
水素イオン濃度 (pH)	—	表層	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.3	8.2	8.2	8.3	8.1	8.2
		中層	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.3	8.2	8.2	8.3	8.1	8.2
		下層	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.3	8.2	8.2	8.3	8.1	8.2
		全層	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.3	8.2	8.2	8.3	8.1	8.2
化学的 酸素 要求量 (COD)	酸性法 mg/l	表層	1.7	1.2	1.4	1.9	1.4	1.6	1.6	1.4	1.5	1.6	1.4	1.5	1.9	1.2	1.5
		中層	1.5	1.2	1.3	1.7	1.4	1.5	1.6	1.3	1.4	1.5	1.4	1.4	1.7	1.2	1.4
		下層	1.4	1.2	1.3	1.7	1.3	1.5	1.5	1.2	1.4	1.5	1.4	1.4	1.7	1.2	1.4
		全層	1.7	1.2	1.3	1.9	1.3	1.5	1.6	1.2	1.4	1.6	1.4	1.5	1.9	1.2	1.4
	アルカリ 性 法 mg/l	表層	1.0	0.6	0.7	1.1	0.9	1.0	1.0	0.8	1.0	1.1	0.9	1.0	1.1	0.6	0.9
		中層	1.1	0.5	0.7	1.1	0.9	1.0	1.0	0.8	0.9	1.1	0.8	0.9	1.1	0.5	0.9
		下層	0.9	0.5	0.7	1.0	0.8	0.9	0.9	0.8	0.9	1.1	0.8	0.9	1.1	0.5	0.9
		全層	1.1	0.5	0.7	1.1	0.8	1.0	1.0	0.8	0.9	1.1	0.8	0.9	1.1	0.5	0.9
溶 存 酸素量 (DO)	酸素量 mg/l	表層	9.0	8.6	8.8	8.0	7.5	7.7	7.3	6.8	7.1	9.4	9.0	9.2	9.4	6.8	8.2
		中層	8.8	8.5	8.7	7.9	7.5	7.7	7.2	6.8	7.1	9.3	9.0	9.2	9.3	6.8	8.2
		下層	8.8	8.5	8.7	7.8	7.0	7.5	7.1	7.0	7.0	9.3	9.0	9.1	9.3	7.0	8.1
		全層	9.0	8.5	8.7	8.0	7.0	7.6	7.3	6.8	7.1	9.4	9.0	9.1	9.4	6.8	8.1
	飽和度 %	表層	104	99	101	112	105	108	102	95	99	109	104	106	112	95	104
		中層	102	98	101	111	103	107	101	95	99	108	104	106	111	95	103
		下層	102	98	101	106	95	102	99	97	98	107	104	105	107	96	102
		全層	104	98	101	112	95	106	102	95	99	109	104	106	112	95	103
n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	mg/l	表層	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		中層	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		下層	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		全層	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
塩 分	—	表層	34.23	34.09	34.17	33.00	32.59	32.91	33.33	33.26	33.28	33.73	33.60	33.66	34.23	32.59	33.51
		中層	34.25	34.12	34.19	33.02	32.75	32.94	33.33	33.26	33.29	33.73	33.61	33.66	34.25	32.75	33.52
		下層	34.25	34.12	34.19	33.17	32.93	33.05	33.34	33.26	33.30	33.73	33.63	33.66	34.25	32.93	33.55
		全層	34.25	34.09	34.18	33.17	32.59	32.97	33.34	33.26	33.29	33.73	33.60	33.66	34.25	32.59	33.53
透 明 度	m	—	15.0	7.5	10.0	13.0	7.0	9.1	10.0	5.4	6.8	13.0	9.5	11.0	15.0	5.4	9.2

注：1. 採水層の表層は海面下 0.5m、中層は海面下 5m、下層は海面下20m（ただし水深20m以上の場所では海底上1m）である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

3. 平均値の算出に当たっては「ND」を定量限界値として計算した。ただし、全調査点で定量限界値未満の場合は、平均値も「ND」と表示した。

第2.2.1.2-2表(2)

水質調査結果(平成7・8年)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノ㈱に委託]

項目	単位	調査期日 区分 採水層	春 季 (平成7年4月16日)			夏 季 (平成7年7月28日)			秋 季 (平成7年10月24日)			冬 季 (平成8年1月20日)			年 間		
			最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
アンモニア態窒素 (NH ₄ -N)	mg/l	表層	0.015	ND	0.006	0.018	ND	0.010	0.027	0.003	0.011	0.042	0.004	0.014	0.042	ND	0.010
		中層	0.010	ND	0.006	0.018	0.003	0.009	0.021	ND	0.011	0.024	ND	0.013	0.024	ND	0.010
		下層	0.011	0.003	0.005	0.017	ND	0.009	0.021	0.003	0.010	0.029	ND	0.015	0.029	ND	0.010
		全層	0.015	ND	0.006	0.018	ND	0.009	0.027	ND	0.011	0.042	ND	0.014	0.042	ND	0.010
亜硝酸態窒素 (NO ₂ -N)	mg/l	表層	0.003	ND	0.002	0.004	ND	0.001	0.008	0.003	0.005	0.007	0.003	0.005	0.008	ND	0.003
		中層	0.003	ND	0.002	0.004	ND	0.002	0.006	0.003	0.005	0.009	0.004	0.005	0.009	ND	0.004
		下層	0.002	ND	0.002	0.013	ND	0.005	0.006	0.003	0.005	0.007	0.004	0.005	0.013	ND	0.004
		全層	0.003	ND	0.002	0.013	ND	0.003	0.008	0.003	0.005	0.009	0.003	0.005	0.013	ND	0.004
硝酸態窒素 (NO ₃ -N)	mg/l	表層	0.006	ND	0.003	0.005	ND	0.002	0.008	ND	0.004	0.016	0.008	0.011	0.016	ND	0.005
		中層	0.008	ND	0.003	0.004	ND	0.002	0.007	0.003	0.004	0.015	0.009	0.011	0.015	ND	0.005
		下層	0.006	ND	0.003	0.009	ND	0.004	0.009	ND	0.004	0.016	0.009	0.012	0.016	ND	0.006
		全層	0.008	ND	0.003	0.009	ND	0.003	0.009	ND	0.004	0.016	0.008	0.012	0.016	ND	0.006
全 窒 素 (T-N)	mg/l	表層	0.18	0.10	0.13	0.19	0.11	0.14	0.19	0.14	0.16	0.19	0.11	0.14	0.19	0.10	0.14
		中層	0.18	0.10	0.13	0.19	0.12	0.14	0.18	0.14	0.16	0.16	0.11	0.14	0.19	0.10	0.14
		下層	0.18	0.10	0.13	0.17	0.11	0.14	0.19	0.14	0.16	0.17	0.12	0.14	0.19	0.10	0.14
		全層	0.18	0.10	0.13	0.19	0.11	0.14	0.19	0.14	0.16	0.19	0.11	0.14	0.19	0.10	0.14
りん酸態りん (PO ₄ -P)	mg/l	表層	0.009	0.005	0.007	0.012	ND	0.005	0.015	0.008	0.011	0.013	0.006	0.009	0.015	ND	0.008
		中層	0.009	0.005	0.007	0.006	0.004	0.005	0.015	0.009	0.011	0.013	0.005	0.009	0.015	0.004	0.008
		下層	0.009	0.006	0.007	0.009	0.004	0.006	0.015	0.007	0.011	0.015	0.006	0.009	0.015	0.004	0.008
		全層	0.009	0.005	0.007	0.012	ND	0.005	0.015	0.007	0.011	0.015	0.005	0.009	0.015	ND	0.008
全 り ん (T-P)	mg/l	表層	0.020	0.014	0.017	0.021	0.011	0.016	0.025	0.020	0.023	0.024	0.016	0.020	0.025	0.011	0.019
		中層	0.025	0.015	0.018	0.021	0.013	0.016	0.025	0.020	0.023	0.024	0.017	0.021	0.025	0.013	0.020
		下層	0.023	0.014	0.017	0.020	0.013	0.017	0.026	0.020	0.023	0.025	0.018	0.021	0.026	0.013	0.020
		全層	0.025	0.014	0.017	0.021	0.011	0.017	0.026	0.020	0.023	0.025	0.016	0.021	0.026	0.011	0.020
浮遊物質量 (SS)	mg/l	表層	2	ND	1	2	ND	1	3	ND	2	2	ND	1	3	ND	1
		中層	2	ND	1	2	ND	1	2	ND	2	1	ND	1	2	ND	1
		下層	2	ND	1	2	ND	1	3	ND	2	2	ND	1	3	ND	1
		全層	2	ND	1	2	ND	1	3	ND	2	2	ND	1	3	ND	1
水 温 ℃		表層	12.4	12.1	12.2	24.7	21.6	22.7	22.2	22.0	22.1	12.5	12.1	12.3	24.7	12.1	17.3
		中層	12.3	12.0	12.2	22.7	21.4	22.0	22.2	22.0	22.2	12.5	12.1	12.3	22.7	12.0	17.2
		下層	12.2	12.0	12.1	22.1	20.5	21.3	22.2	22.0	22.2	12.4	12.1	12.3	22.2	12.0	17.0
		全層	12.4	12.0	12.2	24.7	20.5	22.0	22.2	22.0	22.1	12.5	12.1	12.3	24.7	12.0	17.2

注: 1. 採水層の表層は海面下 0.5m, 中層は海面下 5m, 下層は海面下 20m (ただし水深 20m 未満の場所では海底上 1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

3. 平均値の算出に当たっては「ND」を定量限界値として計算した。ただし、全調査点で定量限界値未満の場合は、平均値も「ND」と表示した。

第2.2.1.2-3表(1)

調査点別水質調査結果(春季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成7年4月16日

調査点 (水深)	採水層	項目 単位	水素イオン 濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) mg/l	塩分	透明度 m
				酸性法	7M7性法	酸素量	飽和度			
				mg/l	mg/l	mg/l	%			
1 (66.0m)	表層		8.2	1.4	0.7	8.7	100	ND	34.17	9.0
	中層		8.2	1.3	0.6	8.8	102	ND	34.17	
	下層		8.2	1.3	0.6	8.8	102	ND	34.17	
2 (63.0m)	表層		8.2	1.4	0.7	8.7	100	ND	34.17	9.5
	中層		8.2	1.2	0.5	8.8	102	ND	34.20	
	下層		8.2	1.2	0.5	8.7	101	ND	34.20	
3 (60.0m)	表層		8.2	1.4	0.7	8.7	100	ND	34.18	9.5
	中層		8.2	1.2	0.7	8.7	100	ND	34.17	
	下層		8.2	1.2	0.7	8.7	100	ND	34.17	
4 (51.0m)	表層		8.2	1.4	0.7	8.8	101	ND	34.18	8.5
	中層		8.2	1.3	0.7	8.8	101	ND	34.18	
	下層		8.2	1.2	0.7	8.7	100	ND	34.19	
5 (50.0m)	表層		8.2	1.5	0.6	8.7	100	ND	34.18	7.5
	中層		8.2	1.4	0.6	8.8	102	ND	34.20	
	下層		8.2	1.4	0.6	8.8	102	ND	34.20	
6 (13.0m)	表層		8.2	1.4	0.8	8.8	102	ND	34.18	9.0
	中層		8.2	1.4	0.8	8.7	100	ND	34.19	
	下層		8.2	1.2	0.8	8.6	99	ND	34.19	
7 (38.0m)	表層		8.2	1.3	0.8	8.8	102	ND	34.18	9.5
	中層		8.2	1.3	0.7	8.5	98	ND	34.19	
	下層		8.2	1.3	0.7	8.5	98	ND	34.19	
8 (38.0m)	表層		8.2	1.4	0.7	8.7	101	ND	34.18	8.5
	中層		8.2	1.3	0.6	8.8	102	ND	34.20	
	下層		8.2	1.3	0.7	8.7	100	ND	34.19	
9 (38.0m)	表層		8.2	1.3	0.7	8.6	102	ND	34.17	12.0
	中層		8.2	1.3	0.7	8.7	101	ND	34.20	
	下層		8.2	1.2	0.7	8.8	102	ND	34.22	
10 (40.0m)	表層		8.2	1.2	0.7	8.7	100	ND	34.16	8.5
	中層		8.2	1.2	0.7	8.7	101	ND	34.20	
	下層		8.2	1.2	0.7	8.7	101	ND	34.21	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m(ただし水深20m以上の場所では海面下1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(2)

調査点別水質調査結果(春季)

調査者: 中国電力株式会社(中電環境テクノス株式会社)

調査期日: 平成7年4月16日

調査点 (水深)	項目 水層	アンモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質	水温
		(NH ₃ -N)	(NO ₂ -N)	(NO ₃ -N)	(T-N)	(PO ₄ -P)	(T-P)	(SS)	℃
		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
1 (65.0m)	表層	0.003	0.003	ND	0.16	0.007	0.020	2	12.2
	中層	0.003	0.002	0.002	0.10	0.006	0.017	1	12.2
	下層	0.004	0.002	0.002	0.13	0.006	0.017	1	12.2
2 (63.0m)	表層	0.004	0.001	0.006	0.14	0.006	0.019	2	12.2
	中層	0.004	0.002	0.004	0.12	0.009	0.017	1	12.2
	下層	0.004	0.002	0.003	0.11	0.006	0.018	2	12.2
3 (60.0m)	表層	0.008	0.002	0.003	0.14	0.006	0.015	1	12.1
	中層	0.005	0.002	ND	0.12	0.005	0.016	ND	12.2
	下層	0.004	0.002	ND	0.12	0.006	0.017	1	12.1
4 (51.0m)	表層	0.007	0.002	0.004	0.11	0.007	0.017	1	12.1
	中層	0.004	0.001	0.003	0.14	0.007	0.016	1	12.1
	下層	0.007	0.002	0.004	0.14	0.007	0.016	1	12.1
5 (50.0m)	表層	0.005	0.002	0.002	0.11	0.006	0.016	ND	12.2
	中層	0.005	0.002	0.003	0.11	0.007	0.020	2	12.2
	下層	0.006	0.002	0.005	0.13	0.007	0.018	2	12.2
6 (13.0m)	表層	0.004	0.002	0.003	0.15	0.007	0.016	1	12.2
	中層	0.003	0.002	0.003	0.12	0.007	0.019	2	12.2
	下層	0.004	0.002	0.006	0.12	0.006	0.018	2	12.2
7 (38.0m)	表層	0.015	0.002	0.003	0.15	0.009	0.018	2	12.2
	中層	0.008	0.002	0.004	0.15	0.008	0.020	ND	12.2
	下層	0.005	0.002	0.003	0.13	0.007	0.017	1	12.2
8 (38.0m)	表層	0.004	0.001	0.008	0.10	0.007	0.016	ND	12.2
	中層	0.005	0.002	0.008	0.12	0.007	0.016	ND	12.2
	下層	0.007	0.002	0.004	0.13	0.007	0.017	1	12.2
9 (38.0m)	表層	0.005	0.002	ND	0.13	0.006	0.015	ND	12.2
	中層	0.006	0.002	0.004	0.16	0.007	0.020	ND	12.2
	下層	0.005	0.002	0.003	0.13	0.007	0.016	1	12.2
10 (40.0m)	表層	0.005	0.002	0.002	0.12	0.007	0.016	2	12.2
	中層	0.005	0.002	ND	0.12	0.007	0.018	2	12.2
	下層	0.005	0.002	0.003	0.11	0.006	0.017	2	12.2

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m(ただし水深20m未満の場合は海面上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(3)

調査点別水質調査結果(春季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成 7年 4月18日

調査点 (水深)	採水層 位置	項目 水素イオン 濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) mg/l	塩分	透明度 m
			酸性法 mg/l	7%中性法 mg/l	酸素量 mg/l	飽和度 %			
			—	—	—	—			
11 (45.0m)	表層	8.2	1.5	0.6	9.0	104	ND	34.20	10.0
	中層	8.2	1.2	0.7	8.8	102	ND	34.20	
	下層	8.2	1.2	0.6	8.7	101	ND	34.20	
12 (14.0m)	表層	8.2	1.7	0.7	8.8	102	ND	34.15	9.5
	中層	8.2	1.5	0.7	8.7	100	ND	34.17	
	下層	8.2	1.4	0.7	8.7	101	ND	34.22	
13 (42.0m)	表層	8.2	1.4	0.7	8.7	101	ND	34.20	9.5
	中層	8.2	1.4	0.7	8.7	101	ND	34.22	
	下層	8.2	1.4	0.7	8.8	102	ND	34.23	
14 (44.0m)	表層	8.2	1.6	0.7	8.8	102	ND	34.19	11.0
	中層	8.2	1.3	0.7	8.7	101	ND	34.21	
	下層	8.2	1.3	0.6	8.7	101	ND	34.22	
15 (61.0m)	表層	8.2	1.5	0.8	8.7	100	ND	34.16	11.0
	中層	8.2	1.3	0.9	8.8	102	ND	34.16	
	下層	8.2	1.4	0.9	8.7	100	ND	34.19	
16 (34.0m)	表層	8.2	1.5	0.7	8.6	99	ND	34.16	9.0
	中層	8.2	1.4	0.6	8.6	99	ND	34.16	
	下層	8.2	1.3	0.6	8.7	100	ND	34.16	
17 (38.0m)	表層	8.2	1.4	0.8	8.8	101	ND	34.18	7.5
	中層	8.2	1.4	0.8	8.8	101	ND	34.18	
	下層	8.2	1.4	0.8	8.7	100	ND	34.19	
18 (38.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	8.8	101	ND	34.16	7.5
	中層	8.2	1.5	1.1	8.7	100	ND	34.16	
	下層	8.2	1.4	0.7	8.7	100	ND	34.17	
19 (12.0m)	表層	8.2	1.4	0.6	8.7	100	ND	34.18	6.0
	中層	8.2	1.4	0.7	8.7	100	ND	34.19	
	下層	8.2	1.3	0.6	8.8	101	ND	34.19	
20 (25.0m)	表層	8.2	1.3	0.8	8.8	101	ND	34.17	8.6
	中層	8.2	1.3	0.6	8.6	99	ND	34.15	
	下層	8.2	1.2	0.6	8.7	100	ND	34.17	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(4)

調査点別水質調査結果(春季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成 7年 4月16日

調査点 (水深)	採水層	項目 層位	アンモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質量	水温
			(NH ₄ -N) mg/l	(NO ₂ -N) mg/l	(NO ₃ -N) mg/l	(T-N) mg/l	(PO ₄ -P) mg/l	(T-P) mg/l	(SS) mg/l	℃
11 (45.0m)	表層		0.005	0.003	0.003	0.11	0.007	0.019	1	12.2
	中層		0.005	0.002	0.003	0.11	0.006	0.016	1	12.2
	下層		0.003	0.002	0.002	0.12	0.007	0.017	ND	12.2
12 (14.0m)	表層		0.005	0.002	0.003	0.16	0.007	0.015	ND	12.3
	中層		0.004	0.002	0.004	0.12	0.006	0.018	1	12.2
	下層		0.004	0.002	0.003	0.17	0.006	0.016	1	12.2
13 (42.0m)	表層		0.005	0.002	0.003	0.14	0.007	0.015	1	12.2
	中層		0.005	0.002	0.002	0.18	0.007	0.025	1	12.2
	下層		0.004	0.002	0.004	0.11	0.007	0.018	1	12.2
14 (44.0m)	表層		0.004	0.003	ND	0.13	0.008	0.014	1	12.2
	中層		0.009	0.003	ND	0.18	0.009	0.022	1	12.2
	下層		0.004	0.002	0.002	0.11	0.007	0.016	1	12.2
15 (61.0m)	表層		ND	0.001	0.003	0.10	0.006	0.015	ND	12.2
	中層		0.003	ND	0.003	0.10	0.006	0.015	1	12.2
	下層		0.006	0.001	0.003	0.11	0.007	0.021	1	12.2
16 (34.0m)	表層		0.007	ND	0.003	0.12	0.006	0.017	1	12.2
	中層		0.006	ND	0.004	0.11	0.006	0.019	1	12.1
	下層		0.007	ND	0.006	0.12	0.007	0.017	1	12.1
17 (38.0m)	表層		0.004	ND	ND	0.11	0.005	0.015	2	12.1
	中層		0.005	0.001	ND	0.16	0.007	0.020	1	12.1
	下層		0.005	0.001	ND	0.10	0.007	0.017	1	12.1
18 (38.0m)	表層		0.005	ND	0.004	0.12	0.007	0.017	1	12.1
	中層		0.005	ND	ND	0.12	0.006	0.018	1	12.1
	下層		0.006	0.001	0.005	0.13	0.006	0.017	2	12.1
19 (12.0m)	表層		0.008	0.002	0.004	0.12	0.008	0.016	2	12.1
	中層		0.006	0.002	0.003	0.13	0.007	0.020	1	12.1
	下層		0.005	0.001	0.002	0.14	0.007	0.014	2	12.1
20 (26.0m)	表層		0.006	0.001	0.003	0.18	0.007	0.020	1	12.1
	中層		0.006	0.001	0.002	0.13	0.006	0.017	2	12.1
	下層		0.011	0.002	0.003	0.13	0.009	0.017	1	12.0

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海面上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(5)

調査点別水質調査結果(春季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成 7年 4月16日

調査点 (水深)	採水層位	水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン抽出物質 (油分等) mg/l	塩分 —	透明度 m
			酸性法	7次酸性法	酸素量	飽和度			
			mg/l	mg/l	mg/l	%			
21 (50.0m)	表層	8.2	1.2	0.9	8.7	100	ND	34.17	9.5
	中層	8.2	1.2	0.6	8.7	100	ND	34.20	
	下層	8.2	1.2	0.5	8.7	100	ND	34.19	
22 (42.0m)	表層	8.2	1.3	0.7	8.8	102	ND	34.09	10.0
	中層	8.2	1.2	0.7	8.8	102	ND	34.13	
	下層	8.2	1.2	0.7	8.8	101	ND	34.12	
23 (48.0m)	表層	8.2	1.3	0.9	8.7	100	ND	34.18	10.0
	中層	8.2	1.3	0.9	8.7	100	ND	34.17	
	下層	8.2	1.2	0.9	8.7	100	ND	34.20	
24 (60.0m)	表層	8.2	1.3	0.9	8.7	100	ND	34.16	9.5
	中層	8.2	1.3	0.9	8.8	101	ND	34.16	
	下層	8.2	1.2	0.8	8.7	100	ND	34.18	
25 (53.0m)	表層	8.2	1.3	0.7	8.8	102	ND	34.23	15.0
	中層	8.2	1.4	0.7	8.6	100	ND	34.21	
	下層	8.2	1.3	0.7	8.8	101	ND	34.23	
26 (41.0m)	表層	8.2	1.5	0.8	8.7	100	ND	34.13	13.0
	中層	8.2	1.4	0.7	8.7	100	ND	34.14	
	下層	8.2	1.3	0.7	8.7	100	ND	34.16	
27 (50.0m)	表層	8.2	1.3	0.7	8.8	102	ND	34.20	13.0
	中層	8.2	1.2	0.7	8.8	102	ND	34.21	
	下層	8.2	1.2	0.7	8.8	102	ND	34.23	
28 (41.0m)	表層	8.2	1.4	0.8	8.8	102	ND	34.12	11.0
	中層	8.2	1.4	0.6	8.8	102	ND	34.12	
	下層	8.2	1.3	0.6	8.6	99	ND	34.15	
29 (50.0m)	表層	8.2	1.5	0.6	8.7	101	ND	34.23	15.0
	中層	8.2	1.4	0.6	8.8	102	ND	34.25	
	下層	8.2	1.3	0.5	8.8	101	ND	34.25	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下5m、下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(6)

調査点別水質調査結果(春季)

調査者: 中国電力株式会社(中電環境テクノス株式会社に委託)

調査期日: 平成 7年 4月15日

調査点 (水深)	採水層	項目 単位	アモニウム態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質	水温
			(NH ₄ -N)	(NO ₂ -N)	(NO ₃ -N)	(T-N)	(PO ₄ -P)	(T-P)	(SS)	℃
			mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	℃
21 (50.0m)	表層		0.008	0.001	0.003	0.11	0.008	0.016	1	12.1
	中層		0.009	0.001	0.006	0.15	0.008	0.018	1	12.1
	下層		0.007	0.001	ND	0.18	0.007	0.017	1	12.0
22 (42.0m)	表層		0.009	ND	ND	0.11	0.008	0.017	1	12.2
	中層		0.007	0.001	0.004	0.12	0.008	0.018	2	12.2
	下層		0.003	ND	ND	0.14	0.006	0.019	1	12.1
23 (48.0m)	表層		0.009	0.001	ND	0.15	0.006	0.018	1	12.1
	中層		0.010	0.001	0.004	0.17	0.007	0.020	2	12.0
	下層		0.006	ND	ND	0.14	0.006	0.018	ND	12.0
24 (60.0m)	表層		0.008	ND	0.004	0.14	0.007	0.017	ND	12.1
	中層		0.010	0.002	0.005	0.14	0.008	0.016	1	12.1
	下層		0.005	0.001	0.004	0.12	0.007	0.018	2	12.1
25 (53.0m)	表層		0.004	0.001	0.003	0.13	0.006	0.016	ND	12.3
	中層		0.004	ND	0.003	0.15	0.006	0.017	ND	12.3
	下層		0.004	ND	ND	0.12	0.006	0.017	ND	12.1
26 (41.0m)	表層		0.007	0.001	0.005	0.12	0.007	0.019	2	12.2
	中層		0.006	0.002	0.003	0.15	0.008	0.019	2	12.2
	下層		0.005	0.001	0.005	0.16	0.006	0.017	2	12.2
27 (50.0m)	表層		0.011	0.001	0.004	0.15	0.008	0.016	ND	12.2
	中層		0.008	0.001	0.003	0.15	0.008	0.016	ND	12.2
	下層		0.008	0.002	0.003	0.17	0.008	0.023	1	12.2
28 (41.0m)	表層		0.006	0.001	0.003	0.11	0.008	0.015	ND	12.4
	中層		0.006	0.002	0.003	0.12	0.008	0.017	ND	12.2
	下層		0.008	0.002	0.004	0.13	0.008	0.018	2	12.1
29 (50.0m)	表層		0.003	0.001	0.002	0.12	0.006	0.018	ND	12.2
	中層		ND	0.002	0.002	0.12	0.007	0.016	ND	12.2
	下層		0.004	0.002	0.003	0.12	0.006	0.017	1	12.1

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海面上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(7)

調査点別水質調査結果(夏季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成 7年 7月28日

調査点 (水深)	採水層	項目 単位	水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン抽出物質 (油分等) mg/l	塩分 —	透明度 m
				酸性法	7433法	酸素量	飽和度			
				mg/l	mg/l	mg/l	%			
1 (64.0m)	表層		8.1	1.7	1.0	7.7	110	ND	32.70	13.0
	中層		8.1	1.7	1.0	7.7	108	ND	32.84	
	下層		8.1	1.6	0.9	7.7	106	ND	32.93	
2 (63.0m)	表層		8.1	1.7	1.0	7.9	112	ND	32.82	9.0
	中層		8.1	1.6	0.9	7.9	111	ND	32.85	
	下層		8.1	1.3	0.8	7.4	102	ND	32.98	
3 (61.0m)	表層		8.1	1.5	0.9	7.7	108	ND	32.83	7.0
	中層		8.1	1.5	0.9	7.9	111	ND	32.89	
	下層		8.1	1.5	0.9	7.7	105	ND	33.03	
4 (50.0m)	表層		8.1	1.6	1.0	7.8	109	ND	32.86	13.0
	中層		8.1	1.6	1.0	7.7	108	ND	32.92	
	下層		8.1	1.3	0.9	7.5	104	ND	32.97	
5 (62.0m)	表層		8.1	1.4	1.0	7.6	105	ND	33.00	7.0
	中層		8.1	1.4	0.9	7.5	103	ND	33.02	
	下層		8.1	1.4	0.9	7.3	101	ND	33.14	
6 (15.0m)	表層		8.1	1.4	1.0	7.7	108	ND	32.89	10.0
	中層		8.1	1.4	1.0	7.7	107	ND	32.92	
	下層		8.1	1.4	0.9	7.8	106	ND	32.97	
7 (36.0m)	表層		8.1	1.7	1.1	7.7	107	ND	32.92	8.0
	中層		8.1	1.6	0.9	7.7	107	ND	32.99	
	下層		8.1	1.5	0.9	7.4	102	ND	33.02	
8 (38.0m)	表層		8.1	1.6	1.1	7.8	110	ND	32.96	8.0
	中層		8.1	1.4	1.0	7.6	105	ND	33.02	
	下層		8.1	1.4	1.0	7.3	99	ND	33.16	
9 (35.0m)	表層		8.1	1.6	1.1	7.6	107	ND	32.94	9.0
	中層		8.1	1.5	1.0	7.7	106	ND	33.00	
	下層		8.1	1.4	1.0	7.0	95	ND	33.17	
10 (39.0m)	表層		8.1	1.4	1.1	7.8	109	ND	32.97	8.5
	中層		8.1	1.4	0.9	7.6	105	ND	32.98	
	下層		8.1	1.3	0.9	7.6	105	ND	33.05	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(8)

調査点別水質調査結果(夏季)

調査者: 中田電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成7年7月28日

調査点 (水深)	項目 水層 単位	アンモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質	水温
		(NH ₄ -N) mg/l	(NO ₂ -N) mg/l	(NO ₃ -N) mg/l	(T-N) mg/l	(PO ₄ -P) mg/l	(T-P) mg/l	(SS) mg/l	℃
1 (64.0m)	表層	0.006	0.003	0.002	0.12	0.004	0.011	1	23.9
	中層	0.004	0.002	ND	0.14	0.005	0.014	ND	22.4
	下層	0.008	0.001	ND	0.13	0.006	0.015	ND	21.6
2 (63.0m)	表層	0.016	0.002	ND	0.15	0.003	0.018	2	23.0
	中層	0.015	ND	ND	0.16	0.004	0.021	1	22.7
	下層	0.014	0.002	ND	0.11	0.006	0.013	ND	21.5
3 (61.0m)	表層	0.010	ND	ND	0.12	0.003	0.012	1	22.7
	中層	0.008	ND	ND	0.12	0.004	0.015	ND	22.5
	下層	0.012	0.009	0.003	0.15	0.008	0.016	1	20.9
4 (60.0m)	表層	ND	ND	ND	0.13	0.004	0.015	ND	22.5
	中層	0.012	0.001	ND	0.14	0.006	0.016	1	22.4
	下層	0.004	ND	ND	0.13	0.004	0.015	ND	22.1
5 (62.0m)	表層	0.011	0.004	ND	0.14	0.006	0.015	1	21.6
	中層	0.010	0.004	ND	0.14	0.006	0.016	1	21.6
	下層	0.009	0.007	0.003	0.14	0.008	0.016	1	21.5
6 (15.0m)	表層	0.006	0.002	ND	0.19	0.005	0.019	1	22.4
	中層	0.006	0.002	ND	0.13	0.004	0.014	1	22.1
	下層	0.010	0.004	ND	0.16	0.006	0.015	1	21.4
7 (36.0m)	表層	0.010	ND	ND	0.16	0.006	0.017	1	21.9
	中層	0.004	0.002	ND	0.19	0.005	0.018	2	21.8
	下層	0.004	0.004	0.002	0.15	0.005	0.018	1	21.6
8 (38.0m)	表層	0.009	ND	ND	0.11	0.005	0.017	ND	22.7
	中層	0.011	0.002	ND	0.16	0.006	0.017	1	21.7
	下層	0.004	0.013	0.009	0.15	0.009	0.019	ND	20.8
9 (35.0m)	表層	0.018	0.002	0.002	0.14	0.003	0.016	1	22.6
	中層	0.010	0.003	0.003	0.17	0.004	0.021	ND	21.7
	下層	ND	0.012	0.007	0.14	0.007	0.019	2	20.5
10 (39.0m)	表層	0.004	0.002	ND	0.12	0.004	0.015	1	22.6
	中層	0.007	0.002	ND	0.14	0.004	0.014	1	22.0
	下層	0.004	0.006	0.003	0.13	0.006	0.016	1	21.5

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m(ただし水深20m未満の場合は海面下1m)である。

2. 「ND」は定量限界未満を示し, 定量限界は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(9)

調査点別水質調査結果 (夏季)

調査者：中国電力㈱ (中電環境テクノ㈱に委託)

調査期日：平成 7年 7月28日

調査点 (水深)	採水層	項目 水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) mg/l	塩分 —	透明度 m
			酸性法	7日性法	酸素量	飽和度			
			—	mg/l	mg/l	%			
11 (43.0m)	表層	8.1	1.6	1.0	7.8	109	ND	32.92	9.0
	中層	8.1	1.5	1.0	7.9	110	ND	32.93	
	下層	8.1	1.5	1.0	7.4	100	ND	33.12	
12 (17.0m)	表層	8.1	1.7	1.1	7.7	107	ND	32.98	9.0
	中層	8.1	1.7	1.0	7.7	106	ND	33.02	
	下層	8.1	1.6	1.0	7.6	104	ND	33.07	
13 (42.0m)	表層	8.1	1.7	0.9	7.8	108	ND	32.93	8.5
	中層	8.1	1.5	0.9	7.7	107	ND	32.98	
	下層	8.1	1.5	0.8	7.7	106	ND	33.02	
14 (44.0m)	表層	8.1	1.9	1.0	7.8	108	ND	33.00	9.0
	中層	8.1	1.6	1.0	7.7	106	ND	33.00	
	下層	8.1	1.6	0.9	7.5	103	ND	33.10	
15 (64.0m)	表層	8.1	1.8	0.9	8.0	112	ND	32.93	9.0
	中層	8.1	1.6	0.9	7.6	105	ND	32.95	
	下層	8.1	1.6	0.9	7.4	102	ND	33.09	
16 (32.0m)	表層	8.1	1.7	1.0	7.5	109	ND	32.59	12.0
	中層	8.1	1.5	1.0	7.8	108	ND	32.75	
	下層	8.1	1.5	1.0	7.6	105	ND	32.96	
17 (38.0m)	表層	8.1	1.7	1.0	7.7	107	ND	32.97	7.8
	中層	8.1	1.6	1.0	7.7	107	ND	32.97	
	下層	8.1	1.6	0.9	7.4	102	ND	33.06	
18 (35.0m)	表層	8.1	1.6	0.9	7.6	108	ND	32.95	8.6
	中層	8.1	1.6	0.9	7.7	106	ND	32.95	
	下層	8.1	1.5	0.9	7.4	101	ND	33.02	
19 (12.0m)	表層	8.1	1.6	1.0	7.6	106	ND	32.94	8.5
	中層	8.1	1.4	1.0	7.8	106	ND	32.98	
	下層	8.1	1.3	1.0	7.5	104	ND	32.97	
20 (26.0m)	表層	8.1	1.5	1.0	7.7	108	ND	32.97	8.5
	中層	8.1	1.5	1.0	7.7	107	ND	32.97	
	下層	8.1	1.4	1.0	7.7	106	ND	33.00	

注：1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下5m、下層は海面下20m (ただし水深20m以浅の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(10)

調査点別水質調査結果(夏季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノ㈱に委託)

調査期日: 平成 7年 7月28日

調査点 (水深)	項目 水層 層位	アンモニア	亜硝酸態	硝酸態	全窒素	りん酸態	全りん	浮遊 物質 (SS)	水温
		(NH ₄ -N)	(NO ₂ -N)	(NO ₃ -N)	(T-N)	(PO ₄ -P)	(T-P)		
		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	℃
11 (43.0m)	表層	0.012	0.003	ND	0.12	0.006	0.014	1	22.2
	中層	0.004	0.002	ND	0.13	0.004	0.014	1	22.2
	下層	0.010	0.007	0.006	0.17	0.006	0.018	1	20.7
12 (17.0m)	表層	0.017	0.002	ND	0.15	0.008	0.018	1	21.9
	中層	0.006	0.001	ND	0.15	0.005	0.017	1	21.4
	下層	0.011	0.004	0.004	0.15	0.006	0.016	1	21.0
13 (42.0m)	表層	0.011	ND	ND	0.13	0.005	0.019	1	22.0
	中層	0.013	0.001	0.003	0.13	0.005	0.014	1	21.9
	下層	0.008	0.003	0.002	0.16	0.006	0.019	1	21.7
14 (44.0m)	表層	0.013	ND	ND	0.16	0.012	0.021	1	22.1
	中層	0.010	0.001	ND	0.14	0.006	0.018	1	21.7
	下層	0.008	0.008	0.006	0.13	0.007	0.020	2	21.3
15 (64.0m)	表層	0.009	ND	ND	0.14	0.005	0.021	1	22.6
	中層	0.006	0.004	0.002	0.13	0.006	0.018	2	21.9
	下層	0.008	0.002	ND	0.12	0.005	0.018	2	21.4
16 (32.0m)	表層	0.010	ND	ND	0.13	0.005	0.013	1	24.7
	中層	0.014	ND	ND	0.13	0.004	0.013	1	22.1
	下層	0.014	ND	ND	0.14	0.006	0.017	1	21.5
17 (38.0m)	表層	0.012	ND	ND	0.19	0.006	0.016	ND	22.2
	中層	0.014	0.002	ND	0.13	0.004	0.016	1	22.1
	下層	0.008	0.004	0.003	0.15	0.006	0.018	2	21.5
18 (35.0m)	表層	0.007	ND	ND	0.12	0.005	0.016	1	23.1
	中層	0.014	ND	0.002	0.12	0.005	0.015	1	21.8
	下層	0.010	0.005	0.005	0.16	0.007	0.018	2	20.9
19 (12.0m)	表層	0.009	ND	0.004	0.13	0.004	0.015	1	22.0
	中層	0.003	ND	ND	0.18	0.004	0.019	2	22.0
	下層	0.004	0.003	ND	0.12	0.005	0.014	2	22.0
20 (26.0m)	表層	0.010	ND	ND	0.17	0.006	0.017	1	22.7
	中層	0.007	ND	ND	0.14	0.005	0.016	ND	22.1
	下層	0.011	0.001	0.003	0.14	0.005	0.019	2	21.7

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下5m、下層は海面下20m(ただし水深20m未満の場所では海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(11)

調査点別水質調査結果(夏季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成 7年 7月28日

調査点 (水深)	項目 採水層 単位	水素化 濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) mg/l	塩分 —	透明度 m
			酸性法	7日培養法	酸素量	飽和度			
			mg/l	mg/l	mg/l	%			
21 (47.0m)	表層	8.1	1.5	1.0	7.6	108	ND	32.95	7.5
	中層	8.1	1.5	1.0	7.7	108	ND	32.95	
	下層	8.1	1.4	1.0	7.7	106	ND	32.97	
22 (42.0m)	表層	8.1	1.5	1.0	7.6	106	ND	32.92	8.0
	中層	8.1	1.5	0.9	7.5	104	ND	32.93	
	下層	8.1	1.4	0.9	7.2	89	ND	33.03	
23 (47.0m)	表層	8.1	1.6	1.1	7.7	109	ND	32.87	6.5
	中層	8.1	1.4	1.0	7.7	107	ND	32.94	
	下層	8.1	1.3	0.9	7.2	98	ND	33.05	
24 (62.0m)	表層	8.1	1.5	1.1	7.6	109	ND	32.97	7.7
	中層	8.1	1.5	1.0	7.7	105	ND	32.93	
	下層	8.1	1.4	1.0	7.3	100	ND	33.09	
25 (51.0m)	表層	8.1	1.5	1.0	7.7	111	ND	32.96	10.0
	中層	8.1	1.5	1.0	7.7	107	ND	32.99	
	下層	8.1	1.5	1.0	7.5	103	ND	33.10	
26 (44.0m)	表層	8.1	1.5	1.1	7.7	108	ND	32.89	8.0
	中層	8.1	1.5	1.1	7.6	105	ND	32.90	
	下層	8.1	1.5	0.9	7.4	102	ND	33.01	
27 (47.0m)	表層	8.1	1.7	1.1	7.5	107	ND	32.94	9.5
	中層	8.1	1.7	1.0	7.6	107	ND	32.87	
	下層	8.1	1.7	1.0	7.4	102	ND	32.99	
28 (42.0m)	表層	8.1	1.7	1.1	7.6	106	ND	32.94	11.0
	中層	8.1	1.7	1.1	7.7	106	ND	32.84	
	下層	8.1	1.5	1.0	7.5	103	ND	33.13	
28 (47.0m)	表層	8.1	1.6	1.0	7.8	112	ND	32.95	11.0
	中層	8.1	1.5	1.0	7.8	108	ND	33.00	
	下層	8.1	1.4	1.0	7.4	100	ND	33.12	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下5m、下層は海面下20m (ただし水深20m未満の場合は海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(12)

調査点別水質調査結果(夏季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成 7年 7月28日

調査点 (水深)	項目 採水層 単位	アモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質量	水温
		(NH ₄ -N)	(NO ₂ -N)	(NO ₃ -N)	(T-N)	(PO ₄ -P)	(T-P)	(SS)	℃
		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
21 (47.0m)	表層	0.006	ND	0.005	0.14	ND	0.018	ND	22.6
	中層	0.012	0.003	ND	0.14	0.004	0.018	ND	22.5
	下層	0.017	0.002	0.003	0.14	0.006	0.020	1	21.8
22 (42.0m)	表層	0.015	0.002	0.003	0.17	0.005	0.021	1	22.2
	中層	0.018	0.002	0.004	0.14	0.004	0.018	1	21.8
	下層	0.005	0.003	0.005	0.13	0.005	0.019	1	21.4
23 (47.0m)	表層	0.009	ND	0.004	0.16	0.003	0.018	1	23.0
	中層	0.010	0.001	0.003	0.13	0.005	0.017	1	21.9
	下層	0.008	0.005	0.003	0.13	0.006	0.018	ND	21.0
24 (62.0m)	表層	0.007	ND	0.002	0.15	0.004	0.012	ND	23.7
	中層	0.004	ND	ND	0.19	0.006	0.013	1	21.8
	下層	0.004	0.010	0.006	0.13	0.007	0.016	ND	21.0
25 (51.0m)	表層	0.004	ND	ND	0.12	0.004	0.012	ND	24.4
	中層	0.007	ND	ND	0.12	0.004	0.013	ND	22.3
	下層	0.009	0.006	0.007	0.13	0.007	0.017	1	21.2
26 (44.0m)	表層	0.006	ND	ND	0.13	0.004	0.020	1	22.5
	中層	0.011	ND	0.002	0.15	0.005	0.020	1	21.9
	下層	0.013	0.005	0.005	0.12	0.007	0.017	2	21.5
27 (47.0m)	表層	0.011	0.001	ND	0.16	0.005	0.016	1	23.5
	中層	0.006	ND	ND	0.14	0.005	0.016	2	22.7
	下層	0.009	0.004	0.003	0.12	0.006	0.016	2	21.4
28 (42.0m)	表層	0.014	0.001	ND	0.13	0.004	0.013	1	22.5
	中層	0.011	0.001	0.002	0.16	0.005	0.018	1	21.7
	下層	0.015	0.006	0.007	0.14	0.007	0.017	2	21.2
29 (47.0m)	表層	0.009	ND	0.002	0.14	0.004	0.015	1	23.8
	中層	0.007	ND	ND	0.12	0.004	0.017	1	22.0
	下層	0.010	0.007	0.005	0.12	0.006	0.017	1	21.0

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は潮面下20m(ただし水深20m以上の場所では海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(13)

調査点別水質調査結果(秋季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成 7年10月24日

調査点 (水深)	採水層	項目	水素イオン 濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) mg/l	塩分 --	透明度 m
				酸性法	7次酸性法	酸素量	飽和度			
				mg/l	mg/l	mg/l	%			
1 (64.0m)	表層	8.1	1.4	1.0	7.1	99	ND	33.28	7.0	
	中層	8.1	1.3	0.9	7.0	98	ND	33.28		
	下層	8.1	1.3	0.8	7.0	98	ND	33.28		
2 (63.0m)	表層	8.1	1.4	1.0	6.9	96	ND	33.30	6.7	
	中層	8.1	1.3	1.0	7.0	98	ND	33.30		
	下層	8.1	1.2	0.9	7.0	98	ND	33.30		
3 (63.0m)	表層	8.1	1.4	1.0	7.0	98	ND	33.28	6.4	
	中層	8.1	1.4	1.0	7.1	99	ND	33.28		
	下層	8.1	1.3	0.9	7.0	98	ND	33.29		
4 (61.0m)	表層	8.1	1.4	1.0	7.0	98	ND	33.28	6.7	
	中層	8.1	1.4	1.0	7.1	99	ND	33.28		
	下層	8.1	1.4	0.9	7.0	98	ND	33.28		
5 (62.0m)	表層	8.1	1.4	1.0	7.0	98	ND	33.27	7.4	
	中層	8.1	1.3	1.0	7.0	98	ND	33.28		
	下層	8.1	1.3	0.9	7.0	96	ND	33.28		
6 (14.0m)	表層	8.1	1.6	1.0	7.0	98	ND	33.28	6.5	
	中層	8.1	1.4	1.0	7.1	99	ND	33.28		
	下層	8.1	1.4	0.9	7.0	98	ND	33.29		
7 (39.0m)	表層	8.1	1.6	1.0	7.1	99	ND	33.27	7.0	
	中層	8.1	1.6	1.0	7.1	99	ND	33.27		
	下層	8.1	1.5	0.9	7.0	98	ND	33.30		
8 (38.0m)	表層	8.1	1.6	1.0	7.1	99	ND	33.27	6.0	
	中層	8.1	1.4	1.0	7.1	99	ND	33.29		
	下層	8.1	1.3	0.9	7.0	98	ND	33.30		
9 (37.0m)	表層	8.1	1.6	1.0	7.1	99	ND	33.27	7.7	
	中層	8.1	1.4	1.0	7.1	99	ND	33.29		
	下層	8.1	1.4	0.9	7.0	98	ND	33.29		
10 (42.0m)	表層	8.1	1.5	1.0	7.1	99	ND	33.27	6.4	
	中層	8.1	1.5	1.0	7.0	98	ND	33.27		
	下層	8.1	1.4	0.8	7.1	99	ND	33.27		

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以浅の場所では海面上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(14)

調査点別水質調査結果(秋季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成7年10月24日

調査点 (水深)	採水層	項目 単位	アンモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質	水温
			(NH ₄ -N)	(NO ₂ -N)	(NO ₃ -N)	(T-N)	(PO ₄ -P)	(T-P)	(SS)	℃
			mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	℃
1 (54.0m)	表層		0.027	0.006	0.006	0.15	0.013	0.021	2	22.1
	中層		0.012	0.005	0.004	0.14	0.012	0.020	1	22.1
	下層		0.012	0.005	0.004	0.16	0.013	0.022	1	22.1
2 (63.0m)	表層		0.005	0.004	0.004	0.19	0.008	0.021	1	22.1
	中層		0.007	0.004	0.004	0.16	0.011	0.021	2	22.1
	下層		0.012	0.005	0.005	0.17	0.011	0.023	2	22.1
3 (53.0m)	表層		0.012	0.004	0.007	0.15	0.012	0.022	2	22.1
	中層		0.013	0.004	0.004	0.16	0.013	0.024	2	22.1
	下層		0.010	0.005	0.004	0.19	0.011	0.026	1	22.1
4 (51.0m)	表層		0.013	0.004	0.005	0.16	0.014	0.024	1	22.1
	中層		0.018	0.004	0.004	0.16	0.015	0.024	2	22.1
	下層		0.012	0.005	0.004	0.16	0.013	0.023	2	22.1
5 (52.0m)	表層		0.012	0.005	0.004	0.14	0.012	0.021	1	22.1
	中層		0.012	0.005	0.004	0.15	0.014	0.023	1	22.1
	下層		0.014	0.006	0.005	0.16	0.014	0.022	2	22.1
6 (14.0m)	表層		0.018	0.004	0.004	0.14	0.015	0.023	2	22.1
	中層		0.018	0.004	0.005	0.16	0.014	0.023	2	22.1
	下層		0.020	0.005	0.004	0.14	0.015	0.024	2	22.1
7 (39.0m)	表層		0.018	0.006	0.006	0.16	0.013	0.020	2	22.1
	中層		0.018	0.005	0.007	0.17	0.012	0.022	2	22.2
	下層		0.021	0.006	0.005	0.15	0.013	0.021	2	22.2
8 (38.0m)	表層		0.018	0.005	0.004	0.14	0.014	0.021	2	22.1
	中層		0.010	0.005	0.003	0.14	0.010	0.021	2	22.1
	下層		0.011	0.006	0.004	0.15	0.013	0.022	2	22.2
9 (37.0m)	表層		0.011	0.004	0.003	0.17	0.012	0.025	1	22.1
	中層		0.015	0.004	0.004	0.16	0.012	0.022	2	22.1
	下層		0.018	0.004	0.004	0.16	0.013	0.021	2	22.2
10 (42.0m)	表層		0.011	0.005	0.006	0.16	0.010	0.022	3	22.1
	中層		0.013	0.005	0.006	0.16	0.011	0.021	2	22.1
	下層		0.011	0.005	0.009	0.16	0.010	0.020	2	22.1

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以浅の場所では海面上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(15)

調査点別水質調査結果(秋季)

調査者: 中電電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成7年10月24日

調査点 (水深)	採水層	項目 単位	水素イオン濃度	化学的酸素要求量(COD)		溶解酸素量(DO)		n-ヘキサン抽出物質(油分等)	塩分	透明度
			(pH)	酸性法	7日性法	酸素量	飽和度			
			—	mg/l	mg/l	mg/l	%			
11 (44.0m)	表層		8.1	1.5	1.0	7.0	98	ND	33.29	6.7
	中層		8.1	1.4	0.9	7.1	99	ND	33.29	
	下層		8.1	1.4	0.8	7.0	98	ND	33.31	
12 (15.0m)	表層		8.1	1.5	1.0	7.1	99	ND	33.29	5.8
	中層		8.1	1.4	1.0	7.1	99	ND	33.29	
	下層		8.1	1.3	0.9	7.1	99	ND	33.29	
13 (39.0m)	表層		8.1	1.4	1.0	7.1	99	ND	33.26	6.2
	中層		8.1	1.3	1.0	7.1	99	ND	33.26	
	下層		8.1	1.3	0.9	7.1	99	ND	33.26	
14 (42.0m)	表層		8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.26	6.8
	中層		8.1	1.4	0.9	7.1	99	ND	33.27	
	下層		8.1	1.3	0.9	7.0	98	ND	33.34	
15 (64.0m)	表層		8.1	1.5	1.0	7.1	99	ND	33.26	6.8
	中層		8.1	1.4	0.9	7.1	99	ND	33.26	
	下層		8.1	1.4	0.9	7.0	98	ND	33.28	
16 (33.0m)	表層		8.1	1.5	1.0	7.1	99	ND	33.26	7.0
	中層		8.1	1.4	1.0	7.1	99	ND	33.26	
	下層		8.1	1.4	0.9	7.0	97	ND	33.26	
17 (37.0m)	表層		8.1	1.6	1.0	7.0	98	ND	33.27	6.2
	中層		8.1	1.5	0.9	7.0	98	ND	33.30	
	下層		8.1	1.5	0.8	7.0	98	ND	33.30	
18 (34.0m)	表層		8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.28	6.5
	中層		8.1	1.5	0.9	6.8	95	ND	33.30	
	下層		8.1	1.4	0.8	7.0	98	ND	33.30	
19 (14.0m)	表層		8.1	1.5	1.0	7.1	99	ND	33.29	6.5
	中層		8.1	1.5	1.0	7.1	99	ND	33.29	
	下層		8.1	1.4	0.9	7.0	98	ND	33.29	
20 (29.0m)	表層		8.1	1.5	1.0	6.8	95	ND	33.27	6.7
	中層		8.1	1.4	1.0	7.0	98	ND	33.27	
	下層		8.1	1.3	0.9	7.0	98	ND	33.27	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下5m、下層は海面下20m(ただし水深20m以上の場所では海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(16)

調査点別水質調査結果(秋季)

調査者:中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日:平成7年10月24日

調査点 (水深)	採水層	項目	アンモニア態窒素 (NH ₄ -N)	亜硝酸態窒素 (NO ₂ -N)	硝酸態窒素 (NO ₃ -N)	全窒素 (T-N)	りん酸態りん (PO ₄ -P)	全りん (T-P)	浮遊物質量 (SS)	水温
			mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	℃
11 (44.0m)	表層		0.005	0.008	0.002	0.15	0.010	0.023	3	22.1
	中層		0.005	0.006	0.005	0.15	0.011	0.021	2	22.2
	下層		0.008	0.006	0.006	0.18	0.011	0.024	1	22.2
12 (15.0m)	表層		0.008	0.003	0.004	0.16	0.010	0.025	2	22.2
	中層		0.015	0.004	0.004	0.15	0.011	0.021	2	22.2
	下層		0.008	0.004	0.003	0.16	0.010	0.022	3	22.2
13 (39.0m)	表層		0.008	0.004	0.004	0.14	0.011	0.021	1	22.1
	中層		0.010	0.004	0.004	0.18	0.010	0.022	2	22.2
	下層		0.019	0.004	0.005	0.16	0.011	0.021	2	22.2
14 (42.0m)	表層		0.012	0.005	0.004	0.18	0.010	0.022	1	22.1
	中層		0.010	0.005	0.003	0.17	0.009	0.024	2	22.2
	下層		0.006	0.005	0.004	0.15	0.010	0.023	1	22.2
15 (64.0m)	表層		0.011	0.005	0.005	0.15	0.010	0.023	1	22.1
	中層		0.008	0.006	0.005	0.16	0.010	0.023	2	22.2
	下層		0.005	0.005	0.004	0.15	0.008	0.023	2	22.2
16 (33.0m)	表層		0.003	0.003	0.003	0.15	0.014	0.025	2	22.0
	中層		ND	0.003	0.003	0.15	0.014	0.025	2	22.0
	下層		0.008	0.004	0.003	0.16	0.015	0.024	2	22.0
17 (37.0m)	表層		0.006	0.005	0.004	0.18	0.011	0.023	2	22.1
	中層		0.007	0.006	0.005	0.15	0.009	0.023	2	22.2
	下層		0.007	0.006	0.005	0.18	0.011	0.023	2	22.2
18 (34.0m)	表層		0.007	0.005	0.004	0.14	0.011	0.021	2	22.2
	中層		0.006	0.005	0.006	0.16	0.009	0.025	2	22.2
	下層		0.010	0.006	0.005	0.18	0.010	0.024	3	22.2
19 (14.0m)	表層		0.008	0.005	0.004	0.16	0.011	0.023	2	22.1
	中層		0.021	0.005	0.004	0.18	0.013	0.024	2	22.2
	下層		0.018	0.005	0.007	0.18	0.010	0.025	2	22.2
20 (29.0m)	表層		0.013	0.004	0.006	0.15	0.010	0.023	1	22.1
	中層		0.010	0.005	0.004	0.16	0.012	0.022	2	22.1
	下層		0.007	0.006	0.004	0.18	0.010	0.022	1	22.2

注:1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m(ただし水深20m以上の場所では海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(17)

調査点別水質調査結果(秋季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成 7年10月24日

調査点 (水深)	採水層 単位	項目 水素イオン 濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) mg/l	塩分 —	透明度 m
			酸性法 mg/l	5日性法 mg/l	酸素量 mg/l	飽和度 %			
			—	—	—	—			
21 (47.0m)	表層	8.1	1.6	1.0	7.1	99	ND	33.30	7.2
	中層	8.1	1.4	1.0	7.1	99	ND	33.30	
	下層	8.1	1.4	0.9	7.1	99	ND	33.31	
22 (41.0m)	表層	8.1	1.5	1.0	7.1	99	ND	33.28	6.4
	中層	8.1	1.4	0.9	7.0	98	ND	33.28	
	下層	8.1	1.4	0.8	7.1	99	ND	33.29	
23 (48.0m)	表層	8.1	1.6	0.8	7.1	99	ND	33.28	7.0
	中層	8.1	1.6	0.8	7.1	99	ND	33.29	
	下層	8.1	1.5	0.8	7.1	99	ND	33.29	
24 (61.0m)	表層	8.1	1.5	0.9	7.0	98	ND	33.30	8.0
	中層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.30	
	下層	8.1	1.5	0.8	7.0	98	ND	33.30	
25 (52.0m)	表層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.29	7.0
	中層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.29	
	下層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.32	
26 (44.0m)	表層	8.1	1.5	0.9	7.2	100	ND	33.31	10.0
	中層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.31	
	下層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.34	
27 (47.0m)	表層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.33	8.8
	中層	8.1	1.5	0.9	7.2	101	ND	33.33	
	下層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.33	
28 (39.0m)	表層	8.1	1.6	0.9	7.3	102	ND	33.27	6.5
	中層	8.1	1.5	0.9	7.2	100	ND	33.27	
	下層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.29	
29 (48.0m)	表層	8.1	1.6	0.9	7.3	102	ND	33.32	6.2
	中層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.32	
	下層	8.1	1.5	0.9	7.1	99	ND	33.32	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以浅の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(18)

調査点別水質調査結果(秋季)

調査者: 中国電力株式会社(中電環境テクノス機に委託)

調査期日: 平成7年10月24日

調査点 (水深)	項目 水層 位置	アンモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質	水温
		(NH ₄ -N)	(NO ₂ -N)	(NO ₃ -N)	(T-N)	(PO ₄ -P)	(T-P)	(SS)	℃
		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
21 (47.0m)	表層	0.006	0.006	ND	0.17	0.011	0.022	1	22.1
	中層	0.006	0.006	0.003	0.17	0.009	0.023	1	22.2
	下層	0.005	0.005	0.002	0.15	0.012	0.022	1	22.2
22 (41.0m)	表層	0.013	0.003	0.003	0.16	0.009	0.023	1	22.1
	中層	0.010	0.004	0.004	0.14	0.009	0.025	1	22.1
	下層	0.011	0.003	ND	0.17	0.009	0.023	2	22.2
23 (48.0m)	表層	0.022	0.003	0.004	0.16	0.012	0.021	1	22.2
	中層	0.009	0.004	0.003	0.16	0.010	0.023	1	22.2
	下層	0.009	0.004	0.003	0.15	0.010	0.022	1	22.2
24 (61.0m)	表層	0.009	0.004	0.005	0.15	0.010	0.024	1	22.2
	中層	0.012	0.004	0.004	0.15	0.011	0.023	1	22.2
	下層	0.012	0.005	0.004	0.14	0.013	0.022	1	22.2
25 (52.0m)	表層	0.013	0.005	0.004	0.15	0.011	0.022	ND	22.2
	中層	0.006	0.005	0.005	0.15	0.009	0.021	ND	22.2
	下層	0.008	0.004	0.004	0.14	0.010	0.023	ND	22.2
26 (44.0m)	表層	0.010	0.004	0.002	0.16	0.010	0.020	ND	22.1
	中層	0.008	0.003	0.003	0.18	0.009	0.022	ND	22.2
	下層	0.005	0.004	ND	0.15	0.008	0.021	1	22.2
27 (47.0m)	表層	0.006	0.004	0.004	0.18	0.009	0.024	ND	22.2
	中層	0.012	0.004	0.005	0.14	0.012	0.022	ND	22.2
	下層	0.004	0.004	ND	0.14	0.007	0.023	1	22.2
28 (39.0m)	表層	0.009	0.004	0.004	0.16	0.010	0.025	2	22.1
	中層	0.008	0.004	0.003	0.17	0.010	0.021	2	22.1
	下層	0.003	0.004	0.002	0.16	0.008	0.021	1	22.1
29 (48.0m)	表層	0.011	0.005	0.008	0.18	0.010	0.023	1	22.2
	中層	0.008	0.005	0.005	0.16	0.011	0.022	2	22.2
	下層	0.010	0.005	0.005	0.15	0.010	0.022	1	22.2

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(19)

調査点別水質調査結果(冬季)

調査者: 中国電力㈱ [中環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成 8年 1月20日

調査点 (水深)	採水層 単位	水質	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等)	塩分	透明度
		濃度	(COD)		(DO)				
		(pH)	酸性法	7491性法	酸素量	飽和度			
		mg/l	mg/l	mg/l	%	mg/l		m	
1 (65.0m)	表層	8.2	1.6	1.0	9.3	107	ND	33.60	9.5
	中層	8.2	1.5	1.0	9.3	107	ND	33.61	
	下層	8.2	1.5	0.9	9.2	106	ND	33.64	
2 (61.0m)	表層	8.2	1.5	0.9	9.2	106	ND	33.65	10.0
	中層	8.2	1.5	0.9	9.2	106	ND	33.65	
	下層	8.2	1.5	0.9	9.1	105	ND	33.65	
3 (52.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.2	106	ND	33.69	11.0
	中層	8.2	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.70	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.72	
4 (49.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.0	104	ND	33.66	11.0
	中層	8.2	1.5	1.0	9.1	105	ND	33.66	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.66	
5 (53.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.1	105	ND	33.66	10.0
	中層	8.2	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.66	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.0	104	ND	33.66	
6 (15.0m)	表層	8.2	1.5	0.9	9.0	104	ND	33.66	11.0
	中層	8.2	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.66	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.66	
7 (36.0m)	表層	8.2	1.5	0.9	9.2	106	ND	33.65	10.0
	中層	8.3	1.4	0.9	9.3	108	ND	33.65	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.3	107	ND	33.65	
8 (38.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.2	106	ND	33.66	10.0
	中層	8.3	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.66	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.66	
9 (36.0m)	表層	8.2	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.66	9.8
	中層	8.2	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.66	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.66	
10 (39.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.2	106	ND	33.67	10.0
	中層	8.2	1.4	1.0	9.1	105	ND	33.67	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.67	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m未満の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(20)

調査点別水質調査結果(冬季)

調査者: 中国電力株式会社(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成8年1月20日

調査点 (水深)	水層	項目	アンモニア態 窒素 (NH ₄ -N)	亜硝酸態 窒素 (NO ₂ -N)	硝酸態 窒素 (NO ₃ -N)	全窒素 (T-N)	りん酸態 りん (PO ₄ -P)	全りん (T-P)	浮遊 物質 (SS)	水温
			mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	℃
1 (65.0m)	表層		0.021	0.007	0.009	0.19	0.010	0.018	ND	12.4
	中層		0.018	0.004	0.012	0.15	0.008	0.022	1	12.3
	下層		0.016	0.005	0.011	0.15	0.008	0.019	1	12.2
2 (61.0m)	表層		0.018	0.005	0.009	0.15	0.010	0.021	1	12.3
	中層		0.020	0.005	0.010	0.14	0.009	0.022	1	12.3
	下層		0.025	0.004	0.012	0.14	0.013	0.020	2	12.2
3 (62.0m)	表層		0.019	0.005	0.012	0.15	0.011	0.020	2	12.3
	中層		0.013	0.005	0.011	0.13	0.008	0.020	1	12.3
	下層		0.017	0.006	0.014	0.15	0.010	0.019	1	12.3
4 (49.0m)	表層		0.022	0.005	0.010	0.14	0.011	0.018	ND	12.3
	中層		0.015	0.004	0.010	0.16	0.012	0.020	1	12.3
	下層		0.023	0.004	0.011	0.13	0.010	0.022	2	12.3
5 (53.0m)	表層		0.020	0.008	0.011	0.15	0.011	0.022	ND	12.2
	中層		0.012	0.006	0.010	0.14	0.009	0.022	1	12.2
	下層		0.025	0.006	0.011	0.14	0.013	0.023	2	12.2
6 (15.0m)	表層		0.022	0.005	0.012	0.17	0.013	0.023	1	12.3
	中層		0.005	0.004	0.010	0.13	0.008	0.020	1	12.3
	下層		0.014	0.005	0.011	0.13	0.009	0.021	2	12.3
7 (36.0m)	表層		0.028	0.005	0.011	0.14	0.008	0.021	1	12.4
	中層		0.015	0.004	0.010	0.14	0.012	0.020	1	12.4
	下層		0.009	0.004	0.012	0.14	0.008	0.021	1	12.3
8 (38.0m)	表層		0.017	0.004	0.011	0.14	0.010	0.020	2	12.3
	中層		0.013	0.004	0.010	0.12	0.008	0.021	1	12.2
	下層		0.021	0.006	0.013	0.12	0.010	0.020	2	12.2
9 (36.0m)	表層		0.005	0.005	0.012	0.14	0.009	0.017	1	12.3
	中層		0.015	0.006	0.012	0.12	0.010	0.022	1	12.3
	下層		0.014	0.006	0.014	0.14	0.009	0.020	ND	12.3
10 (39.0m)	表層		0.023	0.007	0.012	0.14	0.010	0.020	1	12.3
	中層		0.015	0.009	0.012	0.15	0.009	0.022	1	12.3
	下層		0.029	0.005	0.013	0.15	0.010	0.025	ND	12.3

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m未満の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(21)

調査点別水質調査結果(冬季)

調査者: 中国電力株式会社(中電環境テクノス株式会社委託)

調査期日: 平成 8年 1月20日

調査点 (水深)	採水層	項目 水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶解酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) mg/l	塩分 —	透明度 m
			酸性法 mg/l	7431性法 mg/l	酸素量 mg/l	飽和度 %			
			—	—	—	—			
11 (45.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.2	106	ND	33.66	9.5
	中層	8.3	1.4	1.0	9.2	106	ND	33.66	
	下層	8.3	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.66	
12 (15.0m)	表層	8.3	1.5	1.0	9.2	106	ND	33.66	10.0
	中層	8.3	1.5	1.0	9.1	105	ND	33.66	
	下層	8.3	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.67	
13 (42.0m)	表層	8.2	1.6	1.0	9.1	105	ND	33.67	12.0
	中層	8.2	1.5	1.0	9.1	105	ND	33.67	
	下層	8.2	1.5	1.0	9.1	105	ND	33.67	
14 (41.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.2	106	ND	33.66	10.0
	中層	8.3	1.5	0.9	9.2	106	ND	33.66	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.66	
15 (63.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.1	105	ND	33.67	9.9
	中層	8.2	1.4	1.0	9.1	105	ND	33.67	
	下層	8.2	1.4	1.0	9.1	105	ND	33.67	
16 (34.0m)	表層	8.3	1.5	1.1	9.2	106	ND	33.66	11.0
	中層	8.3	1.5	1.1	9.2	106	ND	33.66	
	下層	8.3	1.4	1.1	9.2	106	ND	33.66	
17 (39.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.2	106	ND	33.65	12.0
	中層	8.2	1.5	0.9	9.2	106	ND	33.65	
	下層	8.2	1.5	0.9	9.1	105	ND	33.65	
18 (38.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.1	105	ND	33.60	12.0
	中層	8.2	1.5	1.0	9.2	106	ND	33.61	
	下層	8.2	1.4	1.0	9.0	104	ND	33.63	
19 (14.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.1	105	ND	33.66	12.0
	中層	8.2	1.4	1.0	9.1	105	ND	33.66	
	下層	8.2	1.4	1.0	9.1	105	ND	33.66	
20 (29.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.1	105	ND	33.66	13.0
	中層	8.2	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.66	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.66	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(22)

調査点別水質調査結果(冬季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成 8年 1月20日

調査点 (水深)	採水層	項目 層位	アンモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質	水温 ℃
			(NH ₄ -N) mg/l	(NO ₂ -N) mg/l	(NO ₃ -N) mg/l	(T-N) mg/l	(PO ₄ -P) mg/l	(T-P) mg/l	(SS) mg/l	
11 (45.0m)	表層		0.005	0.003	0.008	0.13	0.006	0.019	ND	12.2
	中層		0.013	0.005	0.012	0.13	0.010	0.020	ND	12.2
	下層		ND	0.004	0.009	0.12	0.007	0.018	1	12.2
12 (15.0m)	表層		0.013	0.004	0.011	0.14	0.010	0.024	ND	12.3
	中層		0.012	0.004	0.011	0.15	0.005	0.022	1	12.3
	下層		0.029	0.005	0.014	0.15	0.007	0.021	1	12.3
13 (42.0m)	表層		0.042	0.008	0.018	0.19	0.008	0.019	1	12.3
	中層		0.020	0.006	0.015	0.15	0.007	0.019	1	12.3
	下層		0.008	0.004	0.011	0.14	0.006	0.021	ND	12.3
14 (41.0m)	表層		0.022	0.005	0.011	0.16	0.006	0.022	ND	12.3
	中層		0.024	0.005	0.011	0.14	0.007	0.018	1	12.3
	下層		0.015	0.006	0.012	0.14	0.007	0.023	ND	12.3
15 (63.0m)	表層		0.013	0.005	0.012	0.14	0.008	0.021	1	12.3
	中層		0.013	0.006	0.012	0.15	0.007	0.023	1	12.3
	下層		0.022	0.007	0.015	0.15	0.011	0.020	1	12.3
16 (34.0m)	表層		0.013	0.004	0.009	0.13	0.007	0.021	2	12.1
	中層		0.017	0.006	0.010	0.13	0.008	0.019	1	12.1
	下層		0.011	0.004	0.009	0.12	0.007	0.019	ND	12.1
17 (39.0m)	表層		0.011	0.005	0.011	0.13	0.012	0.018	1	12.4
	中層		0.016	0.007	0.012	0.14	0.013	0.024	1	12.4
	下層		0.019	0.006	0.012	0.15	0.015	0.025	2	12.3
18 (38.0m)	表層		0.012	0.006	0.011	0.13	0.010	0.018	ND	12.3
	中層		0.017	0.006	0.013	0.14	0.011	0.022	1	12.3
	下層		0.020	0.005	0.012	0.14	0.010	0.022	1	12.3
19 (14.0m)	表層		0.020	0.007	0.013	0.14	0.010	0.022	1	12.3
	中層		0.013	0.005	0.014	0.13	0.011	0.022	ND	12.3
	下層		0.029	0.006	0.014	0.16	0.012	0.021	1	12.3
20 (29.0m)	表層		0.018	0.007	0.011	0.16	0.010	0.022	2	12.3
	中層		0.024	0.005	0.013	0.15	0.010	0.021	1	12.3
	下層		0.015	0.005	0.012	0.14	0.010	0.025	2	12.3

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(23)

調査点別水質調査結果(冬季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成 8年 1月20日

調査点 (水深)	項目 水層 単位	水素イオン濃度	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	塩分	透明度
		(pH)	酸性法	7対性法	酸素量	飽和度			
		—	mg/l	ng/l	ng/l	%			
21 (50.0m)	表層	8.2	1.4	1.0	9.1	105	ND	33.65	12.0
	中層	8.2	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.65	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.65	
22 (44.0m)	表層	8.2	1.6	1.0	9.0	104	ND	33.62	11.0
	中層	8.2	1.5	0.9	9.1	105	ND	33.62	
	下層	8.2	1.5	0.8	9.0	104	ND	33.65	
23 (47.0m)	表層	8.2	1.5	0.9	9.2	106	ND	33.62	12.0
	中層	8.2	1.5	0.9	9.3	107	ND	33.62	
	下層	8.2	1.5	0.9	9.1	105	ND	33.64	
24 (62.0m)	表層	8.2	1.5	1.0	9.2	106	ND	33.64	12.0
	中層	8.2	1.5	0.9	9.2	106	ND	33.65	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.0	104	ND	33.65	
25 (54.0m)	表層	8.2	1.4	0.9	9.4	109	ND	33.66	12.0
	中層	8.3	1.4	0.9	9.3	107	ND	33.66	
	下層	8.3	1.4	0.9	9.0	104	ND	33.69	
26 (44.0m)	表層	8.2	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.65	11.0
	中層	8.2	1.4	0.9	9.1	105	ND	33.66	
	下層	8.2	1.4	0.9	9.0	104	ND	33.68	
27 (49.0m)	表層	8.3	1.5	0.9	9.3	107	ND	33.67	12.0
	中層	8.2	1.4	0.8	9.2	106	ND	33.67	
	下層	8.3	1.4	0.8	9.1	105	ND	33.69	
28 (41.0m)	表層	8.3	1.5	0.9	9.1	105	ND	33.66	11.0
	中層	8.3	1.4	0.9	9.2	106	ND	33.66	
	下層	8.3	1.4	0.8	9.1	105	ND	33.66	
29 (50.0m)	表層	8.3	1.4	0.9	9.2	107	ND	33.73	12.0
	中層	8.3	1.4	0.9	9.0	104	ND	33.73	
	下層	8.2	1.4	0.8	9.1	105	ND	33.73	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下5m、下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-3表(24)

調査点別水質調査結果(冬季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成 8年 1月20日

調査点 (水深)	採水層	項目	アンモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質	水温
		濃度	(NH ₄ -N)	(NO ₂ -N)	(NO ₃ -N)	(T-N)	(PO ₄ -P)	(T-P)	(SS)	℃
			mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
21 (50.0m)	表層		0.004	0.005	0.011	0.11	0.011	0.019	1	12.3
	中層		0.008	0.004	0.012	0.12	0.012	0.023	1	12.3
	下層		0.008	0.005	0.012	0.13	0.011	0.021	1	12.3
22 (44.0m)	表層		0.007	0.004	0.013	0.13	0.007	0.021	1	12.3
	中層		0.008	0.004	0.011	0.14	0.008	0.022	1	12.3
	下層		0.007	0.005	0.010	0.12	0.008	0.020	1	12.3
23 (47.0m)	表層		0.005	0.004	0.010	0.13	0.008	0.020	ND	12.4
	中層		0.013	0.004	0.013	0.15	0.009	0.024	ND	12.4
	下層		0.011	0.004	0.012	0.17	0.009	0.022	1	12.4
24 (62.0m)	表層		0.009	0.005	0.010	0.11	0.008	0.018	ND	12.3
	中層		0.008	0.004	0.010	0.14	0.008	0.022	ND	12.3
	下層		0.006	0.005	0.011	0.13	0.008	0.021	ND	12.3
25 (54.0m)	表層		0.004	0.005	0.011	0.11	0.007	0.017	ND	12.4
	中層		0.003	0.005	0.009	0.12	0.007	0.017	1	12.3
	下層		0.004	0.005	0.013	0.13	0.007	0.020	ND	12.3
26 (44.0m)	表層		0.012	0.005	0.014	0.13	0.008	0.016	ND	12.3
	中層		0.005	0.005	0.010	0.11	0.007	0.018	ND	12.3
	下層		0.007	0.004	0.010	0.14	0.008	0.023	2	12.3
27 (49.0m)	表層		0.004	0.004	0.010	0.13	0.007	0.019	1	12.3
	中層		0.005	0.005	0.010	0.13	0.008	0.018	1	12.3
	下層		0.006	0.006	0.014	0.14	0.008	0.021	1	12.3
28 (41.0m)	表層		0.005	0.005	0.011	0.13	0.008	0.021	ND	12.4
	中層		ND	0.004	0.011	0.14	0.008	0.019	1	12.4
	下層		0.005	0.005	0.010	0.12	0.009	0.019	2	12.4
29 (50.0m)	表層		0.005	0.006	0.012	0.12	0.008	0.016	ND	12.5
	中層		0.007	0.005	0.015	0.13	0.008	0.024	ND	12.5
	下層		0.007	0.006	0.016	0.13	0.008	0.019	ND	12.4

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以浅の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-4表(1)

水質調査結果(平成18・19年)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

項目	単位	調査用区 区分	春 季 (平成18年4月14日)			夏 季 (平成18年7月25日)			秋 季 (平成18年10月20日)			冬 季 (平成19年1月19日)			年 間			
			最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	
			取水層															
水素イオン濃度 (pH)	-	-	表層	8.2	8.1	8.2	8.1	8.0	8.1	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.1	8.2	8.0	8.1
			中層	8.2	8.2	8.2	8.1	8.0	8.0	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.1	8.2	8.0	8.1
			下層	8.2	8.1	8.2	8.0	8.0	8.0	8.2	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.2	8.0	8.1
			全層	8.2	8.1	8.2	8.1	8.0	8.0	8.2	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.2	8.0	8.1
化学的酸素 要求量 (COD)	酸性法	mg/l	表層	1.5	1.2	1.3	1.7	1.5	1.6	1.7	1.4	1.5	1.6	1.4	1.5	1.7	1.2	1.5
			中層	1.4	1.3	1.3	1.7	1.6	1.7	1.7	1.5	1.6	1.7	1.4	1.5	1.7	1.3	1.6
			下層	1.5	1.2	1.3	1.8	1.6	1.7	1.6	1.4	1.5	1.7	1.6	1.6	1.8	1.3	1.5
			全層	1.5	1.2	1.3	1.8	1.5	1.7	1.7	1.4	1.5	1.7	1.4	1.6	1.8	1.2	1.5
	アルカリ 性法	mg/l	表層	0.8	0.6	0.7	0.9	0.8	0.9	0.7	0.6	0.7	0.7	0.5	0.7	0.9	0.6	0.7
			中層	0.8	0.6	0.7	0.9	0.8	0.9	0.7	0.6	0.7	0.8	0.6	0.7	0.9	0.5	0.7
			下層	0.7	0.6	0.6	0.9	0.7	0.8	0.7	0.6	0.6	0.8	0.6	0.7	0.9	0.6	0.7
			全層	0.8	0.6	0.7	0.9	0.7	0.9	0.7	0.6	0.7	0.8	0.5	0.7	0.9	0.5	0.7
溶存 酸素量 (DO)	酸素量	mg/l	表層	8.9	8.8	8.8	8.0	7.4	7.7	7.1	6.8	6.9	8.5	8.5	8.5	8.9	6.8	8.0
			中層	8.9	8.8	8.8	7.5	7.1	7.3	7.0	6.7	6.8	8.5	8.4	8.5	8.9	6.7	7.9
			下層	9.0	8.8	8.8	7.2	6.8	6.9	6.8	6.6	6.7	8.5	8.4	8.5	9.0	6.6	7.7
			全層	9.0	8.8	8.8	8.0	6.8	7.3	7.1	6.6	6.8	8.5	8.4	8.5	9.0	6.6	7.9
	飽和度	%	表層	101	100	100	110	101	105	100	96	97	101	101	101	110	96	101
			中層	102	100	101	102	98	98	99	95	96	101	100	101	102	95	99
			下層	102	100	100	97	91	93	96	93	95	101	100	101	102	91	97
			全層	102	100	100	110	91	99	100	93	96	101	100	101	110	91	99
n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	mg/l	表層	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		中層	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		下層	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		全層	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
塩 分	-	表層	33.60	33.52	33.55	31.88	31.22	31.47	32.49	32.36	32.43	33.13	33.11	33.12	33.60	31.22	32.64	
		中層	33.63	33.50	33.57	32.30	31.82	32.08	32.51	32.39	32.45	33.15	33.12	33.13	33.63	31.82	32.81	
		下層	33.73	33.59	33.63	32.45	32.20	32.38	32.51	32.42	32.48	33.15	33.11	33.13	33.73	32.20	32.90	
		全層	33.73	33.50	33.58	32.46	31.22	31.97	32.51	32.36	32.45	33.15	33.11	33.13	33.73	31.22	32.78	
透 明 度	m	-	14.0	11.0	12.3	9.5	8.0	8.6	11.0	10.0	10.8	11.0	8.0	9.4	14.0	8.0	10.3	

注: 1. 採水層の表層は海面下 0.5m, 中層は海面下 5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

3. 平均値の算出に当たっては「ND」を定量限界値として計算した。ただし, 全調査点で定量限界値未満の場合は, 平均値も「ND」と表示した。

第2.2.1.2-4表(2)

水質調査結果(平成18・19年)

調査者:中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

項目	単位	調査層 区分	春 季 (平成18年4月14日)			夏 季 (平成18年7月25日)			秋 季 (平成18年10月20日)			冬 季 (平成19年1月19日)			年 間		
			最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
			採水層														
アンモニア態窒素 (NH ₄ -N)	mg/l	表層	0.020	0.017	0.018	0.016	0.009	0.012	0.010	0.008	0.008	0.015	ND	0.007	0.020	ND	0.011
		中層	0.027	0.017	0.021	0.023	0.007	0.014	0.013	0.006	0.009	0.021	0.006	0.011	0.027	0.006	0.014
		下層	0.023	0.018	0.020	0.017	0.006	0.011	0.013	0.005	0.009	0.015	0.006	0.010	0.023	0.006	0.013
		全層	0.027	0.017	0.020	0.023	0.005	0.012	0.013	0.005	0.008	0.021	ND	0.010	0.027	ND	0.013
亜硝酸態窒素 (NO ₂ -N)	mg/l	表層	0.001	0.001	0.001	0.005	ND	0.002	0.007	0.005	0.006	0.008	0.008	0.008	0.008	ND	0.004
		中層	0.001	0.001	0.001	0.005	ND	0.003	0.008	0.006	0.007	0.008	0.008	0.008	0.008	ND	0.005
		下層	0.001	0.001	0.001	0.011	0.002	0.007	0.009	0.007	0.008	0.008	0.007	0.008	0.011	ND	0.006
		全層	0.001	0.001	0.001	0.011	ND	0.004	0.009	0.005	0.007	0.008	0.007	0.008	0.011	ND	0.005
硝酸態窒素 (NO ₃ -N)	mg/l	表層	0.004	0.003	0.003	0.006	ND	0.003	0.013	0.007	0.010	0.045	0.042	0.043	0.045	ND	0.015
		中層	0.004	0.002	0.003	0.009	ND	0.004	0.013	0.009	0.011	0.044	0.043	0.043	0.044	ND	0.015
		下層	0.004	0.003	0.003	0.027	0.003	0.015	0.014	0.011	0.012	0.046	0.039	0.042	0.046	0.003	0.018
		全層	0.004	0.002	0.003	0.027	ND	0.007	0.014	0.007	0.011	0.046	0.039	0.043	0.046	ND	0.018
全 窒 素 (T-N)	mg/l	表層	0.16	0.14	0.15	0.11	0.10	0.10	0.13	0.12	0.12	0.11	0.09	0.10	0.16	0.09	0.12
		中層	0.15	0.13	0.14	0.14	0.11	0.12	0.13	0.12	0.12	0.10	0.09	0.10	0.15	0.09	0.12
		下層	0.15	0.12	0.14	0.14	0.10	0.12	0.12	0.11	0.12	0.11	0.09	0.10	0.15	0.09	0.12
		全層	0.16	0.12	0.14	0.14	0.10	0.11	0.13	0.11	0.12	0.11	0.09	0.10	0.16	0.09	0.12
りん酸態りん (PO ₄ -P)	mg/l	表層	0.005	0.004	0.004	0.005	ND	0.003	0.010	0.008	0.009	0.013	0.012	0.013	0.013	ND	0.007
		中層	0.006	0.005	0.005	0.006	0.003	0.005	0.011	0.008	0.010	0.014	0.013	0.014	0.014	0.003	0.008
		下層	0.005	0.005	0.005	0.008	0.004	0.007	0.011	0.008	0.010	0.013	0.011	0.012	0.013	0.004	0.008
		全層	0.006	0.004	0.005	0.008	ND	0.005	0.011	0.008	0.009	0.014	0.011	0.013	0.014	ND	0.008
全 り ん (T-P)	mg/l	表層	0.017	0.015	0.016	0.021	0.012	0.016	0.022	0.019	0.020	0.024	0.021	0.023	0.024	0.012	0.019
		中層	0.018	0.016	0.017	0.021	0.013	0.017	0.024	0.020	0.022	0.024	0.021	0.022	0.024	0.013	0.019
		下層	0.018	0.015	0.016	0.019	0.017	0.018	0.023	0.020	0.021	0.024	0.023	0.023	0.024	0.015	0.020
		全層	0.018	0.015	0.016	0.021	0.012	0.017	0.024	0.019	0.021	0.024	0.021	0.023	0.024	0.012	0.019
浮遊物質量 (SS)	mg/l	表層	1	ND	1	1	ND	1	1	ND	1	1	ND	1	1	ND	1
		中層	1	ND	1	1	1	1	1	ND	1	1	ND	1	1	ND	1
		下層	1	ND	1	1	1	1	2	ND	1	3	1	1	3	ND	1
		全層	1	ND	1	1	ND	1	2	ND	1	3	ND	1	3	ND	1
水 温 ℃		表層	11.8	11.6	11.7	22.0	21.1	21.6	23.1	23.1	23.1	14.0	13.9	13.9	23.1	11.6	17.6
		中層	11.8	11.6	11.7	21.3	20.6	20.9	23.1	23.1	23.1	13.9	13.8	13.9	23.1	11.6	17.4
		下層	11.7	11.6	11.6	20.7	19.9	20.2	23.1	23.1	23.1	13.9	13.7	13.8	23.1	11.6	17.2
		全層	11.8	11.6	11.7	22.0	19.9	20.9	23.1	23.1	23.1	14.0	13.7	13.9	23.1	11.6	17.4

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下5m、下層は海面下20m(ただし水深20m以上の場所では海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

3. 平均値の算出に当たっては「ND」を定量限界値として計算した。ただし、全調査点で定量限界値未満の場合は、平均値も「ND」と表示した。

第2.2.1.2-5表(1)

調査点別水質調査結果(春季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成18年4月14日

調査点 (水深)	項目 水層 位置	水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) mg/l	塩分	透明度 m
			酸性法 mg/l	TOT法 mg/l	酸素量 mg/l	飽和度 %			
			—		—				
1 (64.0m)	表層	8.1	1.5	0.8	8.9	101	ND	33.52	14.0
	中層	8.2	1.4	0.7	8.9	101	ND	33.50	
	下層	8.1	1.5	0.7	9.0	102	ND	33.59	
4 (45.0m)	表層	8.2	1.3	0.7	8.8	100	ND	33.54	12.0
	中層	8.2	1.3	0.7	8.8	100	ND	33.60	
	下層	8.2	1.2	0.6	8.8	100	ND	33.60	
6 (13.0m)	表層	8.2	1.2	0.7	8.8	100	ND	33.60	11.0
	中層	8.2	1.3	0.8	8.8	100	ND	33.63	
	下層	8.2	1.3	0.6	8.8	100	ND	33.61	
7 (38.0m)	表層	8.2	1.2	0.6	8.8	100	ND	33.52	12.0
	中層	8.2	1.3	0.6	8.9	102	ND	33.54	
	下層	8.2	1.3	0.7	8.8	100	ND	33.73	
A (7.0m)	表層	8.2	1.4	0.7	8.8	100	ND	33.66	着底
	中層	8.2	1.3	0.6	8.8	100	ND	33.60	
	下層	8.2	1.3	0.6	8.8	100	ND	33.61	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下6m、下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-5表(2)

調査点別水質調査結果(春季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成18年4月14日

調査点 (水深)	採水層 項目	アンモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質	水温
		(NH ₄ -N)	(NO ₂ -N)	(NO ₃ -N)	(T-N)	(PO ₄ -P)	(T-P)	(SS)	℃
		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
1 (64.0m)	表層	0.020	0.001	0.003	0.16	0.004	0.017	ND	11.7
	中層	0.027	0.001	0.002	0.15	0.005	0.016	ND	11.7
	下層	0.023	0.001	0.003	0.15	0.005	0.018	ND	11.7
4 (45.0m)	表層	0.017	0.001	0.004	0.15	0.005	0.017	ND	11.7
	中層	0.019	0.001	0.004	0.14	0.005	0.016	ND	11.7
	下層	0.021	0.001	0.003	0.15	0.005	0.015	ND	11.6
6 (13.0m)	表層	0.018	0.001	0.003	0.14	0.005	0.015	ND	11.6
	中層	0.017	0.001	0.003	0.13	0.005	0.016	ND	11.6
	下層	0.018	0.001	0.004	0.14	0.005	0.016	ND	11.6
7 (38.0m)	表層	0.019	0.001	0.004	0.14	0.004	0.016	ND	11.8
	中層	0.024	0.001	0.003	0.13	0.006	0.017	ND	11.8
	下層	0.019	0.001	0.003	0.12	0.005	0.015	ND	11.7
A (7.0m)	表層	0.018	0.001	0.003	0.15	0.004	0.015	1	11.7
	中層	0.019	0.001	0.004	0.15	0.005	0.018	1	11.6
	下層	0.020	0.001	0.003	0.15	0.005	0.016	1	11.6

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m以上の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-5表(3)

調査点別水質調査結果(夏季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成18年7月25日

調査点 (水深)	項目 採水層位	水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) μg/L	塩分	透明度 m
			酸性法	7%酸性法	酸素量	飽和度			
			mg/L	mg/L	mg/L	%			
1 (65.5m)	表層	8.1	1.7	0.8	8.0	110	ND	31.22	6.5
	中層	8.0	1.6	0.9	7.2	97	ND	32.21	
	下層	8.0	1.7	0.9	6.9	92	ND	32.42	
4 (45.5m)	表層	8.1	1.6	0.9	7.7	106	ND	31.40	9.5
	中層	8.1	1.7	0.9	7.5	102	ND	31.82	
	下層	8.0	1.8	0.7	6.8	91	ND	32.43	
6 (13.5m)	表層	8.1	1.7	0.8	7.8	107	ND	31.30	6.5
	中層	8.0	1.7	0.8	7.1	96	ND	32.30	
	下層	8.0	1.8	0.8	6.9	92	ND	32.46	
7 (37.5m)	表層	8.0	1.6	0.9	7.4	101	ND	31.88	8.0
	中層	8.0	1.7	0.9	7.3	99	ND	31.96	
	下層	8.0	1.7	0.8	6.8	91	ND	32.41	
A (6.5m)	表層	8.1	1.5	0.9	7.6	103	ND	31.53	着底
	中層	8.0	1.7	0.9	7.3	98	ND	32.09	
	下層	8.0	1.8	0.8	7.2	97	ND	32.20	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m未満の場所では海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-5表(4)

調査点別水質調査結果(夏季)

調査者:中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日:平成18年7月25日

調査点 (水深)	項目 採水層位	アンモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質	水温
		(NH ₄ -N) mg/l	(NO ₂ -N) mg/l	(NO ₃ -N) mg/l	(T-N) mg/l	(PO ₄ -P) mg/l	(T-P) mg/l	(SS) mg/l	℃
1 (65.5m)	表層	0.012	ND	ND	0.11	0.002	0.021	1	22.0
	中層	0.023	0.001	ND	0.14	0.004	0.021	1	20.6
	下層	0.016	0.004	0.006	0.14	0.006	0.017	1	20.1
4 (45.5m)	表層	0.012	ND	ND	0.10	0.003	0.014	1	21.9
	中層	0.011	ND	ND	0.11	0.003	0.016	1	21.3
	下層	0.017	0.011	0.027	0.12	0.008	0.019	1	19.9
6 (13.5m)	表層	0.009	ND	ND	0.10	ND	0.012	ND	21.8
	中層	0.007	0.005	0.009	0.11	0.005	0.016	1	20.7
	下層	0.005	0.009	0.023	0.10	0.008	0.018	1	20.2
7 (37.5m)	表層	0.015	0.005	0.006	0.11	0.005	0.016	1	21.2
	中層	0.013	0.004	0.004	0.12	0.006	0.019	1	21.0
	下層	0.007	0.010	0.017	0.11	0.007	0.017	1	20.0
A (6.5m)	表層	0.011	ND	ND	0.10	0.003	0.013	ND	21.1
	中層	0.014	0.002	ND	0.11	0.005	0.013	1	20.7
	下層	0.010	0.002	0.003	0.11	0.004	0.017	1	20.7

注:1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下5m、下層は海面下20m(ただし水深20m未満の場所では海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-5表(5) 調査点別水質調査結果 (秋季)

調査者: 中国電力㈱ (中電環境テクノス㈱に委託)
 調査期日: 平成18年10月20日

調査点 (水深)	項目 水層 単位	水素イオン 濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等)	塩分	透明度
			酸性法	5%過性法	酸素量	飽和度			
			mg/l	mg/l	mg/l	%			
1 (68.0m)	表層	8.2	1.4	0.7	6.8	96	ND	32.36	11.0
	中層	8.2	1.5	0.7	6.7	95	ND	32.39	
	下層	8.2	1.4	0.6	6.6	93	ND	32.42	
4 (47.0m)	表層	8.2	1.4	0.7	6.8	96	ND	32.49	10.0
	中層	8.2	1.5	0.7	6.7	95	ND	32.49	
	下層	8.2	1.5	0.6	6.7	95	ND	32.51	
6 (16.0m)	表層	8.2	1.6	0.8	6.9	97	ND	32.44	11.0
	中層	8.2	1.6	0.8	6.9	97	ND	32.45	
	下層	8.2	1.4	0.7	6.8	96	ND	32.46	
7 (38.0m)	表層	8.2	1.6	0.7	7.1	100	ND	32.42	11.0
	中層	8.2	1.6	0.7	7.0	99	ND	32.41	
	下層	8.2	1.6	0.7	6.8	96	ND	32.51	
A (8.5m)	表層	8.2	1.7	0.7	6.8	96	ND	32.46	着底
	中層	8.2	1.7	0.7	6.7	95	ND	32.51	
	下層	8.2	1.5	0.6	6.8	96	ND	32.50	

注: 1. 調査点の水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m (ただし水深20m未満の場合は海底上1m) である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-5表(6)

調査点別水質調査結果(秋季)

調査者:中国電力㈱[中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日:平成18年10月20日

調査点 (水深)	採水層	項目 単位	アンモニア	亜硝酸態	硝酸態	全窒素	りん酸態	全りん	浮遊 物質 (SS)	水温
			(NH ₄ -N)	(NO ₂ -N)	(NO ₃ -N)	(T-N)	(PO ₄ -P)	(T-P)		
			mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	℃
1 (68.0m)	表層		0.010	0.005	0.007	0.12	0.010	0.021	ND	23.1
	中層		0.011	0.008	0.009	0.12	0.011	0.021	ND	23.1
	下層		0.013	0.009	0.012	0.12	0.011	0.023	ND	23.1
4 (47.0m)	表層		0.008	0.007	0.011	0.12	0.009	0.020	ND	23.1
	中層		0.006	0.008	0.011	0.13	0.010	0.021	ND	23.1
	下層		0.008	0.008	0.014	0.12	0.010	0.021	2	23.1
6 (16.0m)	表層		0.007	0.007	0.011	0.13	0.008	0.020	ND	23.1
	中層		0.007	0.007	0.010	0.12	0.009	0.023	ND	23.1
	下層		0.007	0.007	0.011	0.12	0.010	0.021	ND	23.1
7 (38.0m)	表層		0.006	0.006	0.008	0.12	0.008	0.019	ND	23.1
	中層		0.007	0.006	0.010	0.12	0.008	0.020	ND	23.1
	下層		0.005	0.007	0.011	0.12	0.009	0.022	1	23.1
A (8.5m)	表層		0.007	0.007	0.013	0.13	0.010	0.022	1	23.1
	中層		0.013	0.008	0.013	0.13	0.010	0.024	1	23.1
	下層		0.012	0.008	0.013	0.11	0.008	0.020	1	23.1

注:1. 採水層の表層は海面下0.5m, 中層は海面下5m, 下層は海面下20m(ただし水深20m以後の場所では海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し, 定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-5表(7)

調査点別水質調査結果(冬季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成19年1月19日

調査点 (水深)	採水層	項目 水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)		溶存酸素量 (DO)		n-ヘキサン 抽出物質 (油分等) mg/l	塩分 —	透明度 m
			酸性法 mg/l	5%酸性法 mg/l	酸素量 mg/l	飽和度 %			
			—	—	—	—			
1 (64.5m)	表層	8.1	1.5	0.7	8.5	101	ND	33.12	9.0
	中層	8.1	1.5	0.7	8.5	101	ND	33.13	
	下層	8.1	1.6	0.8	8.5	101	ND	33.11	
4 (47.5m)	表層	8.1	1.5	0.7	8.5	101	ND	33.12	9.5
	中層	8.1	1.6	0.6	8.5	101	ND	33.12	
	下層	8.1	1.6	0.6	8.5	101	ND	33.12	
6 (16.5m)	表層	8.1	1.4	0.6	8.5	101	ND	33.13	11.0
	中層	8.1	1.5	0.6	8.4	100	ND	33.13	
	下層	8.1	1.7	0.6	8.4	100	ND	33.13	
7 (38.8m)	表層	8.1	1.5	0.7	8.5	101	ND	33.11	8.0
	中層	8.1	1.4	0.7	8.5	101	ND	33.12	
	下層	8.1	1.6	0.7	8.5	101	ND	33.13	
A (7.5m)	表層	8.1	1.6	0.6	8.5	101	ND	33.13	着底
	中層	8.1	1.7	0.8	8.5	101	ND	33.15	
	下層	8.2	1.6	0.7	8.5	101	ND	33.15	

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下5m、下層は海面下20m(ただし水深20m以上の場所では海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

第2.2.1.2-5表(8)

調査点別水質調査結果(冬季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成19年1月19日

調査点 (水深)	採水層	項目 単位	アンモニア態窒素	亜硝酸態窒素	硝酸態窒素	全窒素	りん酸態りん	全りん	浮遊物質量	水温
			(NH ₃ -N) mg/l	(NO ₂ -N) mg/l	(NO ₃ -N) mg/l	(T-N) mg/l	(PO ₄ -P) mg/l	(T-P) mg/l	(SS) mg/l	℃
1 (64.5m)	表層		0.008	0.008	0.045	0.09	0.013	0.021	ND	14.0
	中層		0.010	0.008	0.043	0.10	0.013	0.022	ND	13.9
	下層		0.006	0.008	0.039	0.09	0.012	0.023	1	13.7
4 (47.5m)	表層		0.006	0.008	0.043	0.10	0.013	0.023	ND	13.9
	中層		0.010	0.008	0.043	0.10	0.013	0.022	ND	13.9
	下層		0.006	0.008	0.043	0.10	0.013	0.023	1	13.9
6 (16.5m)	表層		0.015	0.008	0.043	0.11	0.012	0.022	1	13.9
	中層		0.008	0.008	0.043	0.10	0.014	0.022	1	13.9
	下層		0.015	0.008	0.043	0.11	0.013	0.023	1	13.9
7 (38.5m)	表層		0.007	0.008	0.043	0.10	0.013	0.024	1	13.9
	中層		0.006	0.008	0.044	0.09	0.014	0.021	1	13.9
	下層		0.011	0.007	0.048	0.10	0.011	0.024	3	13.9
A (7.5m)	表層		ND	0.008	0.042	0.09	0.013	0.023	ND	13.9
	中層		0.021	0.008	0.043	0.10	0.014	0.024	1	13.8
	下層		0.014	0.008	0.041	0.10	0.012	0.024	1	13.8

注: 1. 採水層の表層は海面下0.5m、中層は海面下5m、下層は海面下20m(ただし水深20m以上の場所では海底上1m)である。

2. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-1表参照。

ロ. 前面海域の水質（健康項目等）

(イ) 調査期日

平成18年11月29日

(ロ) 調査場所

発電所計画地点に面する前面海域の2調査点で行った（第2.2.1.2-3図）。

採水層は、表層（海面下0.5m）、中層（海面下5m）及び下層（海底上1m）の3層である。

(ハ) 調査方法

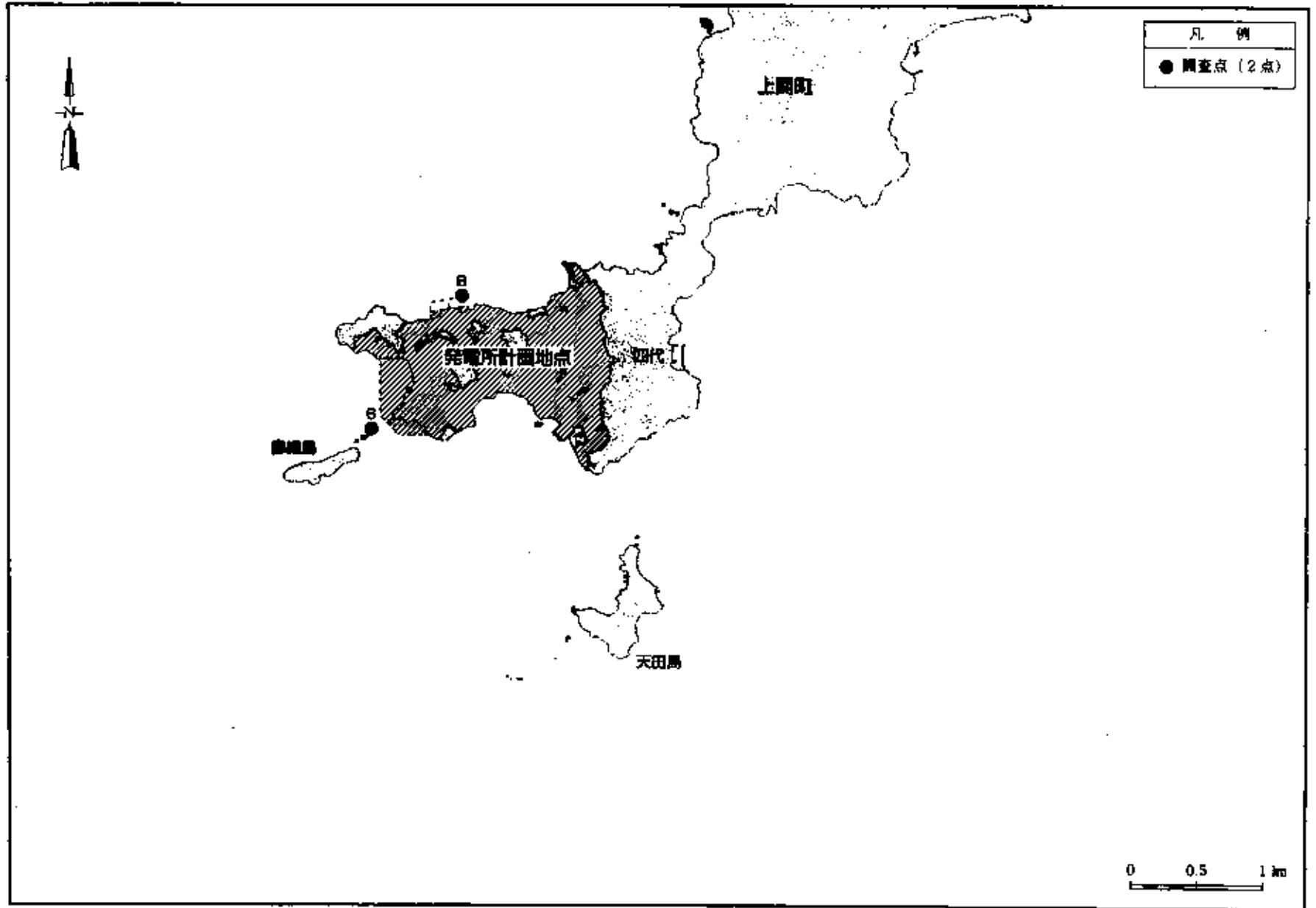
バンドーン採水器（採水量：6ℓ）を用いて採水し、第2.2.1.2-6表に示す方法により分析を行った。

(ニ) 調査結果

調査結果は、第2.2.1.2-7表のとおり、全亜鉛以外のすべての項目で定量限界値未満であり、環境基準を下回っている。

全亜鉛については、水生生物の生息状況の適応性に応じた水域類型の指定がないため環境基準は適用されないが、海域生物A（0.02mg/ℓ以下）を下回っている。

第2.2.1.2-3図 水質調査点位置（健康項目等）



注：調査点①は発電場所の底質調査点と、また、調査点⑥は平成7・8年または平成18・19年調査と合致する調査点である。

第2.2.1.2-6表 水質分析方法（健康項目等）

項 目	分 析 方 法	定 量 限 界 値	単 位
カドミウム	JIS K 0102 55.1 (1998)	0.001	mg/l
全シアン	JIS K 0102 38.1及び38.3 (1998)	0.1	mg/l
鉛	JIS K 0102 54.1 (1998)	0.005	mg/l
六価クロム	JIS K 0102 65.2.1 (1998)	0.02	mg/l
砒 素	JIS K 0102 61.2 (1998)	0.005	mg/l
総水銀	昭和46年 環境庁告示第59号 付表1	0.0005	mg/l
アルキル水銀	昭和46年 環境庁告示第59号 付表2	0.0005	mg/l
P C B	昭和46年 環境庁告示第59号 付表3	0.0005	mg/l
ジクロロメタン	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.002	mg/l
四塩化炭素	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.0002	mg/l
1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.0004	mg/l
1,1-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.002	mg/l
シス-1,2-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.004	mg/l
1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.0005	mg/l
1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.0006	mg/l
トリクロロエチレン	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.002	mg/l
テトラクロロエチレン	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.0005	mg/l
1,3-ジクロロプロペン	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.0002	mg/l
チウラム	昭和46年 環境庁告示第59号 付表4	0.0006	mg/l
シマジン	昭和46年 環境庁告示第59号 付表5の第2	0.0003	mg/l
チオベンカルブ	昭和46年 環境庁告示第59号 付表5の第2	0.002	mg/l
ベンゼン	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.001	mg/l
セレン	JIS K 0102 67.2 (1998)	0.002	mg/l
硝酸性窒素 及び亜硝酸性窒素	JIS K 0102 43.1.1及び43.2.3に準拠 (1998)	0.2	mg/l
全亜鉛	JIS K 0102 53.3 (1998)	0.005	mg/l

第2.2.1.2-7表 調査点別水質調査結果（健康項目等）

調査者：中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日：平成18年11月29日

項目	調査点	B			6			濃度基準
	水深	12.0m			8.0m			
	採水層 単位	海面下 0.5m	海面下 5.0m	海面下 11.0m	海面下 0.5m	海面下 5.0m	海面下 11.0m	
カドミウム	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01
全シアン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
鉛	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01
六価クロム	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05
砒素	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01
総水銀	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
アルキル水銀	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
PCB	ng/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出され ないこと
ジクロロメタン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02
四塩化炭素	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008
トリクロロエチレン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03
テトラクロロエチレン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01
1,3-ジクロロプロペン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002
チウラム	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006
シマジン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003
チオベンカルブ	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02
ベンゼン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01
セレン	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01
硝酸性窒素 及び亜硝酸性窒素	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10
全亜鉛	mg/l	0.008	0.005	0.006	0.013	0.012	0.007	0.02 [※]

※海域生物A（水生生物の生息する水域）

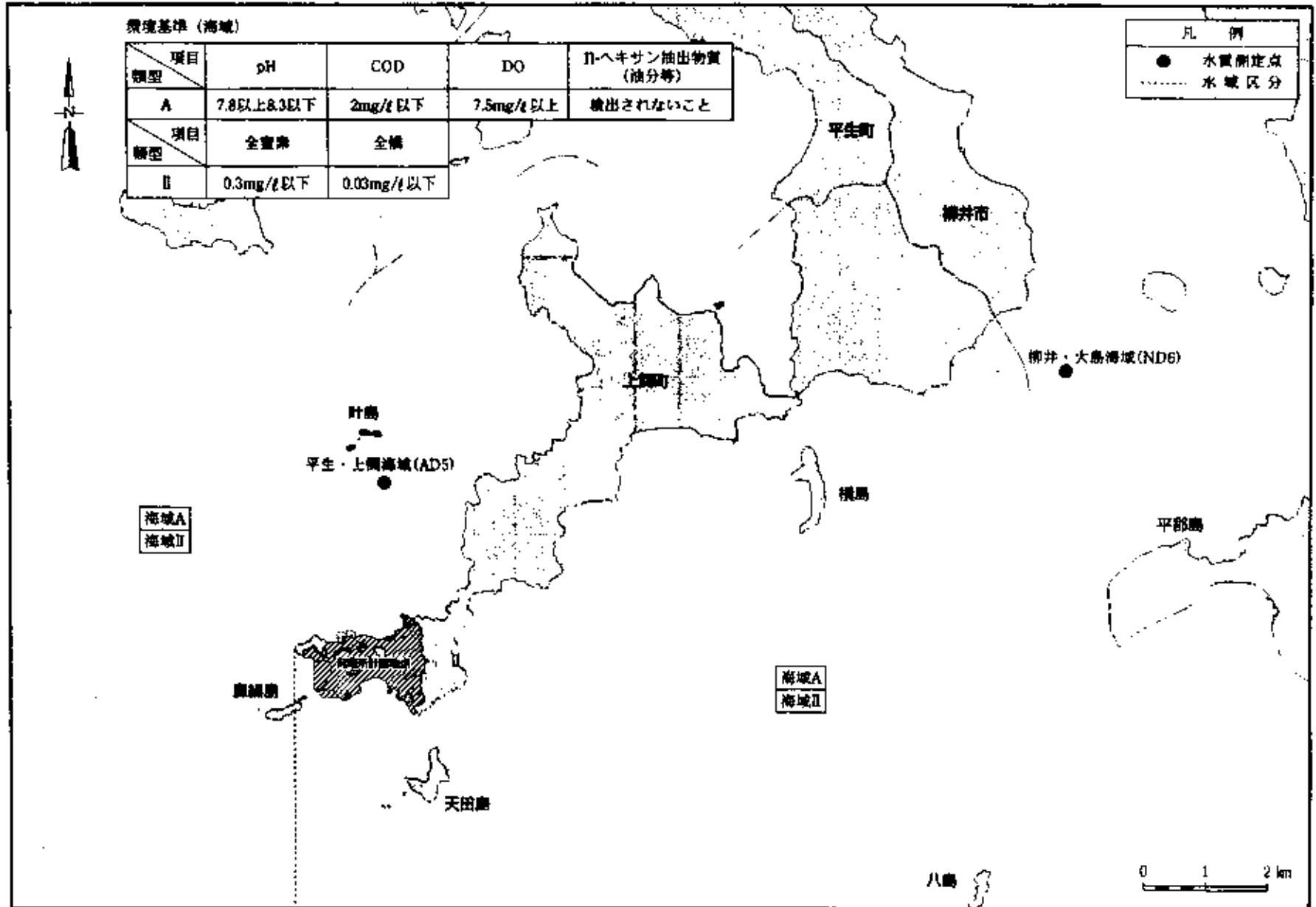
注：「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-6表参照。

② 経年変化

調査海域の公共用水域水質測定位置（第2.2.1.2-4図）における水質の経年変化は、「平成15年版～19年版 環境白書 参考資料集」（山口県環境生活部，平成15年～19年）によれば，第2.2.1.2-8表のとおりである。

第2.2.1.2-4図

環境基準の水域類型及び公共用水域水質測定位置



第2.2.1.2-8表 水質の経年変化

測定点	区分 年度	項目	水素イオン濃度 (pH)				化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)					溶存酸素量 (DO) (mg/l)			
			最大	最小	平均	m/n	最大	最小	平均	75%値	m/n	最大	最小	平均	m/n
			平生・ 上関海域 (ADS)	海域A	14	8.3	8.0	8.1	0/12	1.9	<0.5	1.2	1.4	0/12	10
15	8.1	8.1			8.1	0/12	2.3	0.8	1.6	1.9	2/12	9.2	6.9	8.3	2/12
16	8.3	8.1			8.2	0/12	2.0	1.2	1.6	1.7	0/12	9.8	7.5	8.4	0/12
17	8.3	8.1			8.2	0/12	2.5	1.2	1.6	1.7	2/12	10	6.9	9.0	1/12
18	8.3	8.1			8.2	0/12	2.5	1.1	1.7	1.9	2/12	9.9	7.4	8.7	1/12
柳井・ 大島海域 (ND6)	海域A	14	8.3	8.0	8.1	0/12	2.0	0.7	1.2	1.5	0/12	10	6.8	8.3	2/12
		15	8.1	8.0	8.1	0/12	2.1	1.0	1.5	1.6	2/12	9.1	6.3	8.0	3/12
		16	8.3	8.0	8.1	0/12	2.2	1.3	1.6	1.7	1/12	9.7	7.4	8.4	2/12
		17	8.3	8.1	8.1	0/12	2.2	1.1	1.5	1.6	1/12	10	7.0	8.5	2/12
		18	8.2	8.0	8.1	0/12	1.9	1.2	1.5	1.7	0/12	9.9	6.8	8.4	2/12

測定点	区分 年度	項目	全窒素 (T-N) (mg/l)				全リン (T-P) (mg/l)			
			最大	最小	平均	m/n	最大	最小	平均	m/n
			平生・ 上関海域 (ADS)	海域II	14	0.38	0.11	0.20	2/12	0.027
15	0.16	0.10			0.12	0/12	0.017	0.007	0.012	0/12
16	0.43	0.10			0.16	1/12	0.022	0.008	0.015	0/12
17	0.25	0.13			0.19	0/12	0.027	0.010	0.018	0/12
18	0.41	0.11			0.18	1/12	0.020	0.010	0.017	0/12
柳井・ 大島海域 (ND6)	海域II	14	0.34	0.13	0.20	3/12	0.021	0.011	0.016	0/12
		15	0.16	0.08	0.12	0/12	0.021	0.008	0.015	0/12
		16	0.40	0.14	0.20	2/12	0.021	0.011	0.017	0/12
		17	0.30	0.15	0.21	0/12	0.029	0.013	0.020	0/12
		18	0.33	0.10	0.18	1/12	0.033	0.010	0.019	1/12

注：1. 「m/n」は、総検体数（n）のうち環境基準に適合しない検体数（m）の割合を示す。
 2. 「75%値」は、日間平均値を水質のよいものから並べた時の75%目の値を示す。
 3. 測定点位置は、第2.2.1.2-4図参照。

（「平成15年版～19年版 環境白書 参考資料集」（山口県環境生活部、平成15年～19年）より作成）

③ 赤 潮

「平成13年～17年 瀬戸内海の赤潮」（水産庁瀬戸内海漁業調整事務所，平成14年～18年）によれば，山口県の海域における赤潮の発生状況は第2.2.1.2-9表のとおりであり，調査海域では平成13年2件，平成14年1件，平成15年2件，平成16年0件，平成17年1件である。

第2.2.1.2-9表 赤 潮 の 発 生 状 況

(単 位 : 件)

発生海域 \ 年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平 均
調査海域	2	1	2	0	1	1
山口県 (瀬戸内海側)	8	6	7	12	15	9

〔平成13年～17年 瀬戸内海の赤潮〕（水産庁瀬戸内海漁業調整事務所，平成14年～18年）より作成

④ 底質

調査海域及び浚渫場所における底質の現況は、当社が中電環境テクノス(株)に委託した調査の結果によれば、次のとおりである。

なお、平成18、19年の調査は、埋立工事の実施に鑑み、海域における環境の状況について平成7、8年の調査結果を使用することの妥当性を確認するため、埋立予定海域周辺において状況を確認したものである。

イ. 調査海域の底質

(イ) 調査期日

年 \ 時期	春季	夏季	秋季	冬季
平成7・8年	平成7年 4月15日	平成7年 7月27日	平成7年 10月23日	平成8年 1月19日
平成18・19年	平成18年 4月14日	平成18年 7月24日	平成18年 10月16日	平成19年 1月15日

(ロ) 調査場所

平成7・8年は、調査海域における29調査点で行った(第2.2.1.2-5図)。

平成18・19年は、発電所計画地点に面する前面海域における5調査点で行った(第2.2.1.2-6図)。

(ハ) 調査方法

スミス・マッキンタイヤ型採泥器(採泥面積:0.05m²)を用いて、1調査点当たり3回採泥した試料を混合して1試料とし、第2.2.1.2-10表に示す方法により分析を行った。

(ニ) 調査結果

調査結果の概要は、次のとおりである(第2.2.1.2-11~14表)。

a. 平成7・8年

(a) 化学的酸素要求量(COD)

化学的酸素要求量は、1.0~19.3mg/g_{乾泥}の範囲にある。季節別にはほとんど差はみられない。調査点別には南海域の鼻線島側及び東海域でやや高く、西海域及び南海域の天田島側でやや低くなっている。

(b) 強熱減量

強熱減量は、1.2~9.6%の範囲にある。季節別にはほとんど差はみられない。調査点別には南海域の鼻線島側及び東海域でやや高く、西海域及び南海域の天田島側でやや低くなっている。

(

(c) 全硫化物

全硫化物は、定量限界値 (0.01mg/g乾泥) 未満～0.33mg/g乾泥の範囲にある。季節別にはほとんど差はみられない。調査点別には南海域の鼻繰島側でやや高くなっている。

(d) 粒度分布

粒度分布の組成比率は、各季節とも概ね細砂分が高くなっている。調査点別には西海域及び南海域の天田島側で礫分、粗砂分の比率が高く、南海域の鼻繰島側及び東海域でシルト分、粘土・コロイド分の比率が高くなっている。

b. 平成18・19年

(a) 化学的酸素要求量 (COD)

(

化学的酸素要求量は、0.5～10.8mg/g乾泥の範囲にある。季節別にはほとんど差はみられない。調査点別には7でやや高くなっている。

(b) 強熱減量

強熱減量は、1.1～8.0%の範囲にある。季節別にはほとんど差はみられない。調査点別には7でやや高くなっている。

(c) 全硫化物

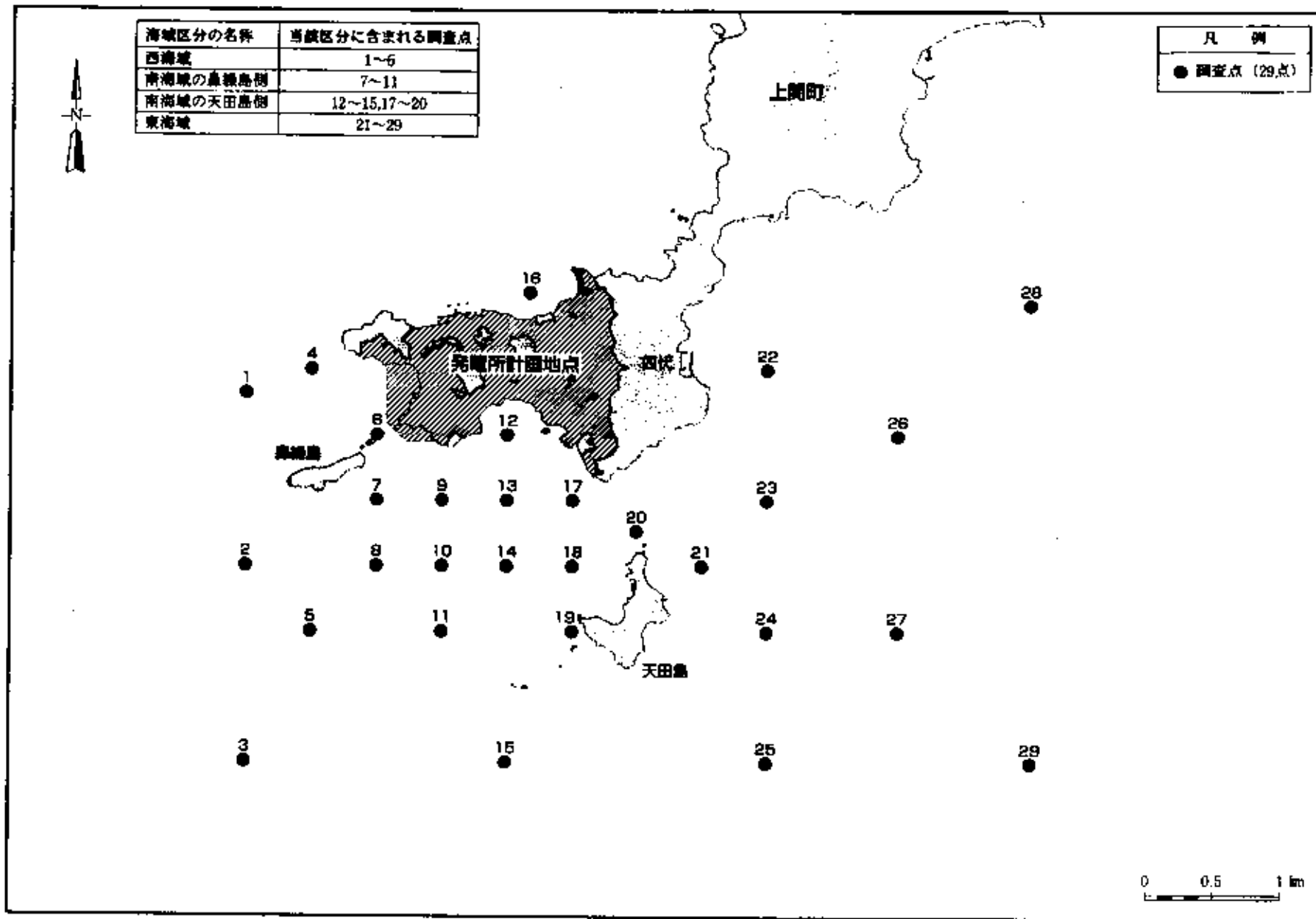
全硫化物は、定量限界値 (0.01mg/g乾泥) 未満～0.16mg/g乾泥の範囲にある。季節別にはほとんど差はみられない。調査点別には7でやや高くなっている。

(d) 粒度分布

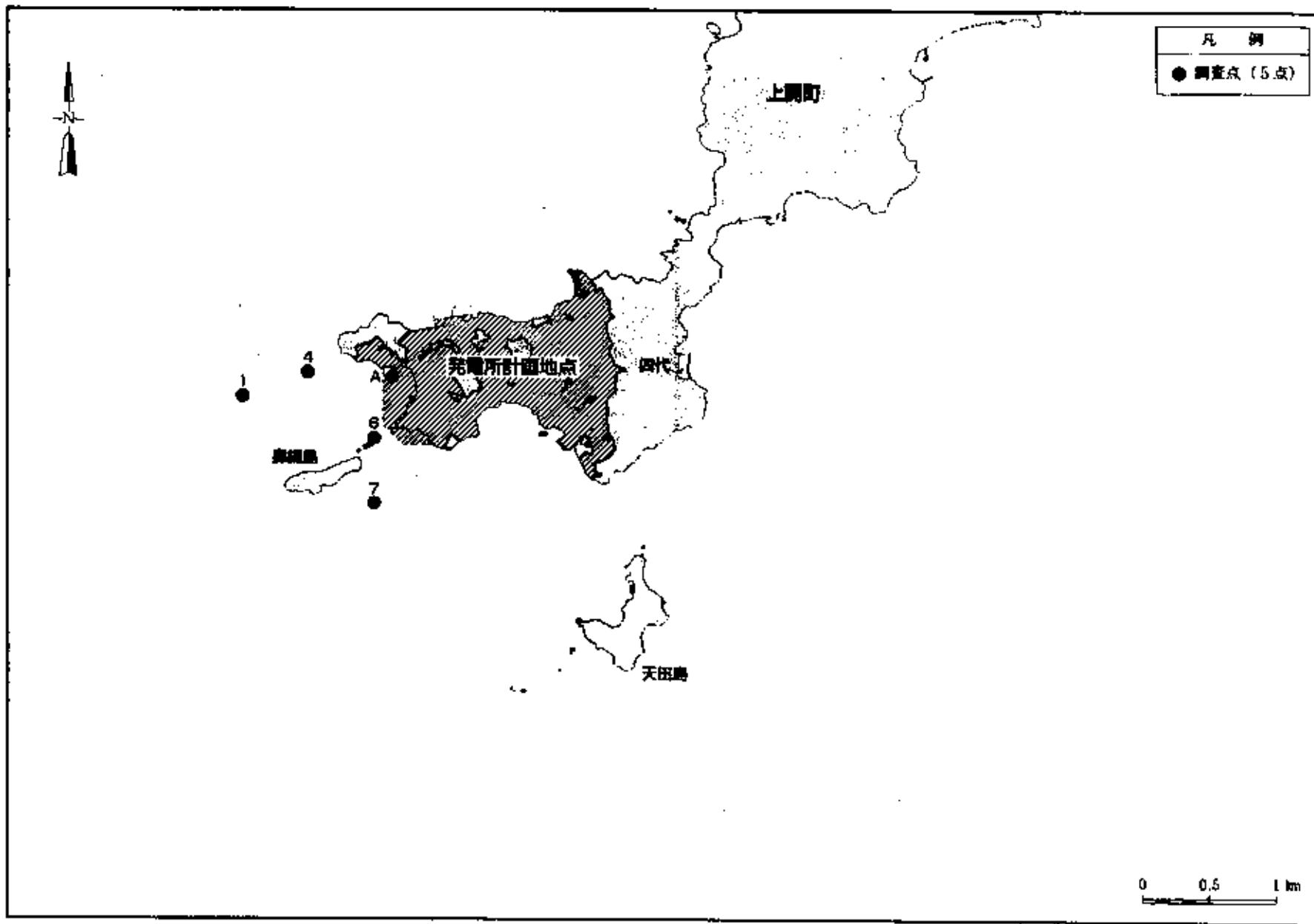
(

粒度分布の組成比率は、各季節とも調査点1及び6は粗砂分が、調査点4及びAは細砂分が、調査点7はシルト分及び粘土・コロイド分の比率が高くなっている。

第2.2.1.2-5図 底質調査点位置 (平成7・8年)



第2.2.1.2-6図 底質調査点位置 (平成18・19年)



第2.2.1.2-10表 底質分析方法

項目	分析方法	定量限界値	単位
化学的酸素要求量(COD)	昭和63年 環水管第 127号 底質調査方法 II.20 過マンガン酸カリウムによる酸素消費量	0.1	mg/g乾泥
強熱減量	昭和63年 環水管第 127号 底質調査方法 II. 4 600℃ 強熱による重量法	0.1	%
全 碱 化 物	昭和63年 環水管第 127号 底質調査方法 II.17 水蒸気蒸留後よう素滴定法	0.01	mg/g乾泥
粒 度 分 布	JIS A 1204 (1990) 又は (2000) ふるい分け及び比重浮ひよによる沈降法	—	%

第2.2.1.2-11表

底質調査結果(平成7・8年)

調査者：中国電力㈱〔中電環境テクノス㈱に委託〕

調査期日 区分		春季 (平成7年4月15日)			夏季 (平成7年7月27日)			秋季 (平成7年10月23日)			冬季 (平成8年1月19日)			年間		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
項目	単位															
化学的酸素 要求量 (COD)	mg/g乾泥	15.9	1.2	7.0	19.3	1.1	7.7	16.4	1.0	6.5	15.9	1.1	7.1	19.3	1.0	7.1
強熱減量	%	9.0	1.2	6.0	9.6	1.2	6.4	8.5	1.2	4.9	8.3	2.2	4.8	9.6	1.2	6.0
全硫化物	mg/g乾泥	0.30	ND	0.09	0.33	ND	0.12	0.31	ND	0.11	0.26	ND	0.10	0.33	ND	0.11
粒 度 分 布 (%)	礫分 (2.00mm以上)	50	0	11	43	0	8	36	0	8	46	0	9	50	0	9
	粗砂分 (2.00~0.425mm)	58	0	22	58	0	21	71	0	23	64	0	20	71	0	22
	細砂分 (0.425~0.075mm)	75	7	32	77	10	37	63	4	32	67	11	34	77	4	34
	シルト分 (0.075~0.005mm)	55	3	23	45	1	20	50	4	23	55	1	23	56	1	22
	粘土・泥分 (0.005mm未満)	30	0	12	36	0	15	31	0	13	35	0	14	36	0	14

注：1. 「ND」は定量限界未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-10表参照。

2. 平均値の算出に当たっては「ND」を定量限界値として計算した。

3. 粒度分布は、四捨五入の関係で合計が100にならないことがある。

第2.2.1.2-12表(1)

調査点別底質調査結果(春季)

調査者:中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日:平成7年4月15日

項目 調査点 (水深)	化学的酸素 要求量 (COD) mg/g乾泥	強熱減量 %	全炭化物 mg/g乾泥	粒 度 分 布				
				篩 分 (2.00mm 以上)	粗 砂 分 (2.00~ 0.425mm)	細 砂 分 (0.425~ 0.075mm)	シルト分 (0.075~ 0.005mm)	粘土・微(1) 分 (0.005mm 未満)
				%	%	%	%	%
1 (66.0m)	1.5	2.3	ND	26	32	39	3	0
2 (63.0m)	2.7	3.7	ND	34	47	10	9	0
3 (60.0m)	1.5	1.9	0.02	50	33	13	4	0
4 (48.0m)	2.2	3.2	ND	15	49	31	5	0
5 (50.0m)	2.8	3.3	0.03	9	54	25	8	4
6 (13.0m)	1.6	1.2	ND	29	59	7	5	0
7 (37.0m)	14.0	8.3	0.30	5	2	22	41	30
8 (40.0m)	14.4	7.8	0.21	0	1	43	34	22
9 (38.0m)	15.9	8.3	0.22	0	1	27	42	30
10 (42.0m)	11.3	9.0	0.12	2	12	26	32	28
11 (45.0m)	11.9	7.9	0.16	3	0	32	40	25
12 (16.0m)	4.4	2.8	0.07	0	5	75	14	6
13 (42.0m)	6.9	5.8	0.10	3	7	58	19	13
14 (44.0m)	2.6	3.2	0.02	7	55	30	8	0
15 (61.0m)	3.2	3.9	0.03	13	46	28	9	4
16 (34.0m)	10.6	7.7	0.24	0	2	34	42	22
17 (39.0m)	3.7	3.9	0.03	5	30	49	10	6
18 (38.0m)	2.6	3.1	0.02	7	49	37	7	0
19 (12.0m)	2.4	2.3	0.01	29	56	8	7	0
20 (26.0m)	1.2	1.8	0.01	31	41	24	4	0
21 (50.0m)	2.7	1.9	0.03	12	41	39	8	0
22 (42.0m)	7.1	5.7	0.08	1	2	61	21	15
23 (49.0m)	11.2	6.1	0.10	1	4	43	33	19
24 (60.0m)	6.8	5.8	0.09	34	19	16	18	13
25 (54.0m)	7.2	4.9	0.09	1	4	54	26	15
26 (43.0m)	11.9	7.4	0.09	0	0	22	55	23
27 (50.0m)	13.6	7.3	0.15	0	0	20	55	25
28 (41.0m)	13.5	7.5	0.13	0	0	24	53	23
29 (50.0m)	12.1	6.6	0.11	0	0	29	49	22

注:「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-10表参照。

第2.2.1.2-12表(2)

調査点別底質調査結果(夏季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成 7年 7月27日

項目 調査点 (水深)	化学的酸素 要求量 (COD) mg/g乾泥	有機物 燃焼量 %	全硫化合物 mg/g乾泥	粒 度 分 布				
				礫 分 (2.00mm 以上)	粗 砂 分 (2.00~ 0.425mm)	細 砂 分 (0.425~ 0.075mm)	シルト分 (0.075~ 0.005mm)	粘土-コク分 (0.005mm 未満)
				%	%	%	%	%
1 (64.0m)	2.2	3.3	ND	22	38	33	7	0
2 (63.0m)	2.9	3.7	0.02	18	55	21	6	0
3 (61.0m)	3.6	2.5	0.04	18	44	23	8	7
4 (48.0m)	4.1	3.5	0.04	6	35	46	8	6
5 (52.0m)	3.3	4.2	0.04	25	47	17	6	5
6 (15.0m)	1.1	1.2	ND	0	22	77	1	0
7 (36.0m)	16.6	9.6	0.31	0	0	19	45	36
8 (40.0m)	8.0	5.0	0.08	8	27	35	15	15
9 (38.0m)	19.3	8.9	0.24	0	1	28	40	31
10 (39.0m)	13.8	7.3	0.11	2	15	32	29	22
11 (43.0m)	12.6	6.8	0.29	0	1	46	28	25
12 (17.0m)	6.7	5.3	0.14	0	6	60	21	13
13 (39.0m)	8.4	5.9	0.14	0	4	56	21	19
14 (41.0m)	3.8	4.2	0.03	6	51	29	6	8
15 (61.0m)	3.6	4.4	0.03	15	39	31	9	6
16 (33.0m)	9.1	5.0	0.18	1	7	62	19	11
17 (38.0m)	2.8	4.0	0.02	13	58	21	8	0
18 (35.0m)	2.9	3.7	0.02	4	37	53	6	0
19 (13.0m)	2.5	2.3	0.02	28	56	11	5	0
20 (29.0m)	2.3	4.2	ND	43	41	10	6	0
21 (47.0m)	6.9	5.7	0.20	1	2	56	24	18
22 (42.0m)	9.9	8.0	0.27	0	2	35	35	28
23 (48.0m)	7.0	6.6	0.17	0	1	47	31	21
24 (62.0m)	8.9	6.6	0.14	12	10	30	23	25
25 (51.0m)	6.0	4.7	0.06	1	7	59	20	13
26 (44.0m)	14.1	7.7	0.33	0	0	31	38	31
27 (47.0m)	14.4	7.4	0.19	0	0	31	38	31
28 (42.0m)	14.4	7.7	0.16	0	1	31	38	30
29 (47.0m)	11.6	6.7	0.13	0	0	40	33	27

注: 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は前2.2.1.2-10表参照。

第2.2.1.2-12表(3)

調査点別底質調査結果(秋季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成7年10月23日

項目 調査点 (水深)	化学的酸素 要求量 (COD) mg/g乾泥	強熱減量 %	全硫化合物 mg/g乾泥	粒度分布				
				粗砂分 (2.00mm 以上)	粗砂分 (2.00~ 0.425mm)	細砂分 (0.425~ 0.075mm)	シルト分 (0.075~ 0.005mm)	粘土・泥分 (0.005mm 未満)
				%	%	%	%	%
1 (64.0m)	1.5	2.6	ND	17	38	39	6	0
2 (62.0m)	2.4	3.8	ND	36	46	11	7	0
3 (64.0m)	2.3	2.1	0.02	34	45	17	4	0
4 (51.0m)	1.7	2.1	ND	29	44	22	5	0
5 (52.0m)	3.1	3.6	0.02	18	51	18	10	3
6 (12.0m)	3.1	3.6	ND	18	53	18	6	5
7 (36.0m)	14.5	8.5	0.31	0	2	21	49	28
8 (38.0m)	12.4	7.1	0.15	0	1	43	37	19
9 (35.0m)	16.4	7.9	0.25	0	0	23	46	31
10 (39.0m)	6.4	5.3	0.09	3	24	41	21	11
11 (44.0m)	11.8	6.8	0.23	0	1	31	45	23
12 (18.0m)	4.0	3.0	0.08	1	23	56	15	5
13 (39.0m)	7.7	5.6	0.16	0	4	49	25	22
14 (42.0m)	5.8	3.3	0.03	7	56	31	6	0
15 (63.0m)	2.4	3.8	0.02	17	41	27	9	6
16 (32.0m)	3.9	5.6	0.18	2	2	52	26	18
17 (39.0m)	2.6	3.1	0.02	5	65	22	8	0
18 (35.0m)	3.4	3.5	0.03	1	22	63	10	4
19 (14.0m)	1.0	1.2	0.01	16	71	10	4	0
20 (29.0m)	1.8	4.7	ND	27	64	4	5	0
21 (47.0m)	4.8	3.8	0.09	2	5	62	19	12
22 (41.0m)	9.4	6.9	0.19	0	2	34	34	30
23 (46.0m)	9.6	7.4	0.22	0	0	23	46	31
24 (59.0m)	6.5	4.7	0.11	0	7	43	28	22
25 (52.0m)	4.7	4.4	0.08	4	13	56	18	9
26 (44.0m)	12.8	7.5	0.21	0	0	20	50	30
27 (47.0m)	11.2	6.9	0.18	0	0	23	49	28
28 (41.0m)	12.6	7.4	0.25	0	0	23	46	31
29 (47.0m)	8.8	6.4	0.17	0	0	39	43	18

注: 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-10表参照。

第2.2.1.2-12表(4)

調査点別底質調査結果(冬季)

調査者:中国電力株式会社(中電環境テクノス株式会社委託)

調査期日:平成8年1月19日

項目 調査点 (水深)	化学的酸素 要求量 (COD) mg/g乾泥	強熱減量 %	全炭化物 mg/g乾泥	粒 度 分 布				
				粗 分 (2.00mm 以上)	粗 砂 分 (2.00~ 0.425mm)	細 砂 分 (0.425~ 0.075mm)	シルト分 (0.075~ 0.005mm)	粘土・微粉分 (0.005mm 未満)
				%	%	%	%	%
1 (65.0m)	1.5	2.3	ND	30	33	33	4	0
2 (63.0m)	1.1	2.8	ND	20	57	19	4	0
3 (62.0m)	2.1	2.2	ND	46	38	12	4	0
4 (51.0m)	1.9	2.6	ND	23	47	24	6	0
5 (50.0m)	2.9	2.9	0.02	18	57	18	7	0
6 (15.0m)	1.4	2.7	ND	33	46	14	7	0
7 (39.0m)	15.9	8.3	0.26	0	0	18	54	28
8 (38.0m)	9.2	5.8	0.10	0	2	47	32	19
9 (35.0m)	15.6	8.1	0.25	0	0	17	56	27
10 (42.0m)	9.2	6.0	0.11	0	1	42	35	22
11 (45.0m)	9.4	5.9	0.11	2	4	42	31	21
12 (15.0m)	9.9	7.2	0.20	0	1	38	39	22
13 (39.0m)	8.6	6.6	0.16	1	3	51	31	14
14 (43.0m)	2.7	2.9	0.02	8	56	28	8	0
15 (64.0m)	3.4	3.5	0.02	16	42	30	9	3
16 (34.0m)	9.0	5.0	0.13	1	1	56	27	15
17 (39.0m)	7.4	5.1	0.07	1	6	56	19	18
18 (38.0m)	3.0	2.9	ND	3	36	52	9	0
19 (14.0m)	2.6	3.4	ND	36	52	11	1	0
20 (29.0m)	2.5	2.4	ND	8	64	20	8	0
21 (50.0m)	5.9	4.0	0.12	3	10	51	22	14
22 (44.0m)	4.7	3.1	0.06	0	10	67	13	10
23 (47.0m)	13.1	7.2	0.16	0	1	30	37	32
24 (62.0m)	9.3	5.6	0.16	3	10	35	28	24
25 (54.0m)	5.0	3.9	0.08	1	15	56	17	11
26 (43.0m)	12.3	7.0	0.22	0	0	25	40	35
27 (50.0m)	12.7	7.1	0.22	0	0	25	47	28
28 (39.0m)	12.1	7.2	0.22	0	0	27	41	32
29 (49.0m)	10.9	6.2	0.17	0	0	36	39	25

注:「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-10表参照。

第2.2.1.2-13表

底質調査結果 (平成18・19年)

調査者：中国電力㈱ (中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日 区分		春季 (平成18年4月14日)			夏季 (平成18年7月24日)			秋季 (平成18年10月16日)			冬季 (平成19年1月15日)			年間		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
化学的酸素 要求量 (COD)	mg/g乾泥	9.5	0.6	2.9	10.6	0.7	3.5	10.8	0.6	3.8	10.2	0.5	3.3	10.8	0.5	3.4
有機減量	%	7.8	1.2	3.3	8.0	1.1	3.4	7.1	1.1	3.2	8.0	1.2	3.3	8.0	1.1	3.3
全硫化物	mg/g乾泥	0.11	ND	0.03	0.16	ND	0.04	0.11	ND	0.03	0.12	ND	0.03	0.16	ND	0.04
粒 度 分 布 (%)	礫分 (2.00mm以上)	42	0	12	27	0	10	16	0	6	41	0	16	42	0	11
	粗砂分 (2.00~0.425mm)	52	0	31	55	0	27	55	0	26	50	0	28	55	0	28
	細砂分 (0.425~0.075mm)	69	5	40	84	12	40	86	21	43	80	7	37	86	5	40
	シルト分 (0.075~0.005mm)	40	1	11	39	6	14	44	5	14	43	1	11	44	1	13
	粘土・コハク分 (0.005mm未満)	23	0	6	36	0	9	34	2	10	31	1	7	36	0	8

注：1. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-10表参照。

2. 平均値の算出に当たっては「ND」を定量限界値として計算した。

3. 粒度分布は、四捨五入の関係で合計が100にならないことがある。

第2.2.1.2-14表(1)

調査点別底質調査結果(春季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成18年4月14日

項目 単位 調査点 (水深)	化学的酸素 要求量 (COD) mg/g乾泥	強熱減量 %	全硫化合物 mg/g乾泥	粒 度 分 布				
				礫 分 (2.00mm 以上)	粗 砂 分 (2.00~ 0.425mm)	細 砂 分 (0.425~ 0.075mm)	シルト分 (0.075~ 0.005mm)	粘土・シルト分 (0.005mm 未満)
				%	%	%	%	%
1 (64.0m)	2.1	3.1	ND	18	42	36	4	0
4 (45.0m)	1.5	3.2	0.03	1	33	52	11	3
6 (13.0m)	1.0	1.2	ND	42	52	5	1	0
7 (38.0m)	9.5	7.8	0.11	0	0	37	40	23
A (7.0m)	0.6	1.2	ND	0	29	69	2	0

注: 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-10表参照。

第2.2.1.2-14表(2)

調査点別底質調査結果(夏季)

調査者: 中国電力㈱(中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日: 平成16年7月24日

項目 単位 調査点 (水深)	化学的酸素 要求量 (COD) mg/g乾泥	強熱減量 %	全硫化合物 mg/g乾泥	粒 度 分 布				
				礫 分 (2.00mm 以上)	粗 砂 分 (2.00~ 0.425mm)	細 砂 分 (0.425~ 0.075mm)	シルト分 (0.075~ 0.005mm)	粘土・シルト分 (0.005mm 未満)
				%	%	%	%	%
1 (67.0m)	2.4	3.6	ND	19	45	26	10	0
4 (49.0m)	2.7	3.1	0.03	2	27	52	11	8
6 (15.0m)	1.1	1.2	ND	27	55	12	6	0
7 (38.0m)	10.6	8.0	0.16	0	0	25	39	36
A (7.0m)	0.7	1.1	0.01	0	10	84	6	0

注: 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-10表参照。

第2.2.1.2-14表(3)

調査点別底質調査結果(秋季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成18年10月16日

項目 調査点 単位 (水深)	化学的酸素	発熱熱量	全硫化合物	粒度分布				
	要求量 (COD)			粗砂分 (2.00~ 0.425mm)	細砂分 (0.425~ 0.075mm)	シルト分 (0.075~ 0.005mm)	粘土・ 20μ分 (0.005mm 未満)	
	mg/g乾泥	%	%					%
1 (67.0m)	2.6	3.4	ND	13	42	36	6	3
4 (49.0m)	3.1	3.1	0.02	3	27	51	10	9
6 (15.0m)	1.7	1.3	ND	16	55	21	5	3
7 (38.0m)	10.8	7.1	0.11	0	0	22	44	34
A (7.0m)	0.6	1.1	ND	0	7	86	5	2

注: 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-10表参照。

第2.2.1.2-14表(4)

調査点別底質調査結果(冬季)

調査者: 中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

調査期日: 平成19年1月15日

項目 調査点 単位 (水深)	化学的酸素	発熱熱量	全硫化合物	粒度分布				
	要求量 (COD)			粗砂分 (2.00~ 0.425mm)	細砂分 (0.425~ 0.075mm)	シルト分 (0.075~ 0.005mm)	粘土・ 20μ分 (0.005mm 未満)	
	mg/g乾泥	%	%					%
1 (65.0m)	2.3	3.3	ND	34	34	26	4	2
4 (46.0m)	2.7	3.0	0.01	6	38	48	6	2
6 (14.0m)	0.9	1.2	ND	41	50	7	1	1
7 (38.0m)	10.2	8.0	0.12	0	0	26	43	31
A (8.0m)	0.5	1.2	ND	0	16	80	3	1

注: 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-10表参照。

ロ. 浚渫場所の底質

(イ) 調査期日

平成9年1月14日

(ロ) 調査場所

調査海域のうち北海域の浚渫場所の1調査点で行った(第2.2.1.2-7図)。

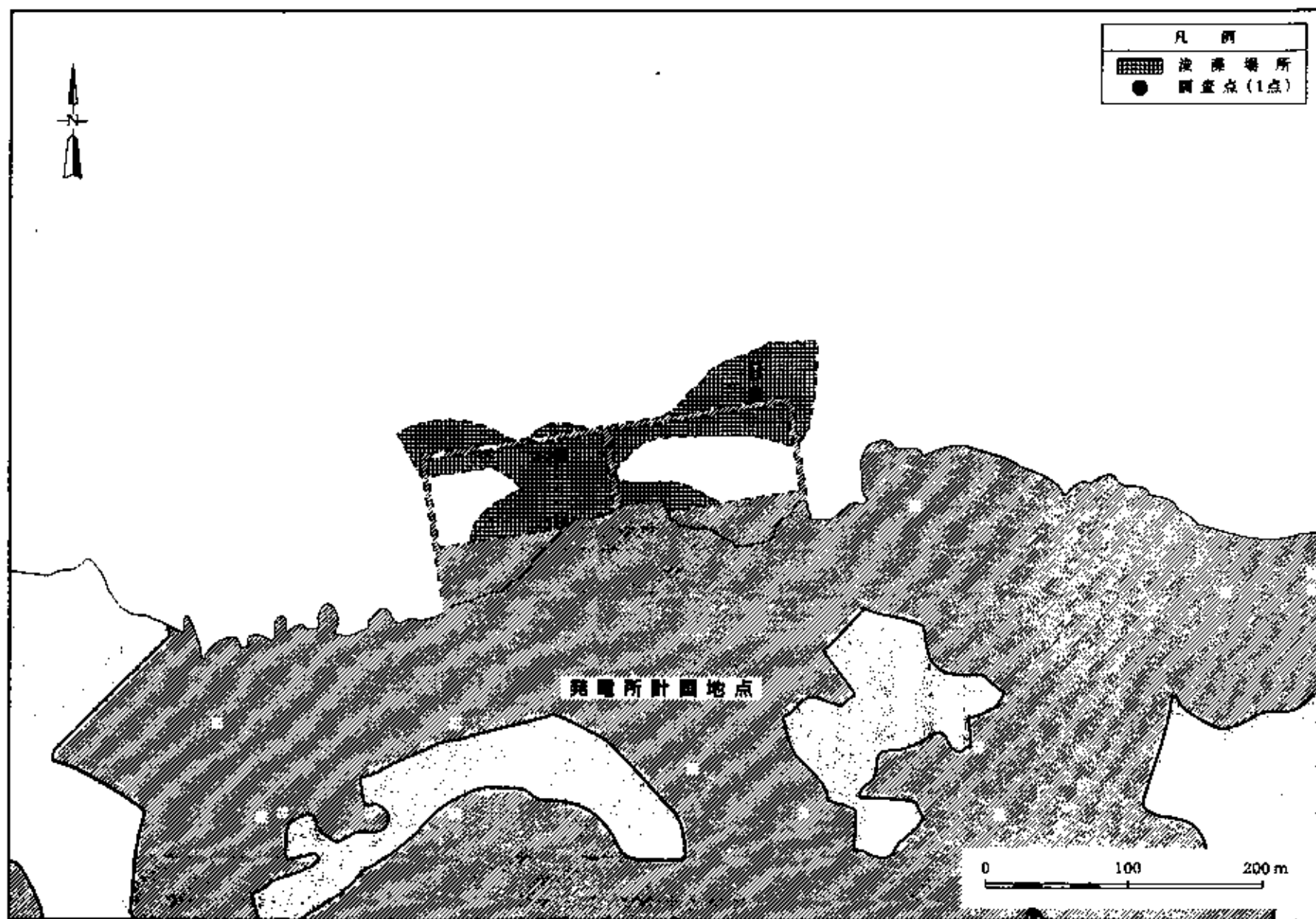
(ハ) 調査方法

スミス・マッキンタイヤ型採泥器(採泥面積:0.05m²)を用いて3回採泥した試料を混合して1試料とし、第2.2.1.2-15表に示す方法により分析を行った。

(ニ) 調査結果

調査結果は、第2.2.1.2-16表のとおり、すべての項目とも「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める総理府令」(昭和48年、総理府令第6号)に定める水底土砂に係る判定基準を下回っている。

第2.2.1.2-7圖 底質調查點位置(浚深場所)



第2.2.1.2-15表 (1)

有害物質の分析方法 (溶出試験)

項 目	分 析 方 法	定 量 限 界 値	単 位
アルキル水銀化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 付表4 ガスクロマトグラフ法	昭和46年 環境庁告示第59号	0.0005 mg/l
水銀又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 付表3 還元酸化原子吸光法	昭和46年 環境庁告示第59号	0.0005 mg/l
カドミウム又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 電気加熱原子吸光法	JIS K 0102 55.3 (1993)	0.001 mg/l
鉛又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 電気加熱原子吸光法	JIS K 0102 54.3 (1993)	0.005 mg/l
有機りん化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 付表1 ガスクロマトグラフ法	昭和49年 環境庁告示第64号	0.1 mg/l
六価クロム化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 ジフェニルカルバジド吸光光度法	JIS K 0102 65.2.1 (1993)	0.04 mg/l
ひ素又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 水素化合物発生原子吸光法	JIS K 0102 61.2 (1993)	0.005 mg/l
シアン化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 処理後38.3 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法	JIS K 0102 38.1.2 (1993)で前	0.1 mg/l
P C B	昭和48年 環境庁告示第14号 付表5 ガスクロマトグラフ法	昭和46年 環境庁告示第59号	0.0005 mg/l
銅又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 フレーム原子吸光法	JIS K 0102 52.2 (1993)	0.01 mg/l
亜鉛又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 フレーム原子吸光法	JIS K 0102 53.2 (1993)	0.01 mg/l
ふっ化物	昭和48年 環境庁告示第14号 ランタン-アリザリンコンプレキソン吸光光度法	JIS K 0102 34.1 (1993)	0.2 mg/l
トリクロロエチレン	昭和48年 環境庁告示第14号 パージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.003 mg/l
テトラクロロエチレン	昭和48年 環境庁告示第14号 パージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	JIS K 0125 5.1 (1995)	0.001 mg/l
ベリリウム又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 別表第7 フレーム原子吸光法	昭和48年 環境庁告示第13号	0.01 mg/l
クロム又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 フレーム原子吸光法	JIS K 0102 65.1.2 (1993)	0.01 mg/l
ニッケル又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 フレーム原子吸光法	JIS K 0102 59.2 (1993)	0.02 mg/l
バナジウム又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 N-ベンゾイル-N-フェニルヒドロキシルアミン吸光光度法	JIS K 0102 70.2 (1993)	0.1 mg/l
有機塩素化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 別表第1 チオシアン酸第二水銀吸光光度法		4 mg/kg

第2.2.1.2-15表 (2)

有害物質の分析方法 (溶出試験)

項 目	分 析 方 法	定 量 限界値	単 位
ジクロロメタン	昭和48年 環境庁告示第14号 JIS K 0125 5.1 (1995) バージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.002	mg/l
四 塩 化 炭 素	昭和48年 環境庁告示第14号 JIS K 0125 5.1 (1995) バージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.0002	mg/l
1,2-ジクロロエタン	昭和48年 環境庁告示第14号 JIS K 0125 5.1 (1995) バージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.0004	mg/l
1,1-ジクロロエチレン	昭和48年 環境庁告示第14号 JIS K 0125 5.1 (1995) バージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.002	mg/l
シス-1,2-ジクロロエチレン	昭和48年 環境庁告示第14号 JIS K 0125 5.1 (1995) バージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.004	mg/l
1,1,1-トリクロロエタン	昭和48年 環境庁告示第14号 JIS K 0125 5.1 (1995) バージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.1	mg/l
1,1,2-トリクロロエタン	昭和48年 環境庁告示第14号 JIS K 0125 5.1 (1995) バージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.0006	mg/l
1,3-ジクロロプロペン	昭和48年 環境庁告示第14号 JIS K 0125 5.1 (1995) バージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.0002	mg/l
チ ウ ラ ム	昭和48年 環境庁告示第14号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表6 高速液体クロマトグラフ法	0.0006	mg/l
シ マ ジ ン	昭和48年 環境庁告示第14号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表7 ガスクロマトグラフ質量分析法	0.0003	mg/l
チ オ ベ ン カ ル プ	昭和48年 環境庁告示第14号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表7 ガスクロマトグラフ質量分析法	0.002	mg/l
ベ ン ゼ ン	昭和48年 環境庁告示第14号 JIS K 0125 5.1 (1995) バージ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.001	mg/l
セレン又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第14号 JIS K 0102 67.2 (1993) 水素化合物発生原子吸光法	0.002	mg/l

第2.2.1.2-16表

有害物質溶出試験結果（浚渫場所）

調査者：中国電力㈱（中電環境テクノス㈱に委託）

調査期日：平成9年1月14日

分析項目 単位 項目位	アルキル	水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価クロム	ひ素	シアン	PCB	銅	亜鉛
	水銀化合物 mg/l	又は その化合物 mg/l	又は その化合物 mg/l	又は その化合物 mg/l	化合物 mg/l	化合物 mg/l	又は その化合物 mg/l	化合物 mg/l	mg/l	又は その化合物 mg/l	又は その化合物 mg/l
試験結果	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
判定基準	検出されないこと	0.005以下	0.1以下	0.1以下	1以下	0.5以下	0.1以下	1以下	0.003以下	3以下	5以下

分析項目 単位 項目位	ベンゼン	トリクロロ	テトラ	ベリリウム	クロム	ニッケル	バナジウム	有機燐	ジクロロ	四塩化炭素	1,2-
	化合物 mg/l	エチレン mg/l	クロロ エチレン mg/l	又は その化合物 mg/l	又は その化合物 mg/l	又は その化合物 mg/l	又は その化合物 mg/l	化合物 mg/kg	メタン mg/l	mg/l	ジクロロ エタン mg/l
試験結果	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
判定基準	15以下	0.3以下	0.1以下	2.5以下	2以下	1.2以下	1.5以下	40以下	0.2以下	0.02以下	0.04以下

分析項目 単位 項目位	1,1-	シス1,2-	1,1,1-	1,1,2-	1,3-	チウラム	シロリン	チオベン	ベンゼン	セレン
	ジクロロ エチレン mg/l	ジクロロ エチレン mg/l	トリクロロ エタン mg/l	トリクロロ エタン mg/l	ジクロロ プロペン mg/l	mg/l	mg/l	カルブ mg/l	mg/l	又は その化合物 mg/l
試験結果	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
判定基準	0.2以下	0.4以下	3以下	0.06以下	0.02以下	0.06以下	0.03以下	0.2以下	0.1以下	0.1以下

注：1. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.2-15表参照。

2. 判定基準は、「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める総理府令」（昭和48年、総理府令第6号）に定める水底土砂に係る判定基準による。

⑤ その他の水底質に係る環境の状況

発電所計画地点に面する前面海域におけるダイオキシン類の現況は、当社が中電環境テクノス(株)に委託した調査の結果によれば、次のとおりである。

イ. 水質中のダイオキシン類

(イ) 調査期日

平成18年11月29日

(ロ) 調査場所

調査海域の2調査点で行った(第2.2.1.2-8図)。

採水層は、表層(海面下0.5m層)、中層(海面下5m層)及び下層(海底上1m)の3層である。

(ハ) 調査方法

ニスキン型採水器(採水量:10ℓ)を用いて採水し、第2.2.1.2-17表に示す方法により分析を行った。

(ニ) 調査結果

調査結果は、第2.2.1.2-18表のとおり、「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌汚染に係る環境基準について」(平成11年、環境省告示第68号)に定める水質(水底の底質を除く。)の環境基準を下回っている。

ロ. 底質中のダイオキシン類

(イ) 調査期日

平成18年11月29日

(ロ) 調査場所

調査海域の2調査点で行った(第2.2.1.2-8図)。

(ハ) 調査方法

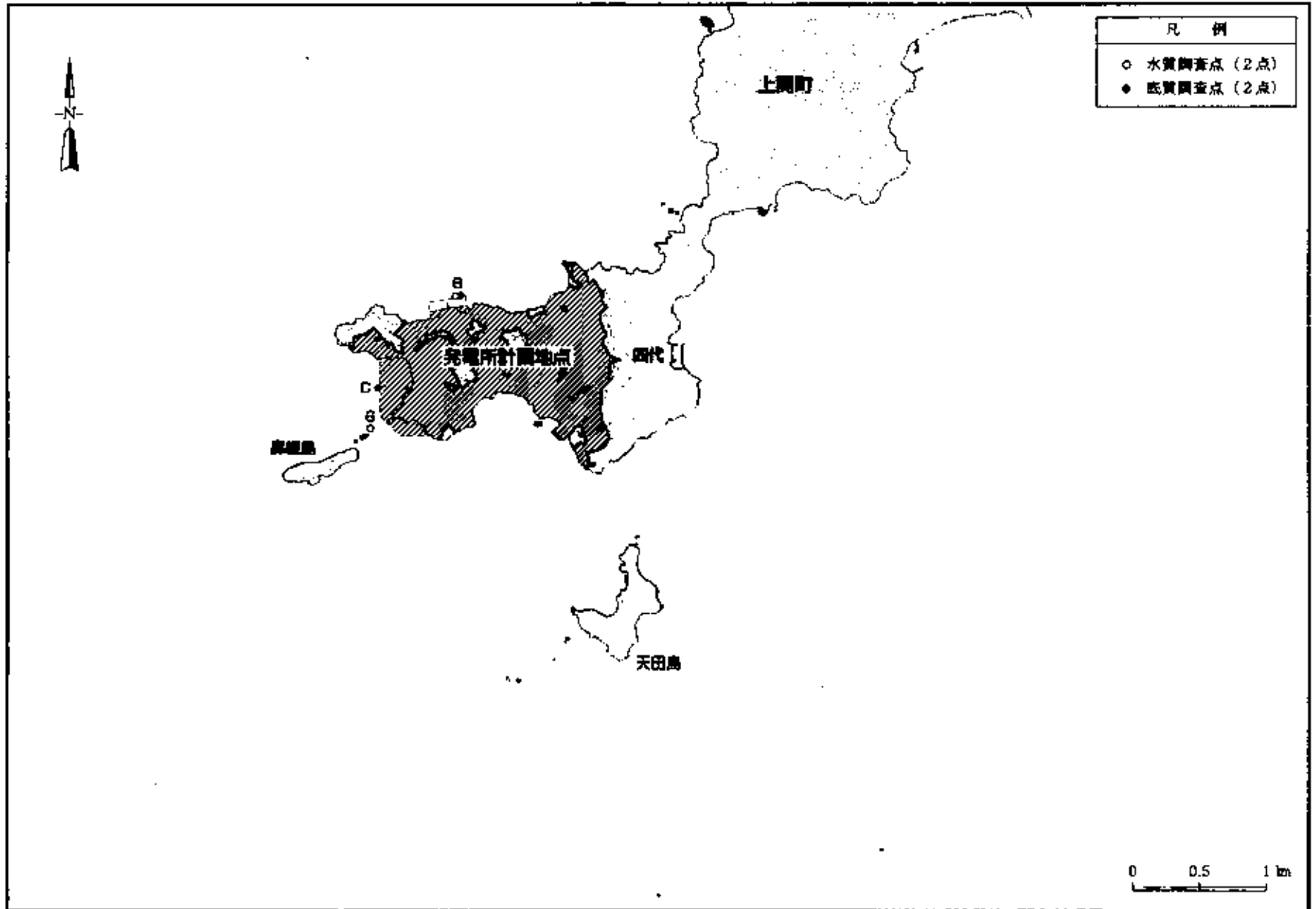
スミス・マッキンタイヤ型採泥器(採泥面積:0.05m²)を用いて3回採泥した試料を混合して1試料とし、第2.2.1.2-17表に示す方法により分析を行った。

(ニ) 調査結果

調査結果は、第2.2.1.2-19表のとおり、含有については「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌汚染に係る環境基準について」(平成11年、環境省告示第68号)に定める水底の底質の環境基準を下回っている。また、溶出については「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄

(物に係る判定基準を定める総理府令」(昭和48年、総理府令第6号)に定める水底土砂に係る判定基準を下回っている。

第2.2.1.2-8図 ダイオキシン類調査点位置



注：調査点Cは新規調査点、調査点A及びBは平成7、8年または平成18、19年調査と合致する調査点である。

第2.2.1.2-17表 ダイオキシン類分析方法（水質・底質）

項目		分析方法	単位	
ダイオキシン類	水質	JIS K 0312 (2005)	pg-TEQ/l	
	底質	含有	ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル (平成12年3月 環境庁水質保全局)	pg-TEQ/l
		溶出	JIS K 0312 (2005) に準拠	pg-TEQ/l

※溶出液の調整は、昭和48年環境庁告示第14号で実施した。

第2.2.1.2-18表 調査点別ダイオキシン類調査結果（水質）

調査者：中国電力株式会社（中電環境テクノス側に委託）
調査期日：平成18年11月29日

調査点	ダイオキシン類						毒性当量 [※] (TEF1998) pg-TEQ/l	環境基準 pg-TEQ/l
	実測濃度 pg/l				ダイオキシン類	pg-TEQ/l		
	ダイオキシン	ジベンゾフラン	ダイオキシン様 PCB	ダイオキシン類				
	(PCDDs)	(PCDFs)	(DL-PCBs)					
B	上層	0.60	0.04	3.0	3.6	0.068	1	
	中層	1.7	0.05	3.4	5.1	0.068		
	下層	0.93	0.12	1.9	3.0	0.070		
6	上層	1.2	ND	2.0	3.2	0.067		
	中層	1.4	0.10	9.7	11	0.069		
	下層	1.7	0.24	2.5	4.4	0.068		

注：1. 毒性当量の算出にはWHO-TEF(1998)を用いた。
2. 「ND」は検出されなかったことを示す。
3. 毒性当量は計量法第107条の対象外項目である。

第2.2.1.2-19表 (1)

調査点別ダイオキシン類調査結果 (底質・含有量)

調査者：中国電力株式会社 (中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日：平成18年11月29日

調査点	ダイオキシン類					毒性当量 [*] (TEF1998) pg-TEQ/g	環境基準 pg-TEQ/g
	実測濃度 pg/g				ダイオキシン類		
	ダイオキシン (PCDDs)	ジベンゾフラン (PCDFs)	コプラ-PCB (Co-PCB)				
B	150	8.5	9.5		170	0.33	150
C	27	1.0	1.0		29	0.23	

注：1. 毒性当量の算出にはWHO-TEF(1998)を用いた。

2. 毒性当量は計量法第107条の対象外項目である。

第2.2.1.2-19表 (2)

調査点別ダイオキシン類調査結果 (底質・溶出)

調査者：中国電力株式会社 (中電環境テクノス㈱に委託)

調査期日：平成18年11月29日

調査点	ダイオキシン類					毒性当量 [*] (TEF1998) pg-TEQ/l	判定基準 pg-TEQ/l
	実測濃度 pg/l				ダイオキシン類		
	ダイオキシン (PCDDs)	ジベンゾフラン (PCDFs)	ダイオキシン様 PCB (DL-PCBs)				
B	320	15	52		380	0.15	10
C	110	6.4	34		150	0.053	

注：1. 毒性当量の算出にはWHO-TEF(1998)を用いた。

2. 毒性当量は計量法第107条の対象外項目である。

(3) 騒音

① 騒音の現況

発電所計画地点敷地境界等における騒音の現況は、当社が中電技術コンサルタント(株)に委託した調査の結果によれば、次のとおりである。

イ. 発電所計画地点敷地境界(東端)の騒音

(イ) 調査期日

平成8年5月14日

(ロ) 調査場所

発電所計画地点敷地境界(東端)における7調査点で行った(第2.2.1.3-1図)。

(ハ) 調査方法

普通騒音計を使用し、朝、昼間、夕及び夜間の騒音レベル(L_{50})を測定した。

(ニ) 調査結果

調査結果によれば、発電所計画地点敷地境界(東端)における騒音レベルは、朝が34~39デシベル、昼間が32~38デシベル、夕が31~37デシベル及び夜間が27~36デシベルである(第2.2.1.3-1図)。

ロ. 発電所計画地点敷地境界(発電設備直近)及び鼻繰島の騒音

(イ) 調査期日

平成11年11月17日

(ロ) 調査場所

発電所計画地点敷地境界(発電設備直近)及び鼻繰島における9調査点で行った(第2.2.1.3-2図)。

(ハ) 調査方法

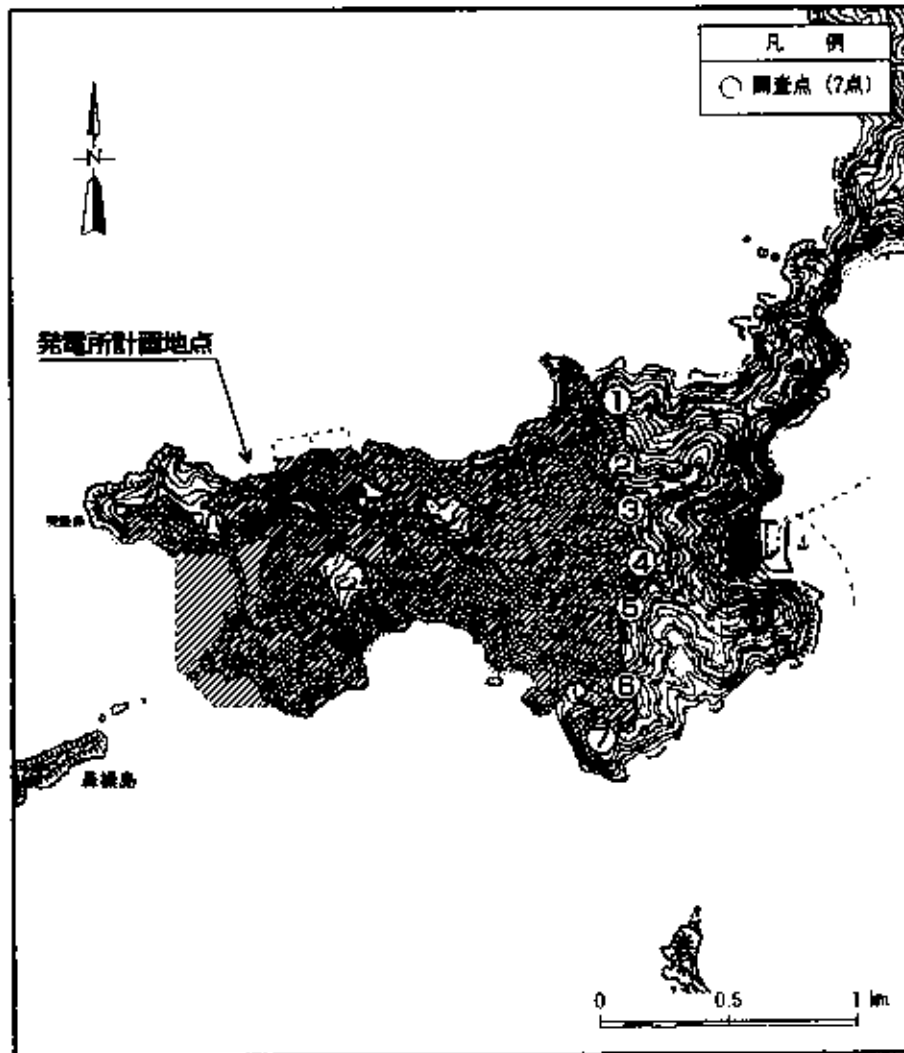
普通騒音計を使用し、朝、昼間、夕及び夜間の騒音レベル(L_{50})を測定した。

(ニ) 調査結果

調査結果によれば、発電所計画地点敷地境界(発電設備直近)及び鼻繰島における騒音レベルは、朝が44~55デシベル、昼間が36~48デシベル、夕が32~48デシベル及び夜間が41~53デシベルである(第2.2.1.3-2図)。

第2.2.1.3-1図 騒音調査点位置及び調査結果（敷地境界東端）

調査者：中国電力(株)
 【中電技術コンサルタント(株)に委託】
 調査期日：平成8年5月14日
 調査方法：JIS Z 8731
 調査計器：普通騒音計【リオン社NA-20型】
 (単位：デシベル)

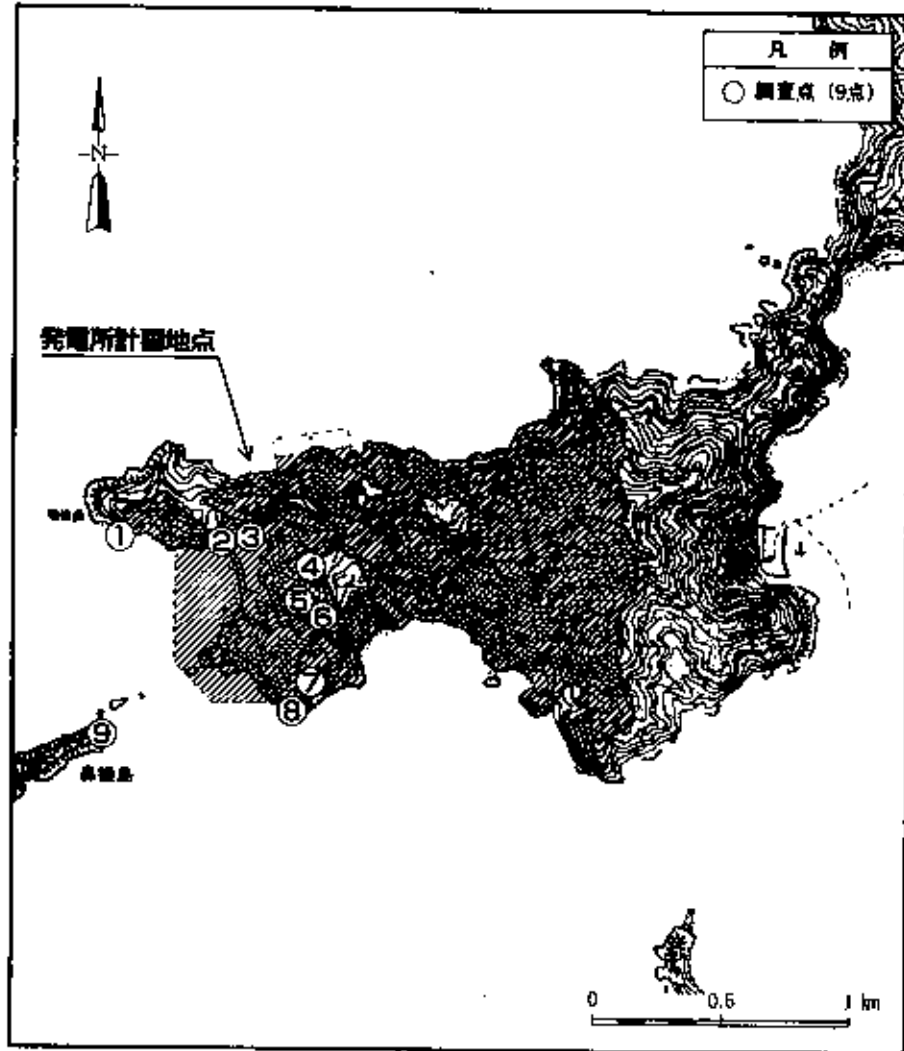


時間区分	朝	昼間	夕	夜間	
	6時～8時	8時～18時	18時～21時	21時～翌6時	
天気	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	
風向	NNE～W	SSE～NW	NNE～NW	N～NNW	
調査点	風速(m/s)	0.7～2.0	1.2～4.0	0.7～1.3	静穏～1.3
①	38	36	37	36	
②	37	37	33	33	
③	38	37	33	34	
④	36	32	31	35	
⑤	34	33	31	27	
⑥	39	37	31	33	
⑦	39	38	35	35	

注：1. 数値は、100回の測定値の中央値である。
 2. 風向及び風速は、発電所計画地点気象観測点の値である。
 3. 静穏は風速0.4m/s以下とした。

第2.2.1.3-2図 騒音調査点位置及び調査結果（発電設備直近）

調査者：中国電力(株)
 [中電技術コンサルタント(株)に委託]
 調査期日：平成11年11月17日
 調査方法：JIS Z 8731
 調査計器：普通騒音計 [リオン製NL-04型]
 (単位：デシベル)



時間区分	朝	昼間	夕	夜間
	6時～8時	8時～18時	18時～21時	21時～翌6時
天気	曇	晴れ	晴れ	曇のち小雨
風向	W～SW	NE～ENE	E～NE	NNE～WSW
調査点	風速(m/s)	静穏～3.0	0.8～1.5	0.8～7.0
①	53	45	45	51
②	55	48	48	53
③	46	39	40	44
④	47	36	32	41
⑤	47	39	35	42
⑥	44	38	33	41
⑦	44	40	36	42
⑧	49	40	37	45
⑨	46	45	43	48

注：1. 数値は、100個の測定値の中央値である。
 2. 風向及び風速は、発電所計画地点気象観測点の値である。
 3. 静穏は風速0.4m/s以下とした。
 4. 調査結果の一部は、気象状況の変化に伴う自然音(波・木の葉の音)の影響を強く受けている。

② 道路交通騒音の現況

発電所計画地点へ通じる上関町及び平生町の主要な道路における道路交通騒音の現況は、当社が中電技術コンサルタント(株)に委託した調査の結果によれば、次のとおりである。

イ. 調査期日

平成8年5月17日

ロ. 調査場所

発電所計画地点へ通じる上関町及び平生町の主要な道路における4調査点で行った(第2.2.1.3-3図)。各調査点における道路の構造等は第2.2.1.3-4図のとおりである。

ハ. 調査方法

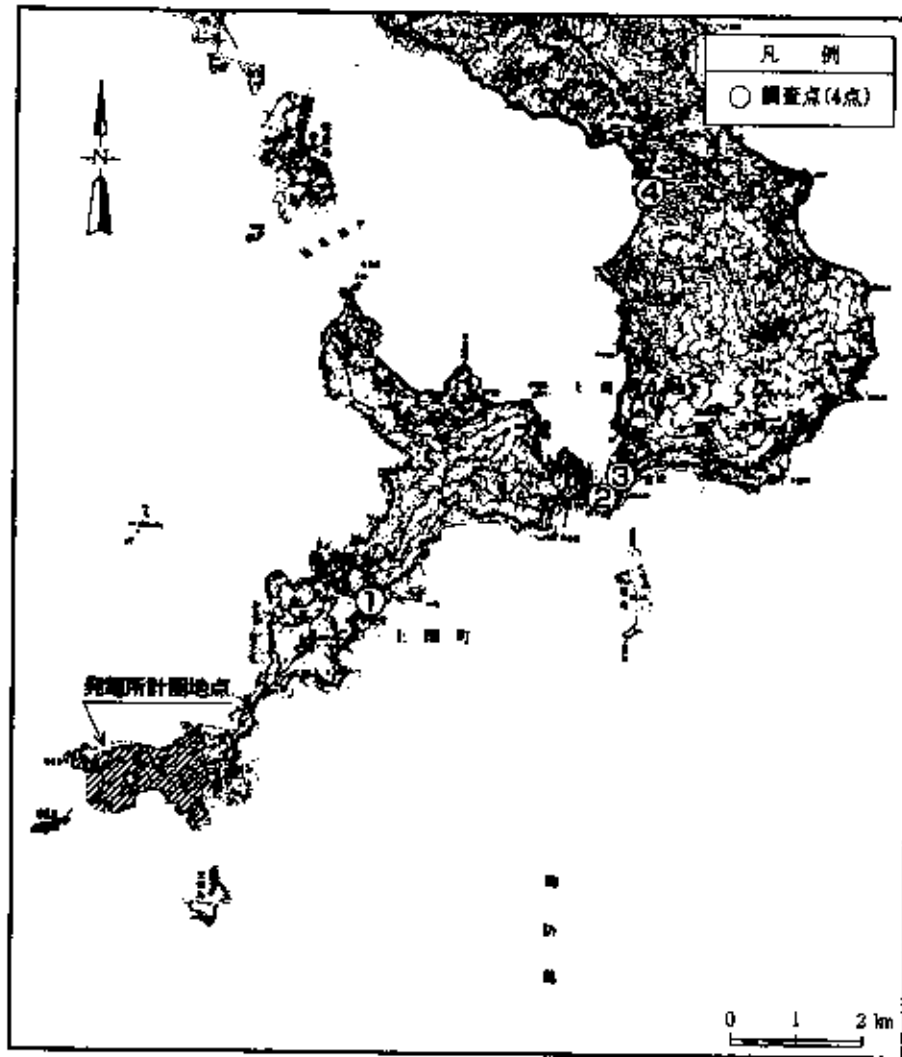
普通騒音計を使用し、毎正時10分間測定した結果から、昼間及び夜間の等価騒音レベル(L_{Aeq})を求めた。

ニ. 調査結果

調査結果によれば、等価騒音レベル(L_{Aeq})は昼間が59~66デシベル、夜間が45~57デシベルである(第2.2.1.3-3図)。

第2.2.1.3-3図 道路交通騒音調査点位置及び調査結果

調査者：中国電力(株)
 [中電技術コンサルタント(株)に委託]
 調査期日：平成8年5月17日
 調査方法：JIS Z 8731
 調査計器：普通騒音計〔リオン機NA-20型〕
 (単位：デシベル)



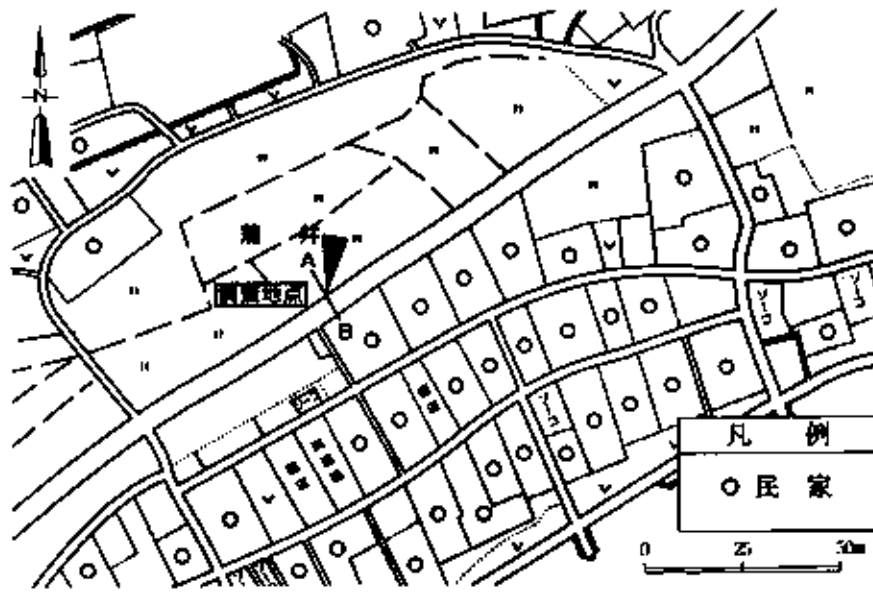
調査点	時間区分	昼間 6時～22時	夜間 22時～翌日6時	路線名	車線数
	天気	晴	晴		
	風向	N～NNW	N～SSE		
	風速(m/s)	静穏～2.6	静穏～2.1		
①		59	45	光上岡線	1
②		66	56	光上岡線	2
③		65	57	光上岡線	2
④		64	57	光上岡線	2

注：1. 風向及び風速は、各調査点の測定値である。
 2. 静穏は風速0.4m/s以下とした。

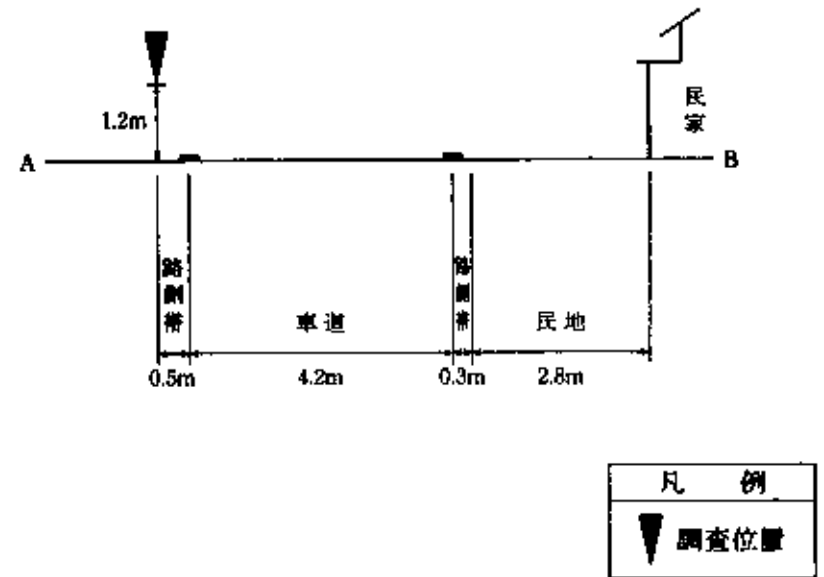
第2.2.1.3-4図(1) 調査点における道路構造

調査点 ①

道路名：主要地方道光上関線
 平面図



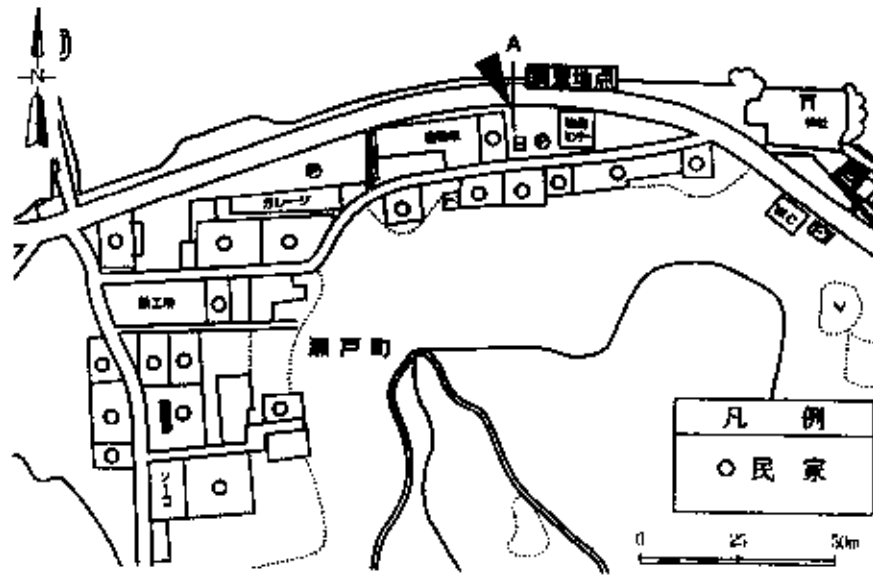
断面図



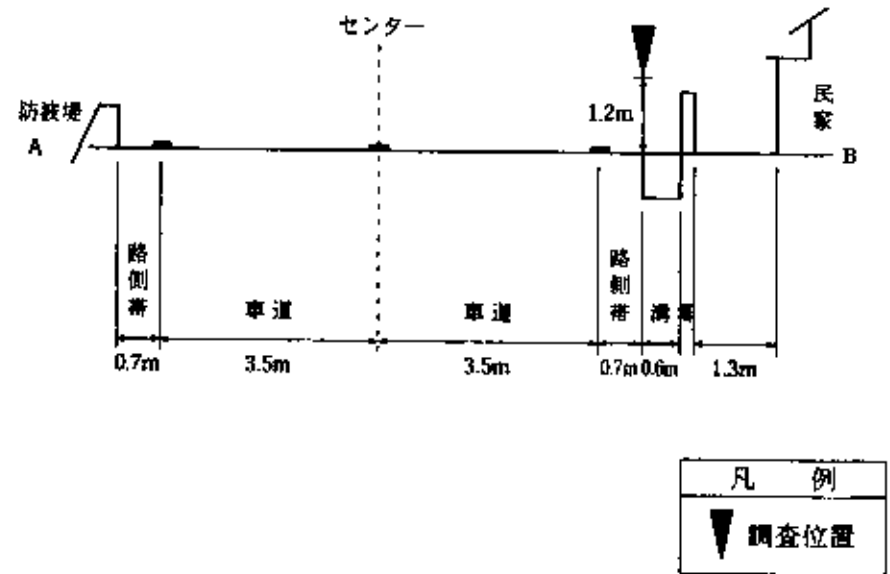
第2.2.1.3-4図(2) 調査点における道路構造

調査点②

道路名：主要地方道光上関線
 平面図



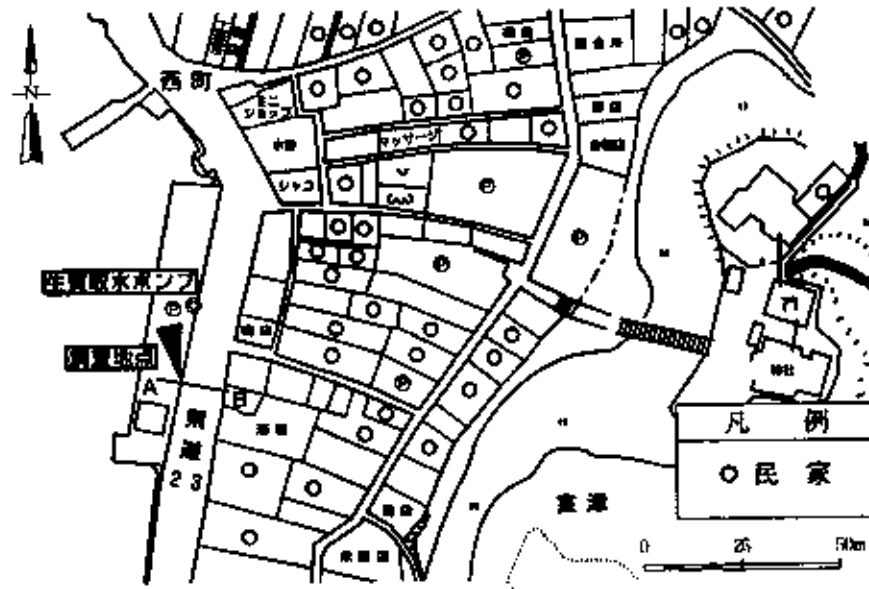
断面図



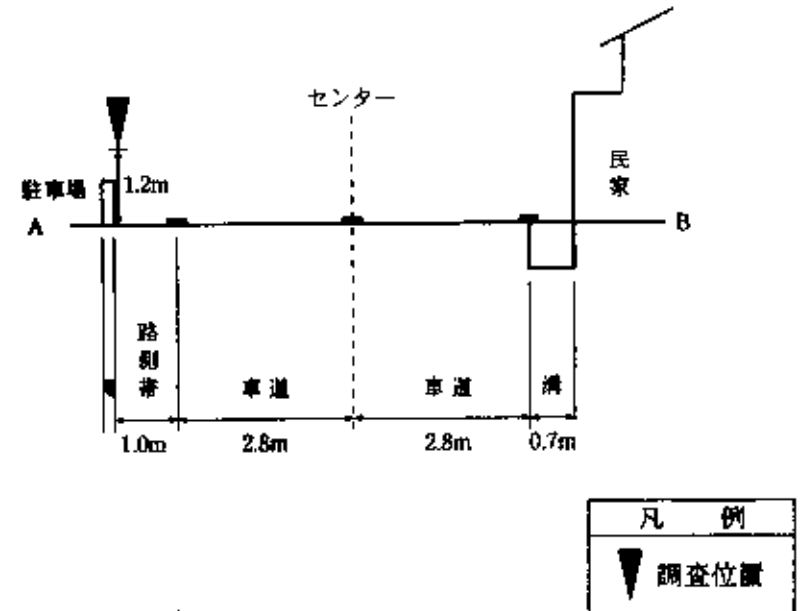
第2.2.1.3-4図(3) 調査点における道路構造

調査点③

道路名：主要地方道光上関線
 平面図

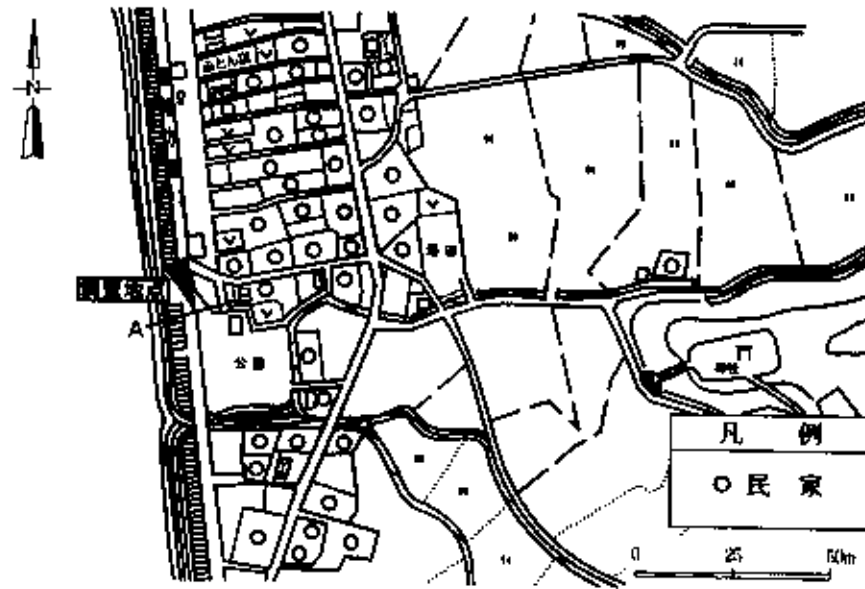


断面図

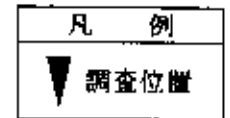
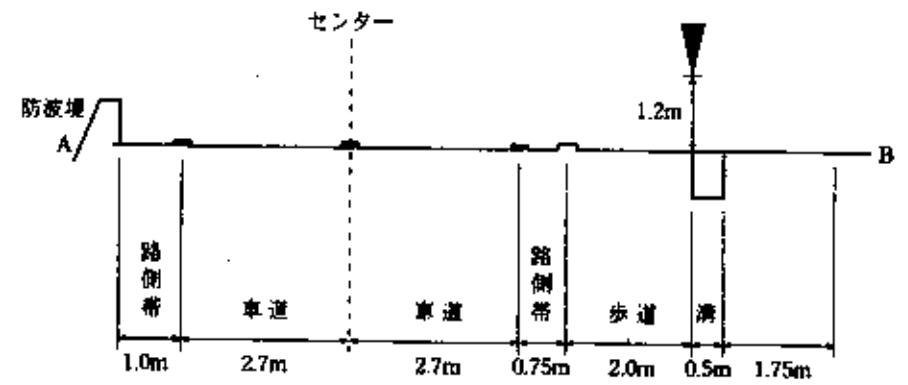


第2.2.1.3-4図(4) 調査点における道路構造
調査点④

道路名：主要地方道光上関線
平面図



断面図



(4) 振 動

① 振動の現況

発電所計画地点敷地境界等における振動の現況は、当社が中電技術コンサルタント(株)に委託した調査の結果によれば、次のとおりである。

イ、発電所計画地点敷地境界（東端）の振動

(イ) 調査期日

平成8年5月14日

(ロ) 調査場所

発電所計画地点敷地境界（東端）における7調査点で行った（第2.2.1.4-1図）。

(ハ) 調査方法

振動レベル計を使用し、昼間及び夜間の振動レベルを測定した。

(ニ) 調査結果

調査結果によれば、発電所計画地点敷地境界（東端）における振動レベルは、いずれも30デシベル未満である（第2.2.1.4-1図）。

ロ、発電所計画地点敷地境界（発電設備直近）及び鼻線島の振動

(イ) 調査期日

平成11年11月17日

(ロ) 調査場所

発電所計画地点敷地境界（発電設備直近）及び鼻線島における9調査点で行った（第2.2.1.4-2図）。

(ハ) 調査方法

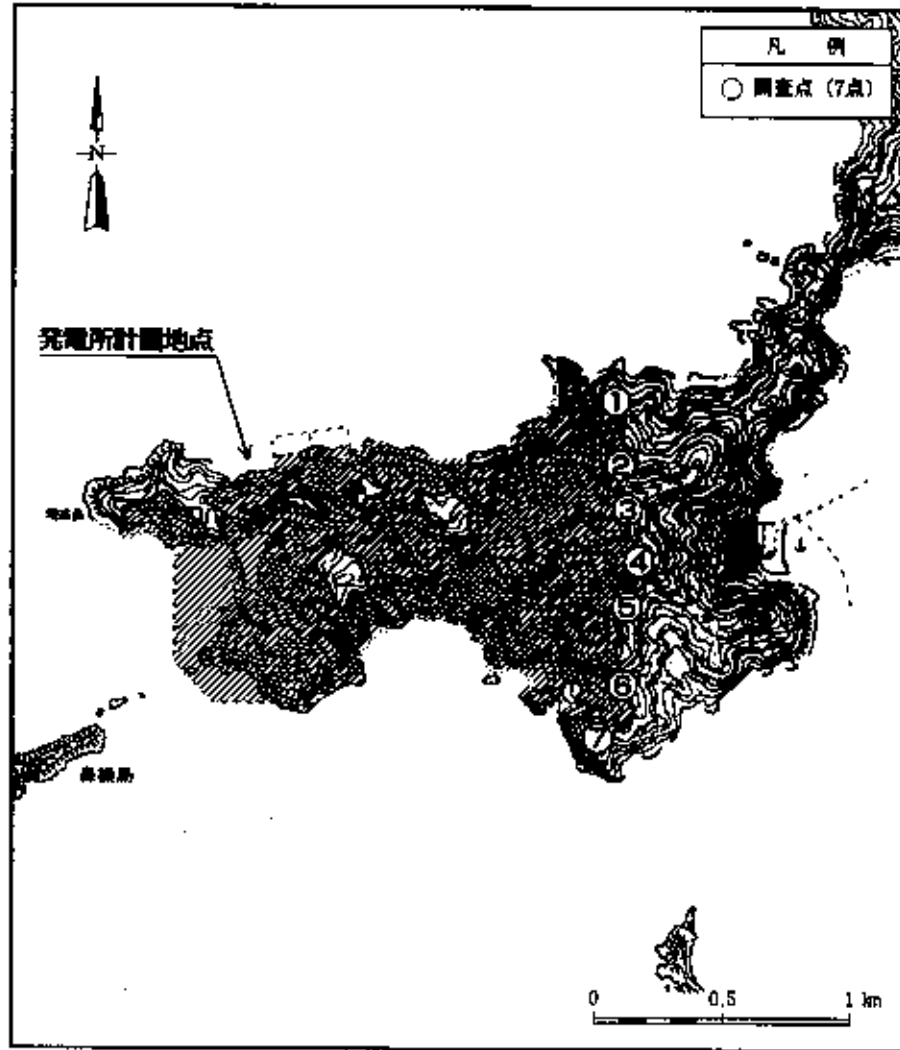
振動レベル計を使用し、昼間及び夜間の振動レベルを測定した。

(ニ) 調査結果

調査結果によれば、発電所計画地点敷地境界（発電設備直近）及び鼻線島における振動レベルは、いずれも30デシベル未満である（第2.2.1.4-2図）。

第2.2.1.4-1図 振動調査点位置及び調査結果（敷地境界東端）

調査者：中国電力(株)
 [中電技術コンサルタント(株)に委託]
 調査期日：平成8年5月14日
 調査方法：JIS Z 8735
 調査計器：振動レベル計 [リオン製VM-14B型]
 (単位：デシベル)

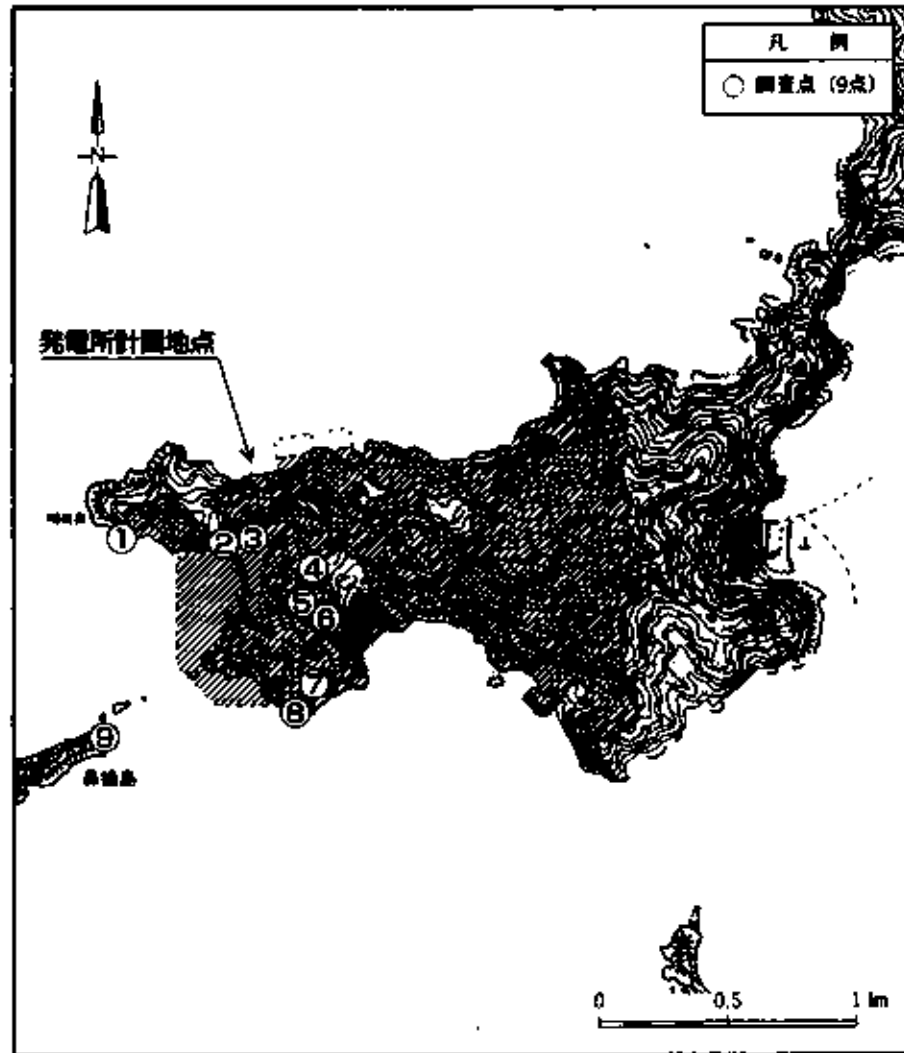


調査点	時間区分	昼間 8時～19時	夜間 19時～翌日8時
		天気	晴れ
	風向	NNE～NW	N～NNW
	風速(m/s)	0.9～4.0	静穏～2.0
①		30未満	30未満
②		30未満	30未満
③		30未満	30未満
④		30未満	30未満
⑤		30未満	30未満
⑥		30未満	30未満
⑦		30未満	30未満

注：1.数値は、100回の測定値の80%レンジ上端値である。
 2.風向及び風速は、発電所計画地点気象観測点の値である。
 3.「30未満」は、振動レベル計の測定限界値未満を示す。
 4.静穏は風速0.4m/s以下とした。

第2.2.1.4-2図 振動調査点位置及び調査結果（発電設備直近）

調査者：中国電力(株)
 [中電技術コンサルタント(株)に委託]
 調査期日：平成11年11月17日
 調査方法：JIS Z 8735
 調査計器：振動レベル計 [リオン社VM-S2型]
 (単位：デシベル)



時間区分	昼間 8時～19時	夜間 19時～翌日8時
	天気	晴れ
風向	W～ENE	N～E, SW～W
調査点 風速(m/s)	静穏～2.5	0.8～6.5
①	30未満	30未満
②	30未満	30未満
③	30未満	30未満
④	30未満	30未満
⑤	30未満	30未満
⑥	30未満	30未満
⑦	30未満	30未満
⑧	30未満	30未満
⑨	30未満	30未満

注：1. 数値は、100個の測定値の90%レンジ上端値である。
 2. 風向及び風速は、発電所計画地点気象観測点の値である。
 3. 「30未満」は、振動レベル計の測定限界値未満を示す。
 4. 静穏は風速0.4m/s以下とした。

(5) 土壌汚染

① 土壌汚染の現況

発電所計画地点における土壌汚染の現況は、当社が菱明技研(株)に委託した調査の結果によれば、次のとおりである。

イ. 調査期日

平成8年5月22日、平成9年1月13日

ロ. 調査場所

発電所計画地点における2調査点で行った(第2.2.1.5-1図)。

ハ. 調査方法

表層土及び地下2～3m地点より試料を採取し、「土壌の汚染に係る環境基準について」(平成3年、環境庁告示第46号)に基づく方法(以下「環境基準に基づく方法」という。)及び「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める総理府令」(昭和48年、総理府令第5号)に基づく方法(以下「総理府令に基づく方法」という。)により溶出試験を行った(第2.2.1.5-1, 2表)。

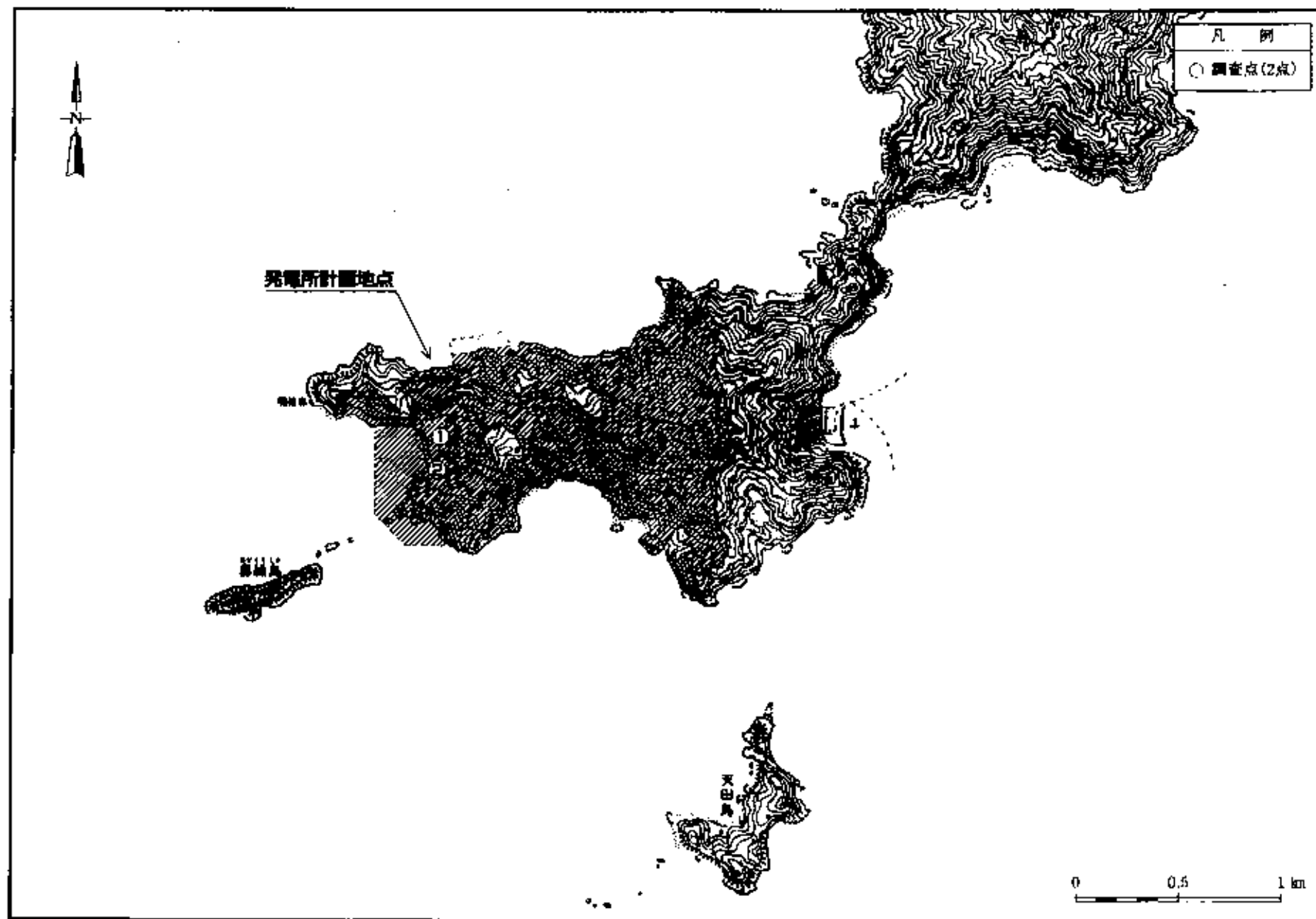
ニ. 調査結果

調査結果の概要は、次のとおりである。

環境基準に基づく方法の調査結果は、いずれの項目も環境基準を下回っている(第2.2.1.5-3表)。

総理府令に基づく方法の調査結果は、いずれの項目も判定基準を下回っている(第2.2.1.5-4表)。

第2.2.1.5-1图 土壤污染调查点位置



第2.2.1.5-1表 土壌の分析方法（環境基準に基づく方法）

項目	分析方法	定量 限界値	単位
カドミウム	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0102 55.3 (1993) 電気加熱原子吸光法	0.001	mg/l
全シアン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0102 (1993) 38.1.2で前処理後 38.3 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法	0.1	mg/l
有機 鉛	平成3年 環境庁告示第46号 昭和49年 環境庁告示第64号 付表1 ガスクロマトグラフ法	0.1	mg/l
六価クロム	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0102 65.2.1 (1993) ジフェニルカルバジト吸光光度法	0.005	mg/l
砒素	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0102 61.2 (1993) 水素化合物発生原子吸光法	0.001	mg/l
総水銀	平成3年 環境庁告示第46号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表3 還元気化原子吸光法	0.0005	mg/l
アルキル水銀	平成3年 環境庁告示第46号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表4 ガスクロマトグラフ法	0.0005	mg/l
P C B	平成3年 環境庁告示第46号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表5 ガスクロマトグラフ法	0.0006	mg/l
ジクロロメタン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.002	mg/l
四塩化炭素	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.0002	mg/l
1,2-ジクロロエタン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.0004	mg/l
1,1-ジクロロエチレン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.002	mg/l
シス-1,2-ジクロロエチレン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.004	mg/l
1,1,1-トリクロロエタン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.1	mg/l
1,1,2-トリクロロエタン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.0006	mg/l
トリクロロエチレン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.003	mg/l
テトラクロロエチレン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.001	mg/l
1,3-ジクロロプロペン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.0002	mg/l
チウラム	平成3年 環境庁告示第46号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表6 固相抽出・高速液体クロマトグラフ法	0.0006	mg/l
シマジン	平成3年 環境庁告示第46号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表7 固相抽出・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.0003	mg/l
チオベンカルブ	平成3年 環境庁告示第46号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表7 固相抽出・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.002	mg/l
ベンゼン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.1 (1995) パーティ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.001	mg/l
セレン	平成3年 環境庁告示第46号 JIS K 0102 67.2 (1993) 水素化合物発生原子吸光法	0.001	mg/l

第2.2.1.5-2表 土壌の分析方法（総理府令に基づく方法）

項 目	分 析 方 法	定 量 限 界 値	単 位
アルキル水銀化合物	昭和48年 環境庁告示第13号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表4 ガスクロマトグラフ法	0.0005	mg/l
水銀又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第13号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表3 還元気化原子吸光法	0.0005	mg/l
トリメチル又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0102 55.2 (1993) フレイム原子吸光法	0.03	mg/l
鉛又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0102 54.2 (1993) フレイム原子吸光法	0.03	mg/l
有機磷化合物	昭和48年 環境庁告示第13号 昭和49年 環境庁告示第64号 付表1 ガスクロマトグラフ法	0.1	mg/l
六価クロム化合物	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0102 65.2.1 (1993) ジフェニルカルバジド吸光光度法	0.1	mg/l
砒素又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0102 61.1 (1993) ジエチルジチオカルバミド酸銀吸光光度法	0.03	mg/l
シアン化合物	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0102 38.1.2 (1993)で前処理後 38.3 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法	0.1	mg/l
P C B	昭和48年 環境庁告示第13号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表5 ガスクロマトグラフ法	0.0005	mg/l
トリクロロエチレン	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.03	mg/l
テトラクロロエチレン	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.01	mg/l
ジクロロメタン	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.02	mg/l
四塩化炭素	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.002	mg/l
1,2-ジクロロエタン	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.004	mg/l
1,1-ジクロロエチレン	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.02	mg/l
シス-1,2-ジクロロエチレン	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.04	mg/l
1,1,1-トリクロロエタン	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.3	mg/l
1,1,2-トリクロロエタン	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.006	mg/l
1,3-ジクロロプロペン	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.002	mg/l
チウラム	昭和48年 環境庁告示第13号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表6 固相抽出・高速液体クロマトグラフ法	0.006	mg/l
シマジン	昭和48年 環境庁告示第13号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表7 固相抽出・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.003	mg/l
チオベンカルブ	昭和48年 環境庁告示第13号 昭和46年 環境庁告示第59号 付表7 固相抽出・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.02	mg/l
ベンゼン	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0125 5.1 (1995) ページ・トラップ・ガスクロマトグラフ質量分析法	0.01	mg/l
セレン又はその化合物	昭和48年 環境庁告示第13号 JIS K 0102 67.2 (1993) 水素化合物発生原子吸光法	0.03	mg/l

第2.2.1.5-3表

土壤汚染調査結果（環境基準に基づく方法）

調査者：中国電力㈱（表明技術㈱に委託）

調査期日：平成 8年 5月22日，平成 9年 1月13日

（単位：mg/l）

項目	調査点	①		②		環境基準
		表層	2.0~3.0m	表層	2.0~3.0m	
カドミウム		ND	ND	ND	ND	0.01 以下
全シアン		ND	ND	ND	ND	検出されないこと
有機燐		ND	ND	ND	ND	検出されないこと
鉛		0.004	ND	0.005	ND	0.01 以下
六価クロム		ND	ND	ND	ND	0.05 以下
砒素		0.004	ND	0.004	ND	0.01 以下
総水銀		ND	ND	ND	ND	0.0005 以下
アルキル水銀		ND	ND	ND	ND	検出されないこと
P C B		ND	ND	ND	ND	検出されないこと
ジクロロメタン		ND	ND	ND	ND	0.02 以下
四塩化炭素		ND	ND	ND	ND	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン		ND	ND	ND	ND	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	0.02 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	0.006 以下
トリクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	0.03 以下
テトラクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン		ND	ND	ND	ND	0.002 以下
チウラム		ND	ND	ND	ND	0.006 以下
シマジン		ND	ND	ND	ND	0.003 以下
チオベンカルブ		ND	ND	ND	ND	0.02 以下
ベンゼン		ND	ND	ND	ND	0.01 以下
セレン		ND	ND	0.001	ND	0.01 以下

注：1. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.5-1表参照。

2. 環境基準は「土壤の汚染に係る環境基準について」（平成3年、環境庁告示第46号）による。

第2.2.1.5-4表

土壌汚染調査結果（総理府令に基づく方法）

調査者：中国電力株式会社（委託）

調査期日：平成 8年 5月22日、平成 9年 1月13日

（単位：mg/l）

項目	①		②		判定基準
	表層	2.0~3.0m	表層	2.0~3.0m	
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
水銀又はその化合物	ND	ND	ND	ND	0.005 以下
カドミウム又はその化合物	ND	ND	ND	ND	0.3 以下
鉛又はその化合物	0.07	ND	0.08	ND	0.3 以下
有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	1 以下
六価クロム化合物	ND	ND	ND	ND	1.5 以下
砒素又はその化合物	0.04	ND	ND	ND	0.3 以下
シアン化合物	ND	ND	ND	ND	1 以下
P C B	ND	ND	ND	ND	0.003 以下
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	0.3 以下
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	0.1 以下
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	0.2 以下
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	0.02 以下
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	0.04 以下
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	0.2 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	0.4 以下
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	3 以下
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	0.06 以下
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	0.02 以下
チウラム	ND	ND	ND	ND	0.06 以下
シマジン	ND	ND	ND	ND	0.03 以下
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	0.2 以下
ベンゼン	ND	ND	ND	ND	0.1 以下
セレン又はその化合物	ND	ND	ND	ND	0.3 以下

注：1. 「ND」は定量限界値未満を示し、定量限界値は第2.2.1.5-2表参照。

2. 判定基準は「重金属を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める総理府令」（昭和48年、総理府令第5号）に定める埋立処分に係る判定基準である。